

地域の福祉に関するアンケート調査 調査結果報告書

令和7年12月

仙 台 市

目 次

I. 調査の概要	1
1 調査目的	1
2 調査内容	1
3 回収結果	1
4 報告書の見方	1
II. 調査結果の概要	2
1 地域や人とのかかわりの状況	2
2 地域で生活していく上での心配事やつながり先	4
3 成年後見制度について	6
4 犯罪をした人の立ち直りの支援について	7
III. 調査結果	9
1 調査対象者の属性	9
（1）性別	9
（2）年齢	9
（3）職業	9
（4）居住区	10
（5）世帯構成	10
（6）居住地域について	11
ア. 世帯数	11
イ. 住民層	11
ウ. 居住地域の近所付き合いや町内会活動の状況	11
2 地域や人とのかかわりの状況	12
（1）地域や人とのかかわりの程度	12
（2）地域や人との支え合いの経験	13
（3）地域の人から今後協力してもらいたいこと	15
（4）地域活動への運営・参加経験・参加意向	17
ア. 地域のお祭りやイベント	17
イ. スポーツや健康づくりの活動	19
ウ. 文化活動や趣味のサークルなどの活動	21
エ. 地域の防災や防犯のための活動	23
オ. 道路や公園などの清掃活動	25
カ. 町内会・自治会，老人クラブ，子ども会など	27
キ. その他	29
（5）地域活動への参加にあたっての課題	30
（6）福祉活動への運営・参加経験・参加意向	31
ア. お住まいの地域の高齢者や障害者，こどもなどの見守りや声かけの活動	31
イ. お住まいの地域の住民が交流する場（サロンなど）	33
ウ. お住まいの地域のちょっとした困りごとを支え合う活動	35
エ. お住まいの地域以外でのボランティアやNPO活動	37
オ. 自分から進んで地域団体や福祉活動団体へ寄付をする	39
カ. その他	41
（7）地域活動や福祉活動に参加しやすくなる取り組み	42
（8）地域住民同士の交流や助け合いについての考え	43

3	地域で生活していく上での心配事やつながり先	44
	(1) 地域で生活していく上で、不安に感じていること	44
	(2) 心配事が起きた場合の相談先	45
	(3) 地域における課題認識	46
	(4) 安心して生活していくために有効と思う取り組み	47
	(5) ご自身の家族以外で、地域で気がかりな方	48
	(6) 気がかりな方について	49
	(7) 気がかりな方に対してしていること	50
	(8) 外出頻度	51
	(9) 家庭や職場、学校以外の居場所や時間	52
	(10) 孤独や孤立を感じること	53
	(11) 孤独や孤立を感じる出来事	54
4	成年後見制度について	55
	(1) 成年後見制度について知っていること	55
	(2) 成年後見制度の利用意向	56
	(3) 成年後見制度を利用しない・利用したいかわからない理由	57
5	犯罪をした人の立ち直りの支援について	58
	(1) 犯罪や非行を繰り返す人の立ち直りの困難さの認知度	58
	(2) 刑務所や少年院を出た人への社会復帰支援についての考え	59
	(3) 刑務所や少年院を出た人の社会復帰へのあなたのかかわり方	60
6	市の福祉施策全般や地域の福祉活動に関して感じていること	61
IV.	資料編	66
1	「地域の福祉に関するアンケート調査」調査票	66

I. 調査の概要

1 調査目的

本調査は、「せんだい支え合いのまち推進プラン」の計画期間が令和8年度末となっていることから、令和9年度から始まる本市の次期計画策定に向け、地域の福祉に関する市民の活動実態や意向、課題等を把握するために実施した。

2 調査内容

調査対象	令和7年8月1日の時点において、満16歳以上の市民から区ごとに人口や男女比率を考慮して無作為抽出した5,000人
調査方法	調査対象者に調査票を郵送し、記入後の調査票を同封の返信用封筒にて返送していただく郵送方式及びせんだいオンライン申請サービスを使用した電子申請方式にて実施
調査期間	令和7年9月19日～令和7年10月10日
調査項目	○調査対象者の属性（問1～6） ○地域や人とのかかわりの状況（問7～14） ○地域で生活していく上での心配事やつながり先（問15～25） ○成年後見制度について（問26～28） ○犯罪をした人の立ち直りの支援について（問29～31） ○市の福祉政策や地域の福祉活動等に関して（自由記述）（問32）

3 回収結果

配布数	無効数（不達数）	有効回収数	有効回収率
5,000件	22件	2,253件	45.3%

※有効回収率：有効回収数／配布数－無効数

4 報告書の見方

- n (number of cases) は回答割合算出における基数であり、100.0%が何人の回答に相当するかを表している。
- 回答割合は百分率で表し、小数点第2位を四捨五入して算出している。したがって、単一回答式の質問においては、回答割合を合計しても100.0%にならない場合がある。また、複数回答式の質問においては、各設問の調査数を基数として算出するため、全ての選択肢の割合を合計すると100.0%を超える場合がある。
- 調査数（n）が少数のものは、回答割合の信頼性が低いため、コメントを省略している場合がある。
- 図表及びコメントで、選択肢の語句等を一部簡略化等している場合がある。

II. 調査結果の概要

1 地域や人とのかかわりの状況

地域や人とのかかわりの程度については、図1のとおり「互いの家を訪問し何か困ったときに助け合う親しい人がいる」(10.7%)、「道や近所のお店で会えば立ち話をする程度の人ならいる」(20.1%)、「顔をあわせれば挨拶をする程度の人ならいる」(42.5%)を合わせると73.3%と、7割以上の方が、日頃から近所の人と声を交わす関係性にあると回答している。しかしながら、令和元年度調査と比べるとその割合は79.9%から73.3%と減少し、「互いの家を訪問し何か困ったときに助け合う親しい人がいる」は12.2%から10.7%へと減少、「ほとんど付き合いはない」は13.8%から19.6%へと増加していることから、地域における人と人とのつながりが弱くなっている様子が伺えた。

日頃からの交流の重要性・必要性については、図2のとおり「日頃の交流がないと、いざというときに助け合えないので、ある程度の交流はしておいたほうがよい」との回答が4割と、いざというときに備え日頃からの交流が必要であると認識している様子が伺える一方、前回調査と比べるとその割合は43.8%から40.3%へと減少しており、「地域で助け合うことは大切なことであり、そのためにも普段からの交流は重要だ」の回答においても20.6%から14.1%へと減少している。加えて「困ったことがあれば助け合うべきだと思うが、日頃の交流はあまりしたくない」は24.6%から31.3%へと増加しており、日頃からの交流の必要性を低く捉える傾向もみられる。また、図3では「近所の人に対してお手伝いをした経験はない」との回答が回答者の8割以上と、令和元年度調査に比べ10.3ポイント増加しており、地域で支え合う経験も大きく減少している。

図1 地域や人とのかかわりの程度

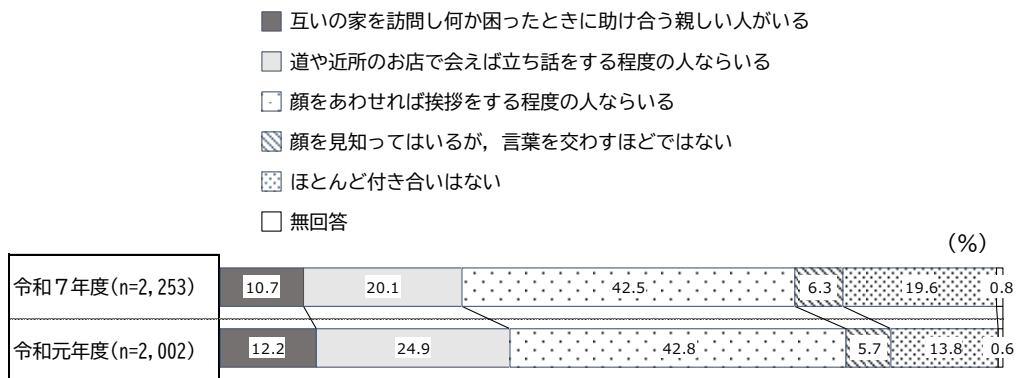


図2 日頃からの交流の重要性・必要性

- 地域で助け合うことは大切なことであり、そのためにも普段からの交流は重要だ
- 日頃の交流がないと、いざというときに助け合えないので、ある程度の交流はしておいたほうがよい
- 困ったことがあれば助け合うべきだとは思いますが、日頃の交流はあまりしたくない
- 地域との交流よりも、気のあった仲間やグループでの交流を大切に、困ったときもその中で助け合えばよい
- 困ったことがあれば行政やその他の団体などが支援すべきなので、地域での助け合いや日頃の交流は、あまり必要ではない
- 無回答

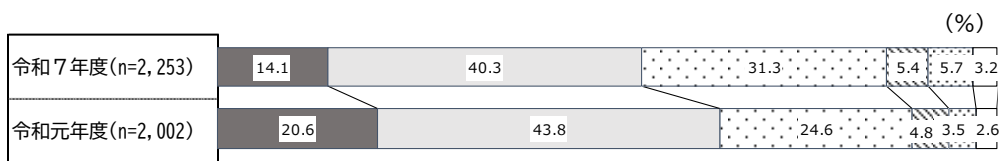
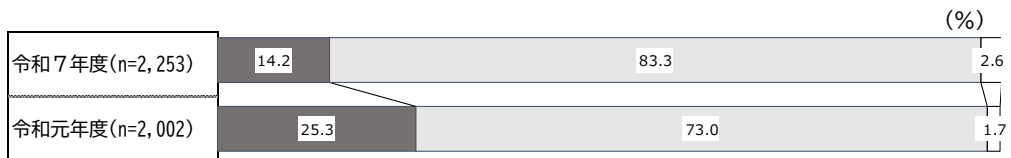


図3 地域での支え合いの経験

- 手助け・手伝いの経験あり
- お手伝いをした経験はない
- 無回答



2 地域で生活していく上での心配事やつながり先

地域で生活していく上での心配事（図4）については、「特に不安なことはない」が25.7%となっている一方、「大規模な災害等が起きた場合の対応」（46.7%）が4割を超え、続いて、「収入が不安定であること」（16.7%）、「介護等が必要な家族の世話に負担感があり、日常生活や仕事に支障が出ている、または出る恐れがあること」（13.9%）が挙げられている。

図4 地域で生活する上での心配事

	n=	の大規模な災害等が起きた場合の対応	収入が不安定であること	出するに支障があること	負担感があること	介護等が必要な家族の世話に負担感があること	買い物（日用品）が思うように買えないこと	高齢者の生活に支障があること	子育てに負担感があること	特に不安なことはない	その他	無回答
令和7年度	2,253	46.7	16.7	13.9	12.8	5.6	25.7	5.0	1.7			

地域における課題認識（図5）では、「地震や集中豪雨などの大規模災害が起こった時、どう対応したらよいかわからないこと」（27.2%）、「周りが高齢者の世帯ばかりであること（今後、高齢者世帯ばかりになりそうなこと）」（26.9%）が挙げられており、地域の課題と捉えていることが生活上の心配事につながっていることが伺える。

家族や親族以外で地域に気がかりな人がいるか（図6）については、「いる」と回答した人が10.9%と、割合としては高くないが、把握された人への対応（図7）としては多くの人が見守りや相談、支援者へのつなぎなどを行っている。一方、「特に何もしていない」を選択している人が12.2%となっている。

安心して生活していくために、有効と思うこと（図8）としては、「身近な場所に、相談できる窓口を増やす」（24.7%）や、「保健や福祉についての情報が手に入りやすくする」（18.2%）「助けや手伝いを必要とする人の希望に応えられるように様々なサービスを用意する」（19.0%）が挙げられるなど、さまざまなサービスに関する情報の把握のしやすさ、利用のしやすさを求める回答が高い。

図5 地域における課題認識

	n=	か大規模な災害等が起きた場合の対応	地震や集中豪雨などの災害	周りが高齢者の世帯ばかりであること	周りが高齢者の世帯ばかりであること	近所（高齢者）が多いこと	買い物（日用品）が思うように買えないこと	換気扇の掃除や点検など	子育てに負担感があること	特に不安なことはない	その他	無回答
令和7年度	2,253	27.2	26.9	19.3	8.7	4.2	33.3	4.7	1.9			

図6 自身の家族や親族以外で、地域で気がかりな方

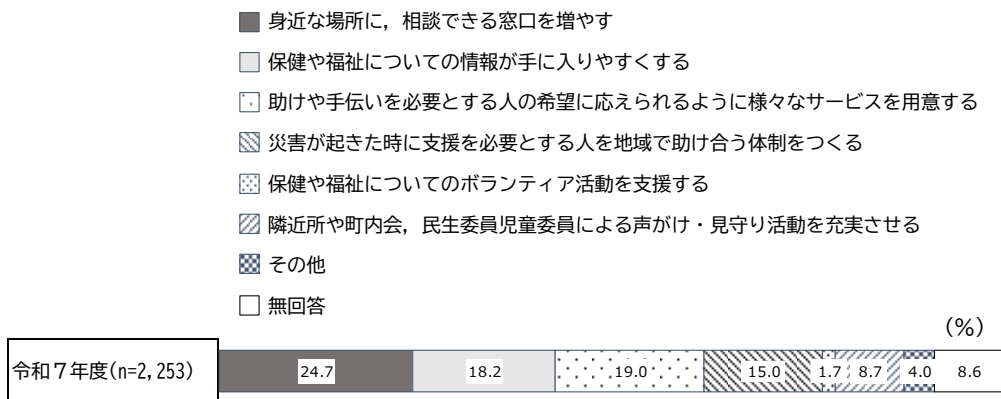


図7 地域で気がかりな方を把握している場合、その方への対応状況

(%)

	n=	気がかけて、見守っている(いた)	相談にのったり、助けた(した)	民生委員児童委員などの地域の方に相談している(した)	支援したいがわからない(相談先がわからない)	特になにもしていない(しなかつた)	かわるつもりはない	その他	無回答
令和7年度	245	55.9	19.2	9.4	7.3	12.2	9.0	9.4	2.9

図8 安心して生活していくために、有効と思うこと



3 成年後見制度について

成年後見制度について知っていること（図9）は、「認知症や知的障害、精神障害などにより判断能力が十分でない人が利用する制度である」が37.4%と、どのような人が利用する制度かについては多く知られている。一方で、具体的な内容となるとあまり認知されておらず、「知らない」も26.4%と4分の1を占めた。

制度の利用意向（図10）は、「利用したい」が3割ほどあるが、「わからない」とする人が半数以上いる。「利用したいとは思わない」「わからない」とした理由（図11）として、「制度をよく知らないから」を半数以上の人々が挙げており、一層の制度の周知が必要であることが伺える。

図9 成年後見制度について知っていること

	n=	で分審認後所誰 あでなど知見が るな症や人決 いのにやい後 人がり知的人 が判断書能、精 り用断書能、精 す力制が神 るが神 る度十障	後所誰 見が後見人 にめ見人 な、人 る親と こ族す と以か も外は あのは る人裁 が判	必要見 と人 なる 場合 報酬 がある 払い が	とき制 い、相 る、利 利用 でき しよ うと す知 つ	ある制 る、ま たは 利用 した こと があ が	が名 称は 聞 いた こと があ る	知 ら な い	そ の 他	無 回 答
令和7年度	2,253	37.4	22.4	12.1	7.4	2.0	29.2	26.4	1.0	1.8

図10 成年後見制度の利用意向

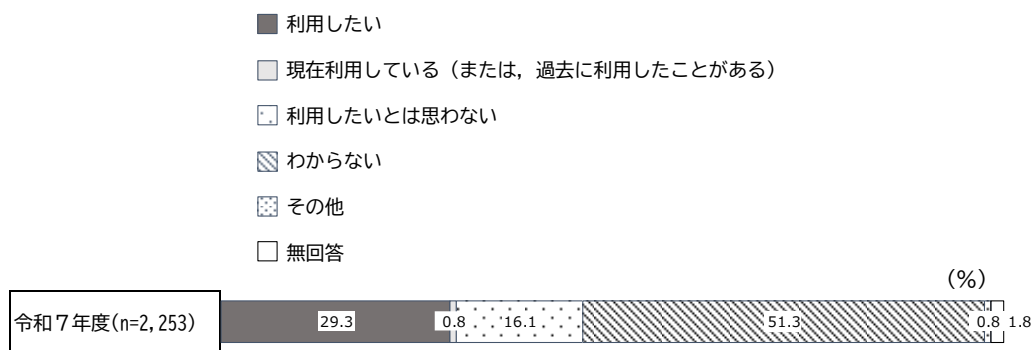


図11 成年後見制度を利用したいと思わない、または、わからない理由

	n=	ら制度 をよく 知らない か	な制度 のそ うだ が必 要に は	い財後 か産見 からか な人 わど つ個 て人 ほ的 しな くこ 人 な と	うと おの 金の 扱 り な が ど 面 後 倒 そ 人	う申 だ立 の 手 続 き が 難 し そ	た後 見 人 へ 報 酬 を 支 払 い	なあ か つ た メ リ ツ ト を 感 じ が	過 去 に 利 用 し た こ と が	そ の 他	無 回 答
令和7年度	1,518	54.2	24.0	20.5	15.0	13.0	4.7	0.4	5.7	2.8	

4 犯罪をした人の立ち直りの支援について

刑務所等出所後の生活のしづらさから再び犯罪に手を染めてしまう人がいることへの認知度（図 12）は、「知っている」（26.9%）と「聞いたことがある」（41.5%）を合わせると約7割となっている。

刑務所や少年院を出た人の社会復帰支援についての考え方（図 13）は、「地域の安全・安心のためには、ある程度支援することは必要だ」（37.0%）、「行政や関係機関が責任をもって積極的に支援すべきだ」（32.0%）が上位に挙げられた。「特別な支援や配慮は必要ない」は5.1%にとどまる。

図 12 出所後の生活のしづらさにより再犯に至る人がいることの認知度

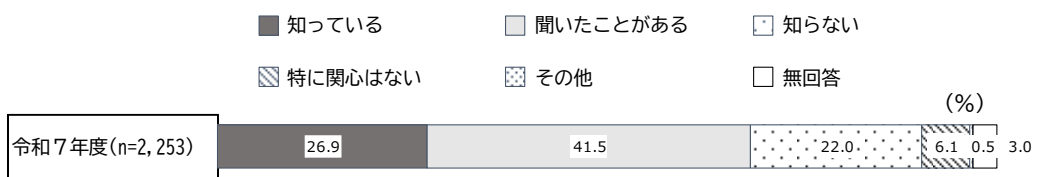


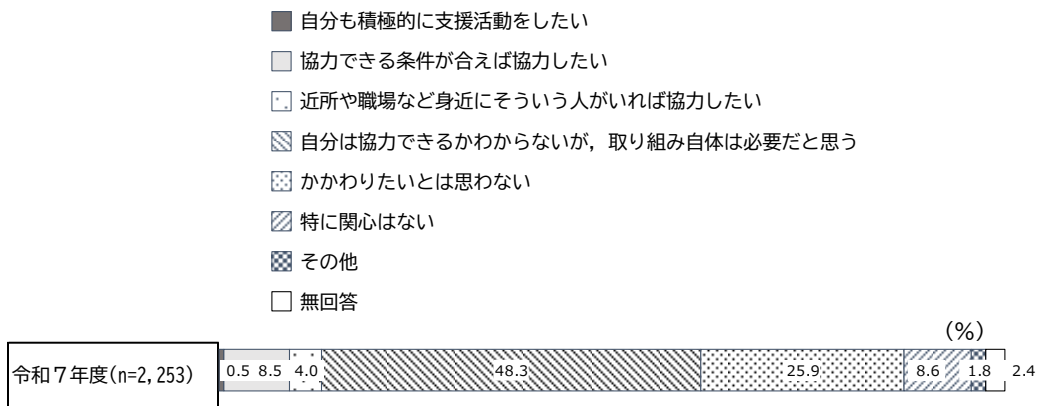
図 13 刑務所や少年院を出た人の社会復帰支援についての考え方

	n=	はは地、域の安全・安心のためには、ある程度支援する必要がある	だも行政や関係機関が積極的に支援すべき	にら市民の理解と協力を得るべきだ	だけ今あるサービスや配慮を積極的に受けたい	ベ出所や少年者の認知症・障害の積極的に対応	のさら啓発が、市民や事業者への対応が	い特別な支援や配慮は必要ない	特に関心はない	その他	無回答
令和7年度	2,253	37.0	32.0	22.2	18.2	11.2	9.5	5.1	7.1	3.5	2.7

刑務所や少年院を出た人の社会復帰支援についてのあなたのかかわり方（図14）で最も高いのは、「自分は協力できるかわからないが、取り組み自体は必要だと思う」（48.3%）で、前頁の結果と合わせて支援の必要性自体は概ね理解されていることが伺える。

しかし、「自分も積極的に支援活動をしたい」（0.5%）、「協力できる条件が合えば協力したい」（8.5%）、「近所や職場など身近にそういう人がいれば協力したい」（4.0%）など、自分自身が関わりたいとする回答は限定的となった。

図14 刑務所や少年院を出た人の社会復帰支援についてのあなたのかかわり方

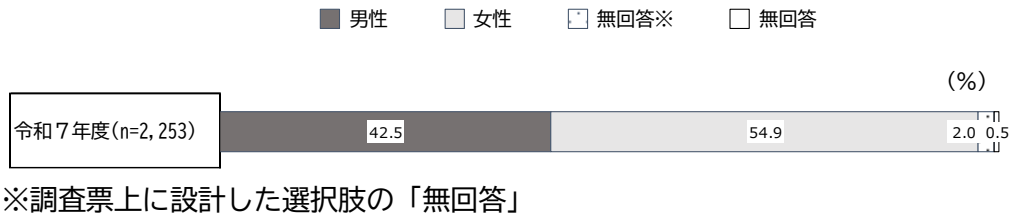


Ⅲ. 調査結果

1 調査対象者の属性

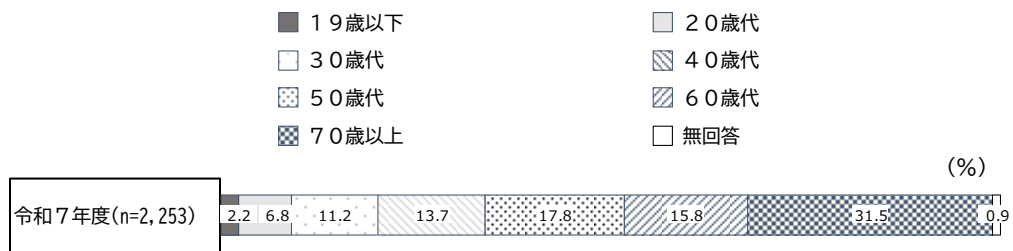
(1) 性別

○「男性」が42.5%、「女性」が54.9%となっている。



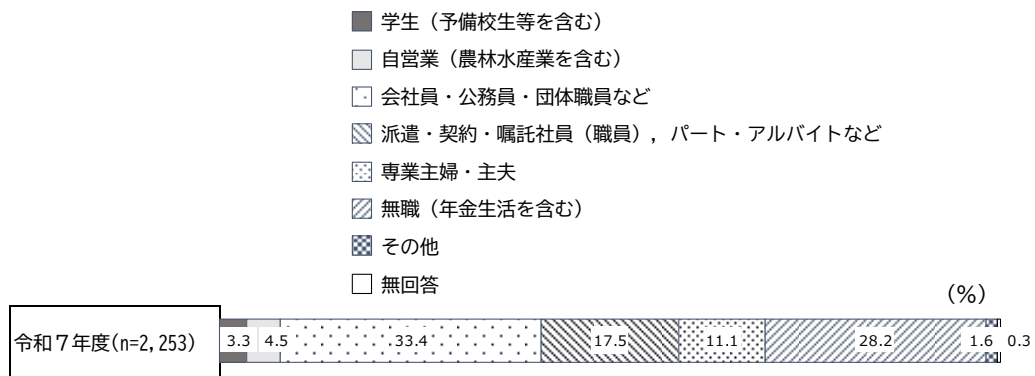
(2) 年齢

○「70歳以上」(31.5%)が最も高く、次いで「50歳代」(17.8%)、「60歳代」(15.8%)となっている。



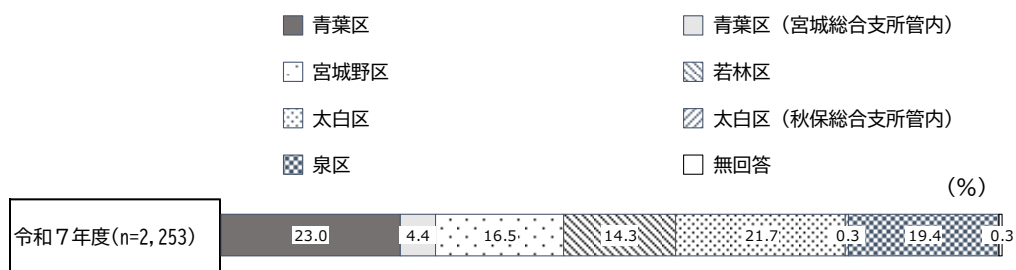
(3) 職業

○「会社員・公務員・団体職員など」(33.4%)が最も高く、次いで「無職(年金生活を含む)」(28.2%)となっている。



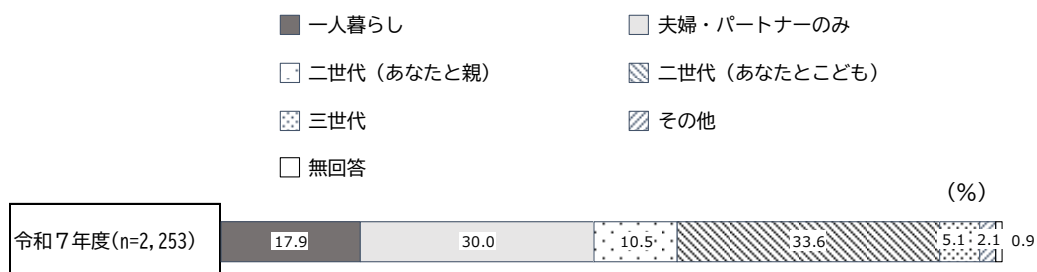
(4) 居住区

○「青葉区」(23.0%) が最も高く、次いで、「太白区」(21.7%)、「泉区」(19.4%) となっている。



(5) 世帯構成

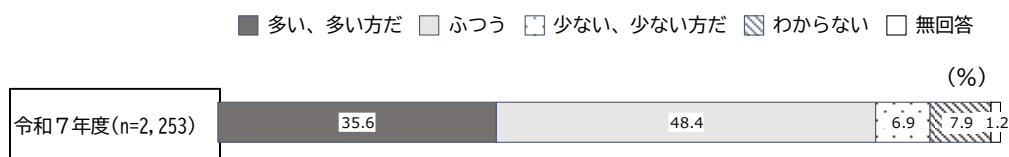
○「二世帯 (あなたと子ども)」(33.6%) が最も高く、次いで「夫婦・パートナーのみ」(30.0%) となっている。



(6) 居住地域について

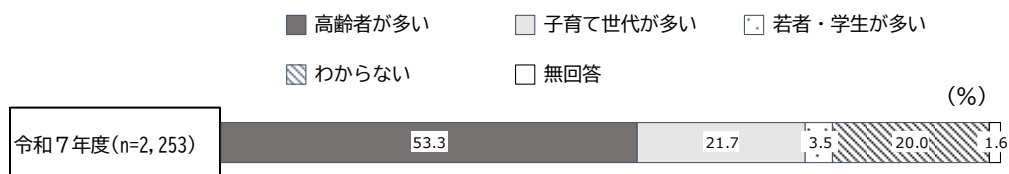
ア. 世帯数

○「ふつう」(48.4%)が最も高く、次いで「多い、多い方だ」(35.6%)となっている。



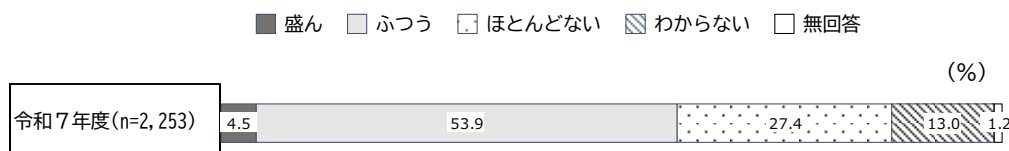
イ. 住民層

○「高齢者が多い」(53.3%)が最も高く、次いで「子育て世代が多い」(21.7%)となっている。



ウ. 居住地域の近所付き合いや町内会活動の状況

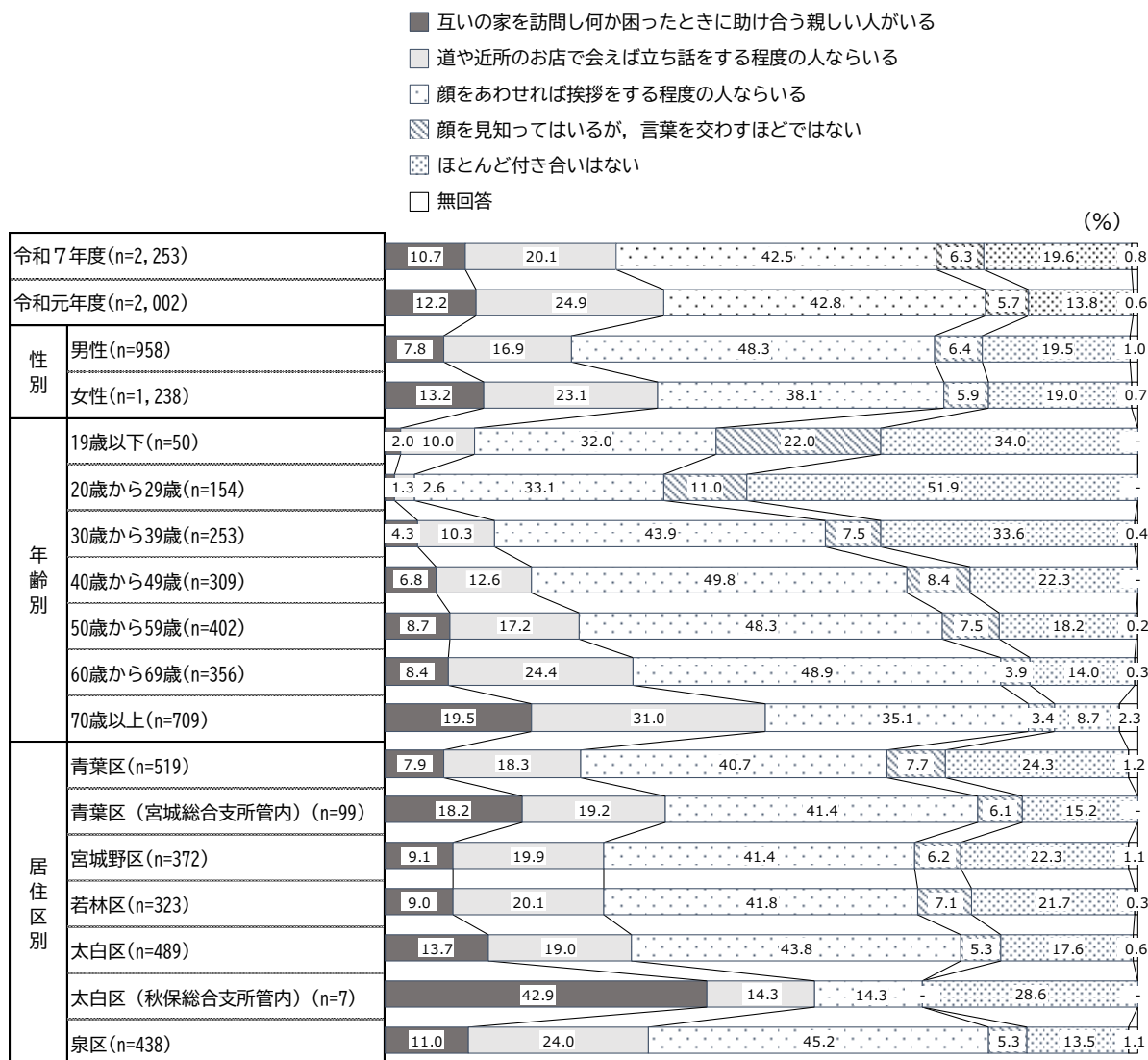
○「ふつう」(53.9%)が最も高く、次いで「ほとんどない」(27.4%)となっている。



2 地域や人とのかかわりの状況

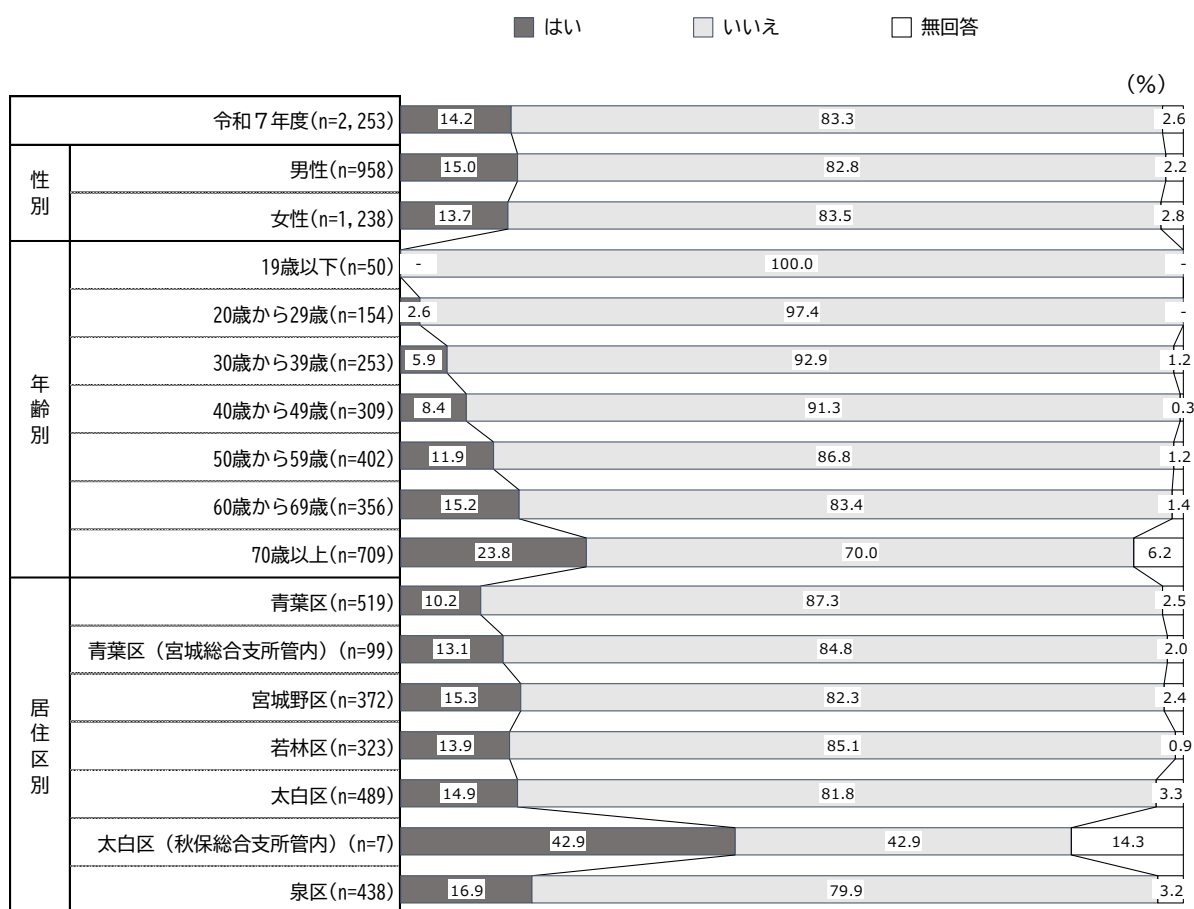
(1) 地域や人とのかかわりの程度

○全体では「顔をあわせれば挨拶をする程度の人ならいる」が42.5%と最も高く、次いで「道や近所のお店で会えば立ち話をする程度の人ならいる」(20.1%)となっている。



(2) 地域や人との支え合いの経験

○ご近所の人のお手伝い経験の有無について、全体では「はい」が14.2%、「いいえ」が83.3%となっている。



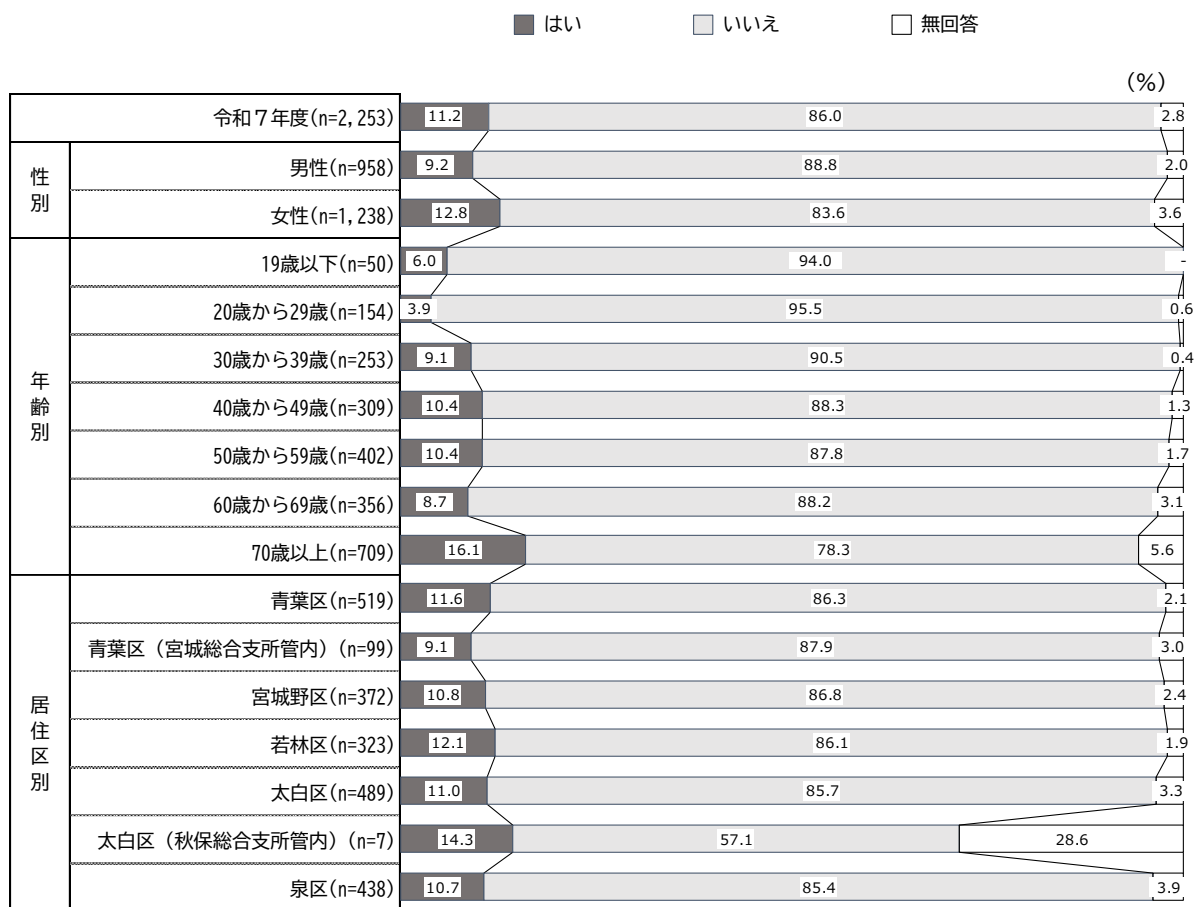
○お手伝いの内容について、全体では「庭木の手入れ・草取り、雪かき、ごみ袋の運搬、電球交換、大きな家具の移動など」(42.0%)が最も高く、次いで「悩みごとや心配ごとの相談にのった」(30.7%)となっている。

(%)

		n=	換き、庭木の 、ごみ袋の運 、大きな家具 の搬移、電球 など交換	の悩みごと や心配ごとの 相談に	へ一人暮らし の高齢者や障 害者	災害時や緊急 時の手助け	買い物や通院 の送迎	こどもの預か り	その他	無 回 答
令和7年度		319	42.0	30.7	26.3	8.5	8.5	5.0	13.8	0.6
性別	男性	144	53.5	22.9	21.5	9.0	5.6	2.8	11.8	0.7
	女性	169	32.0	38.5	30.2	7.7	11.2	7.1	16.0	0.6
年齢別	19歳以下	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	20歳から29歳	4	50.0	-	25.0	-	-	-	25.0	-
	30歳から39歳	15	33.3	40.0	6.7	6.7	13.3	20.0	20.0	-
	40歳から49歳	26	46.2	19.2	19.2	-	3.8	19.2	11.5	-
	50歳から59歳	48	45.8	31.3	22.9	20.8	10.4	4.2	10.4	-
	60歳から69歳	54	50.0	25.9	25.9	5.6	5.6	-	9.3	-
	70歳以上	169	38.5	34.3	29.6	7.7	8.9	3.6	16.0	1.2
居住区別	青葉区	53	54.7	28.3	28.3	9.4	5.7	5.7	13.2	-
	青葉区(宮城総合支所管内)	13	46.2	53.8	23.1	7.7	-	-	23.1	-
	宮城野区	57	43.9	24.6	28.1	12.3	12.3	7.0	24.6	-
	若林区	45	35.6	33.3	35.6	8.9	8.9	6.7	11.1	-
	太白区	73	41.1	27.4	23.3	6.8	4.1	5.5	13.7	-
	太白区(秋保総合支所管内)	3	66.7	-	-	33.3	33.3	-	-	33.3
	泉区	74	35.1	36.5	21.6	5.4	12.2	2.7	6.8	1.4

(3) 地域の人から今後協力してもらいたいこと

○ご近所の人からお手伝いをしてもらいたいと思ったことがあるかについて、全体では「はい」が11.2%、「いいえ」が86.0%となっている。



○お手伝いしてもらいたいことの内容について、全体では「災害時や緊急時の手助け」(58.3%)が最も高く、次いで「庭木の手入れ・草取り、雪かき、ごみ袋の運搬、電球交換、大きな家具の移動など」(26.2%)となっている。

(%)

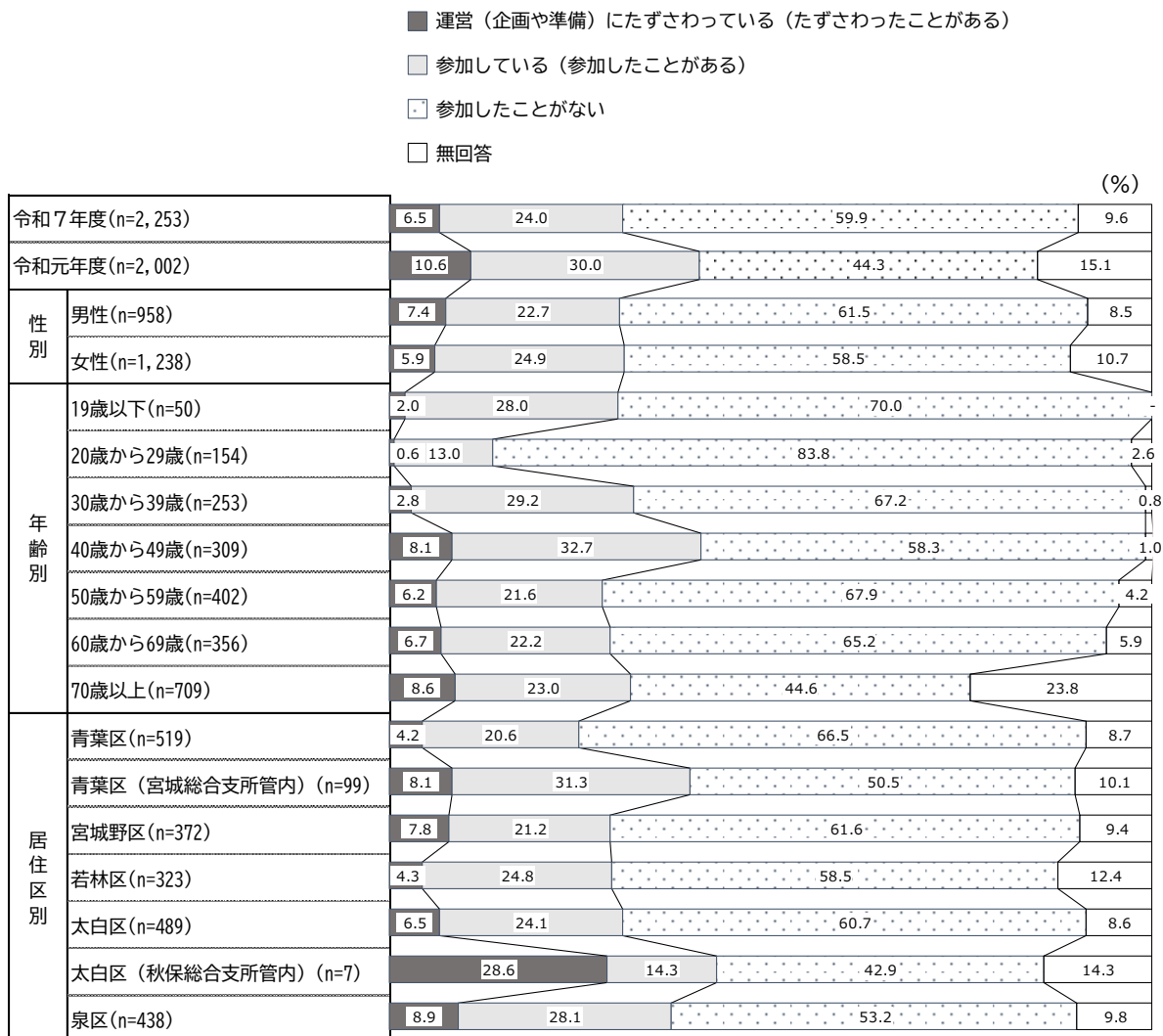
		n=	災害時や緊急時の手助け	庭木の手入れ・草取り、雪かき、大きな家具の運搬、電球交換など	声かけや一人暮らしの高齢者の障害確認(め)	声かけや安否確認(高齢者の相談)	悩みごとや心配ごとの相談に	こどもの預かり	買い物や通院の送迎	その他	無回答
令和7年度		252	58.3	26.2	19.8	12.3	8.7	7.1	8.3	0.8	
性別	男性	88	58.0	28.4	17.0	14.8	5.7	4.5	8.0	2.3	
	女性	159	58.5	25.8	21.4	11.3	10.1	8.8	8.8	-	
年齢別	19歳以下	3	66.7	33.3	-	-	-	-	-	-	
	20歳から29歳	6	100.0	-	16.7	-	-	-	-	-	
	30歳から39歳	23	60.9	30.4	4.3	26.1	34.8	4.3	4.3	-	
	40歳から49歳	32	53.1	9.4	6.3	12.5	31.3	6.3	12.5	-	
	50歳から59歳	42	69.0	33.3	16.7	23.8	4.8	4.8	7.1	-	
	60歳から69歳	31	71.0	22.6	6.5	3.2	-	-	3.2	3.2	
	70歳以上	114	50.0	29.8	32.5	8.8	0.9	11.4	10.5	0.9	
居住区別	青葉区	60	56.7	31.7	20.0	10.0	8.3	3.3	10.0	-	
	青葉区(宮城総合支所管内)	9	33.3	33.3	22.2	11.1	-	11.1	33.3	-	
	宮城野区	40	57.5	17.5	20.0	25.0	5.0	7.5	5.0	-	
	若林区	39	66.7	25.6	12.8	12.8	7.7	2.6	10.3	2.6	
	太白区	54	59.3	27.8	16.7	7.4	13.0	11.1	5.6	-	
	太白区(秋保総合支所管内)	1	100.0	-	-	100.0	-	-	-	-	
	泉区	47	59.6	25.5	29.8	8.5	6.4	10.6	6.4	2.1	

(4) 地域活動への運営・参加経験・参加意向

ア. 地域のお祭りやイベント

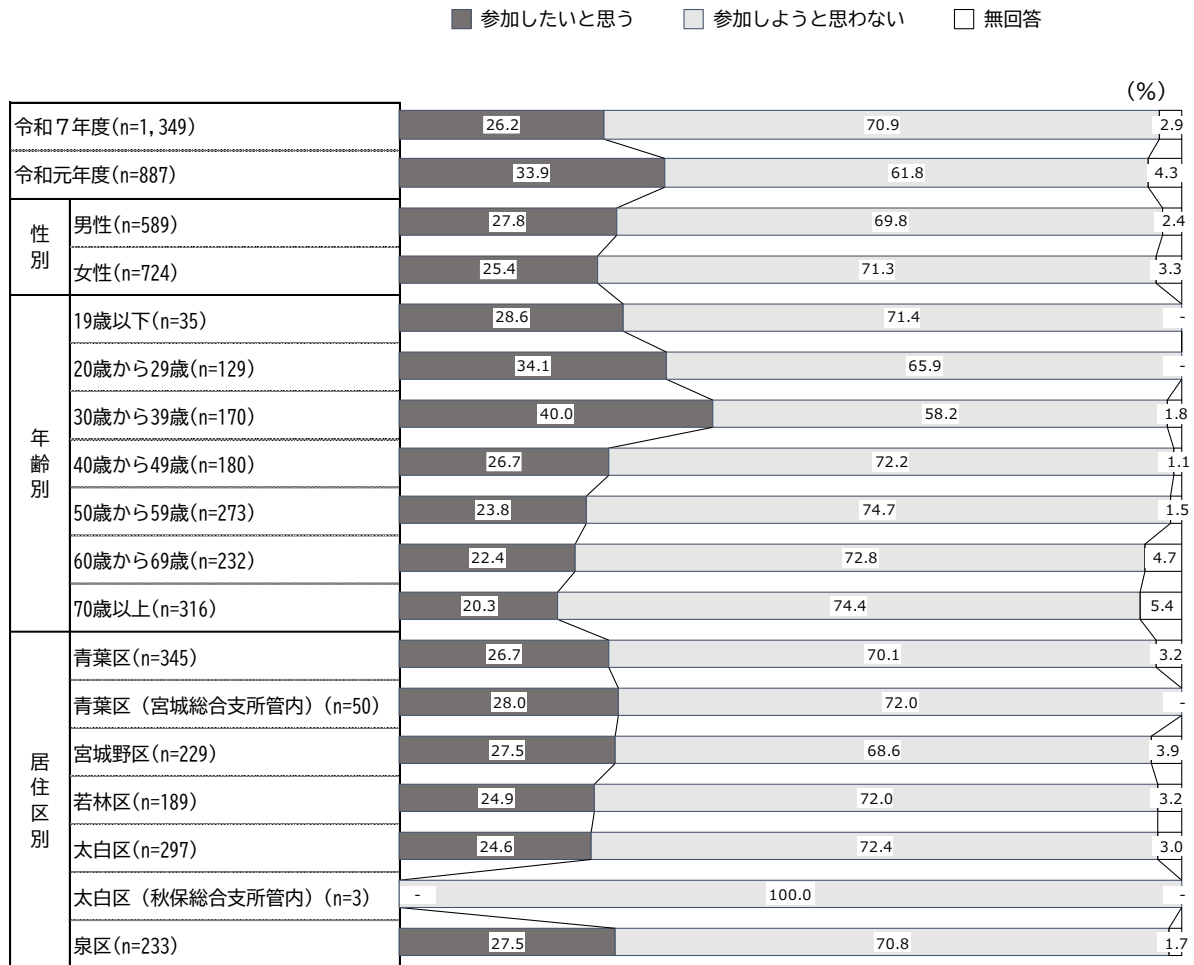
①地域活動への運営・参加経験

○全体では「参加したことがない」(59.9%)が最も高く、次いで「参加している(参加したことがある)」(24.0%)となっている。



②地域活動への参加意向

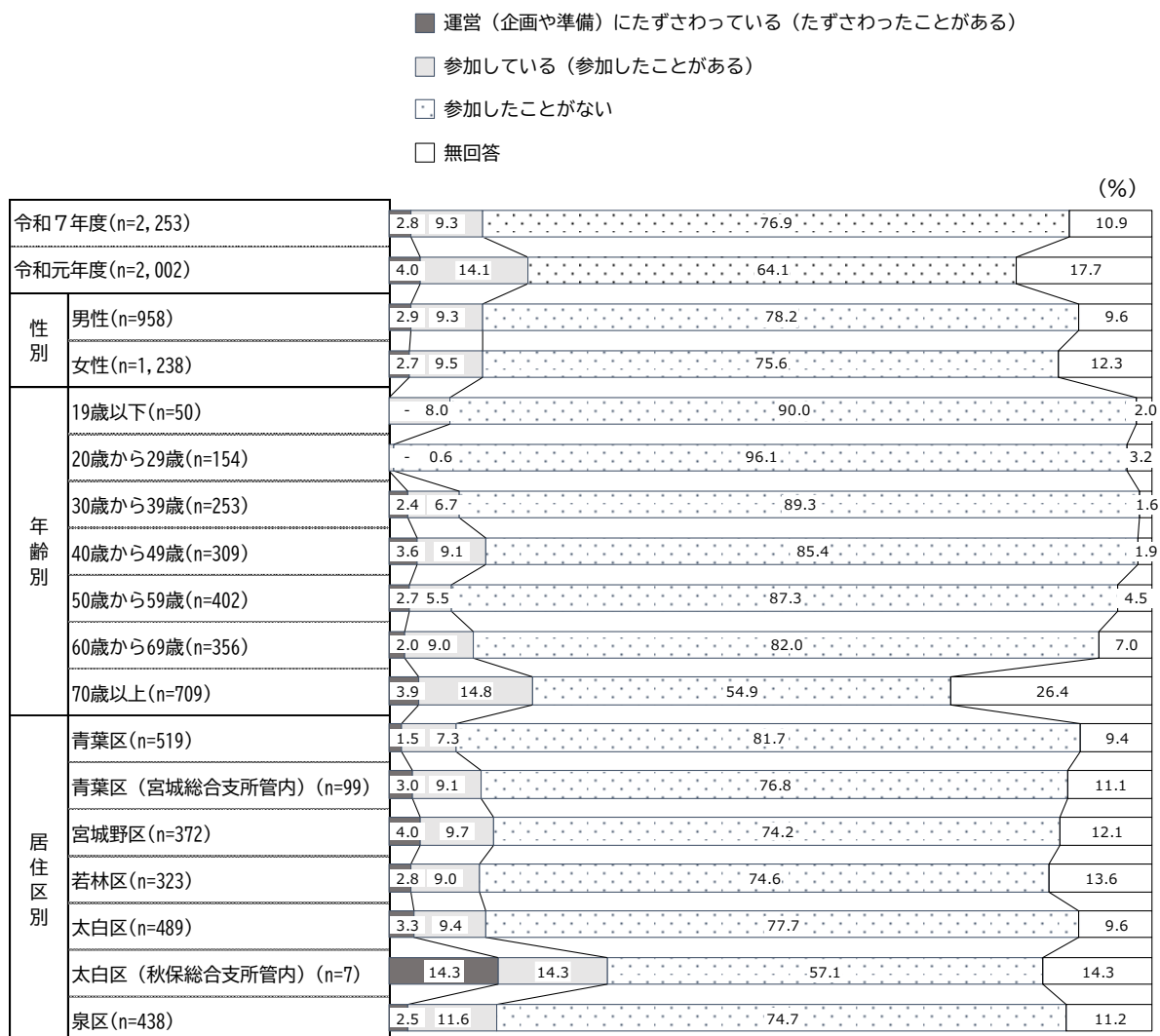
○全体では「参加したいと思う」が26.2%、「参加しようと思わない」が70.9%となっている。



イ. スポーツや健康づくりの活動

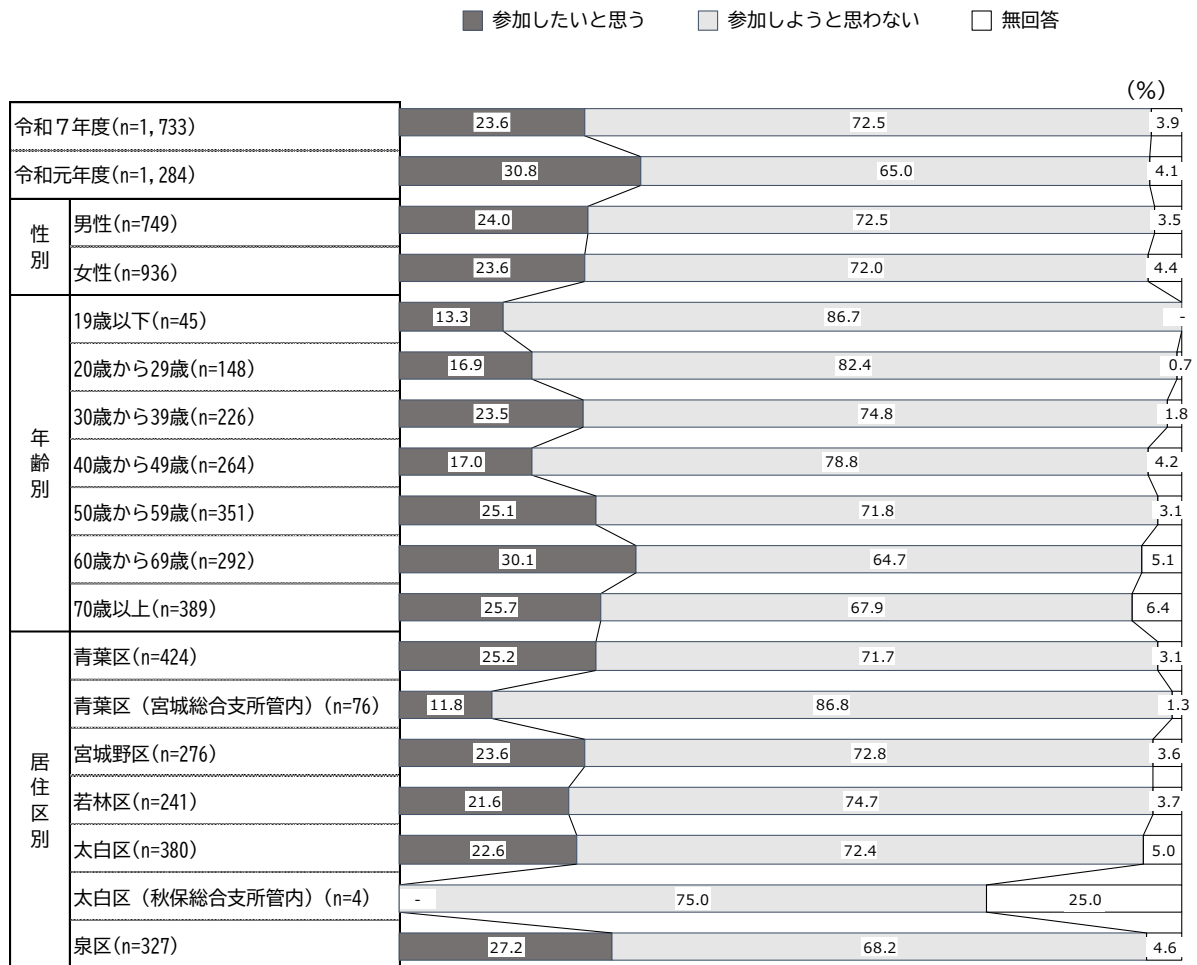
①地域活動への運営・参加経験

○全体では「参加したことがない」(76.9%)が最も高く、次いで「参加している(参加したことがある)」(9.3%)となっている。



②地域活動への参加意向

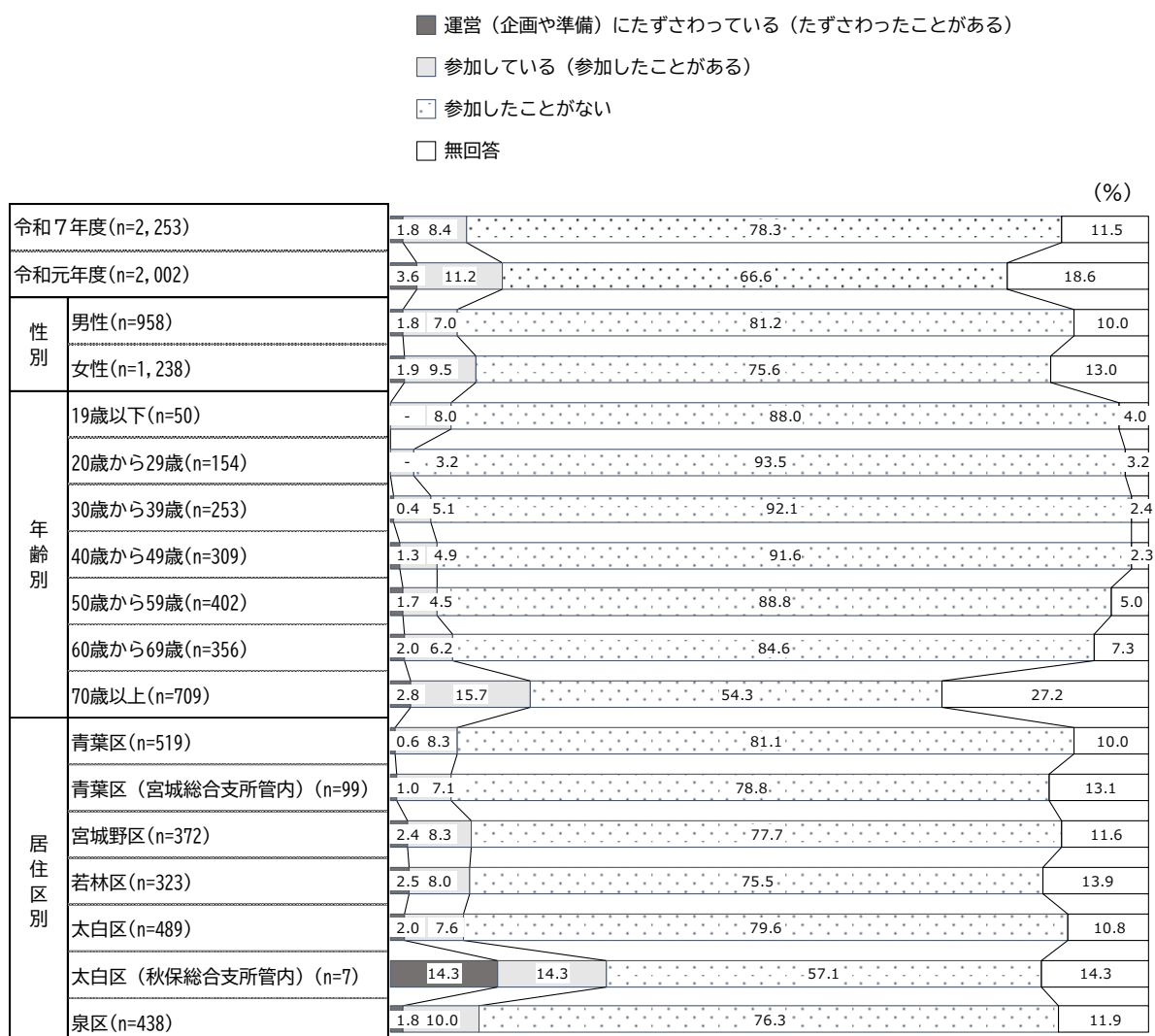
○全体では「参加したいと思う」が23.6%、「参加しようと思わない」が72.5%となっている。



ウ. 文化活動や趣味のサークルなどの活動

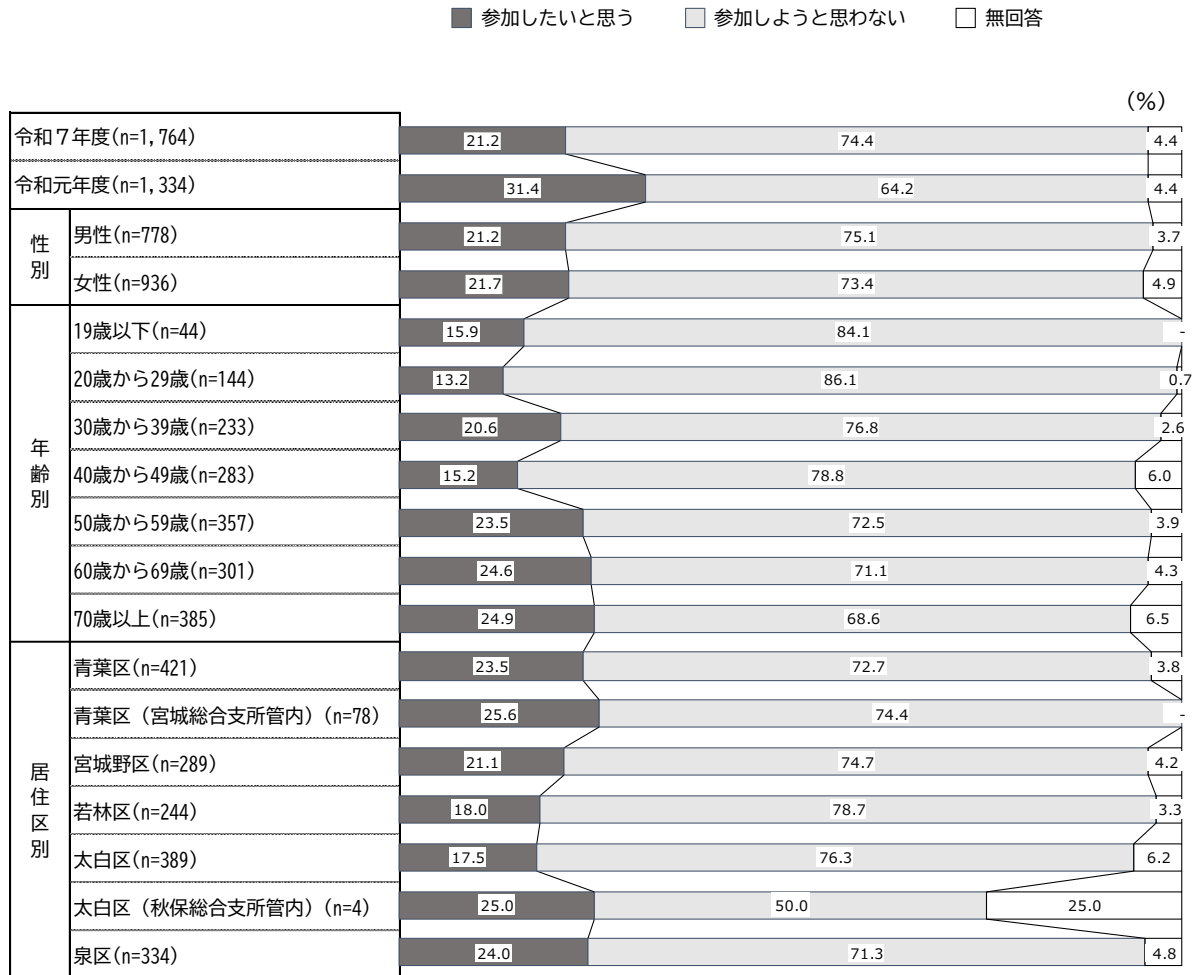
①地域活動への運営・参加経験

○全体では「参加したことがない」(78.3%)が最も高く、次いで「参加している(参加したことがある)」(8.4%)となっている。



②地域活動への参加意向

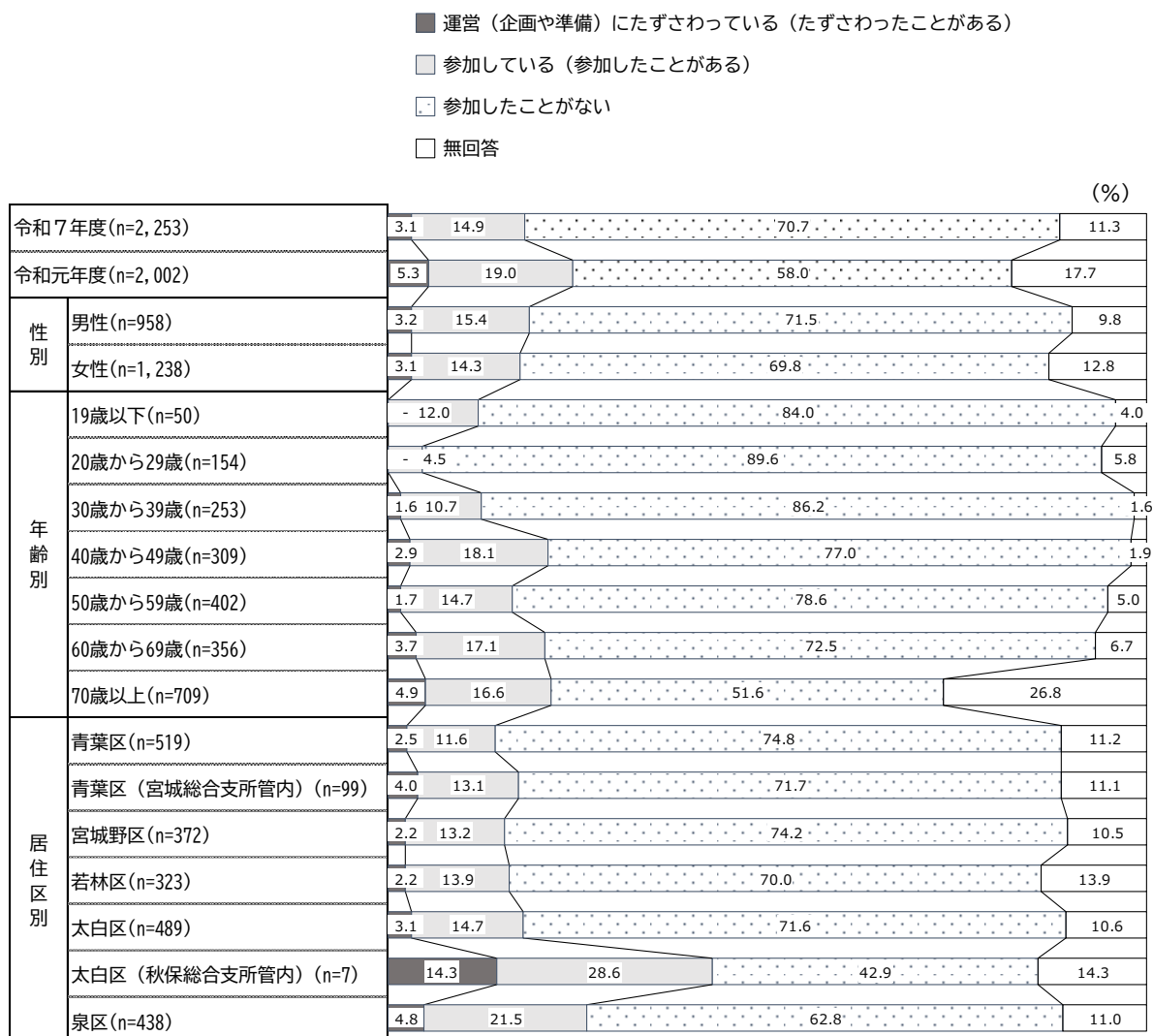
- 全体では「参加したいと思う」が21.2%、「参加しようと思わない」が74.4%となっている。
- 経年比較では「参加したいと思う」が前回調査（31.4%）と比べ10.2ポイント低くなっている。



工. 地域の防災や防犯のための活動

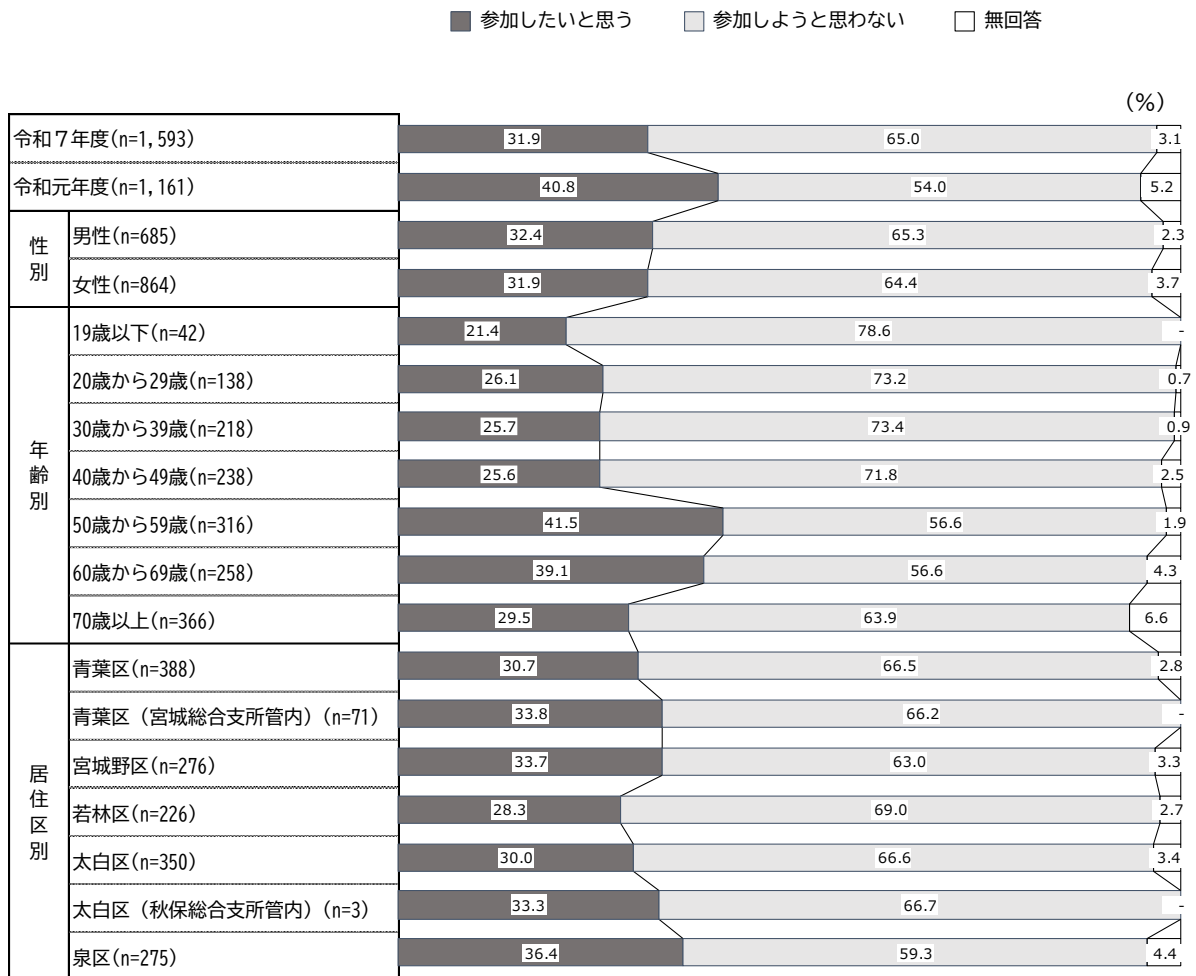
①地域活動への運営・参加経験

○全体では「参加したことがない」(70.7%)が最も高く、次いで「参加している(参加したことがある)」(14.9%)となっている。



②地域活動への参加意向

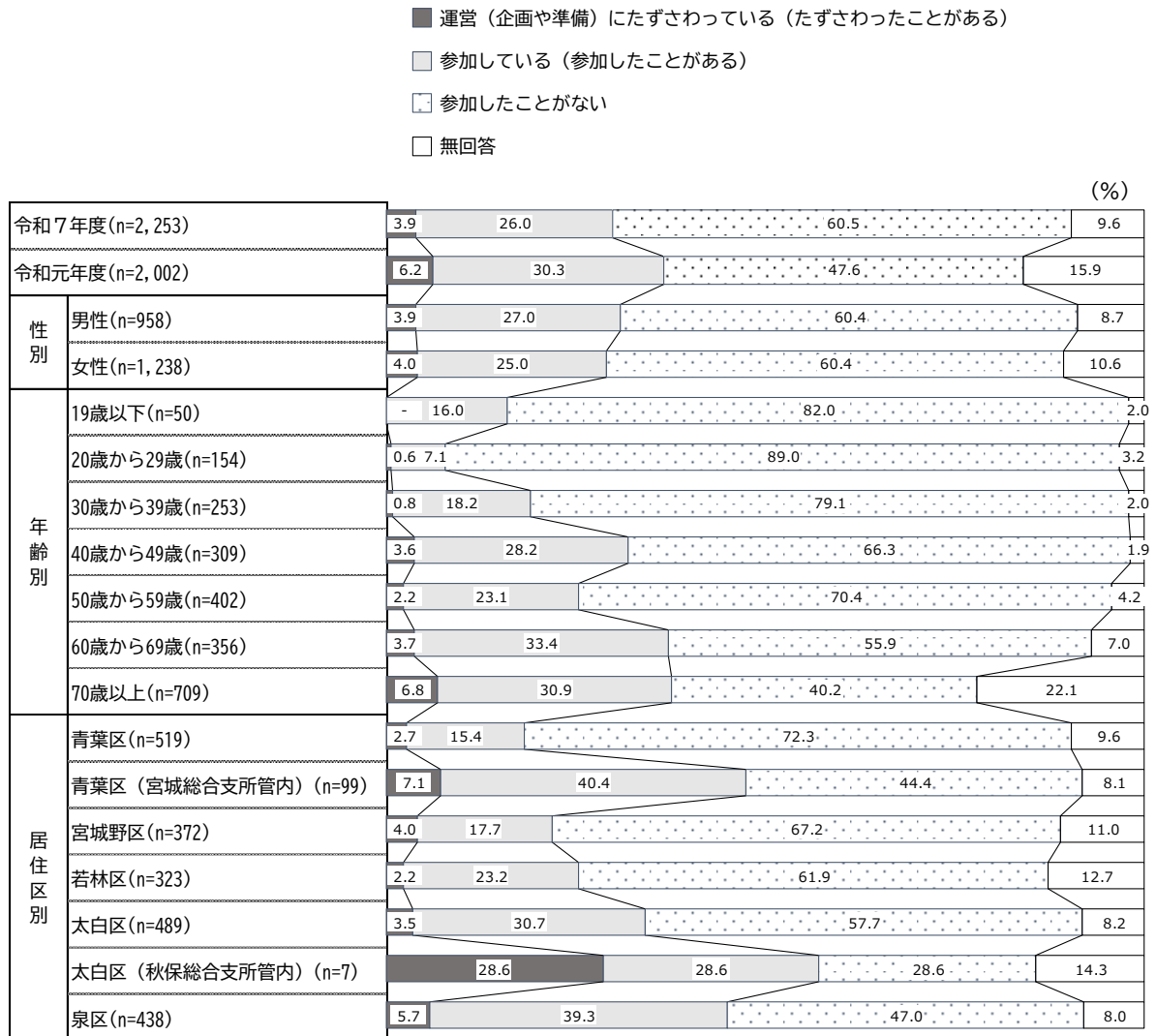
○全体では「参加したいと思う」が31.9%、「参加しようと思わない」が65.0%となっている。



オ. 道路や公園などの清掃活動

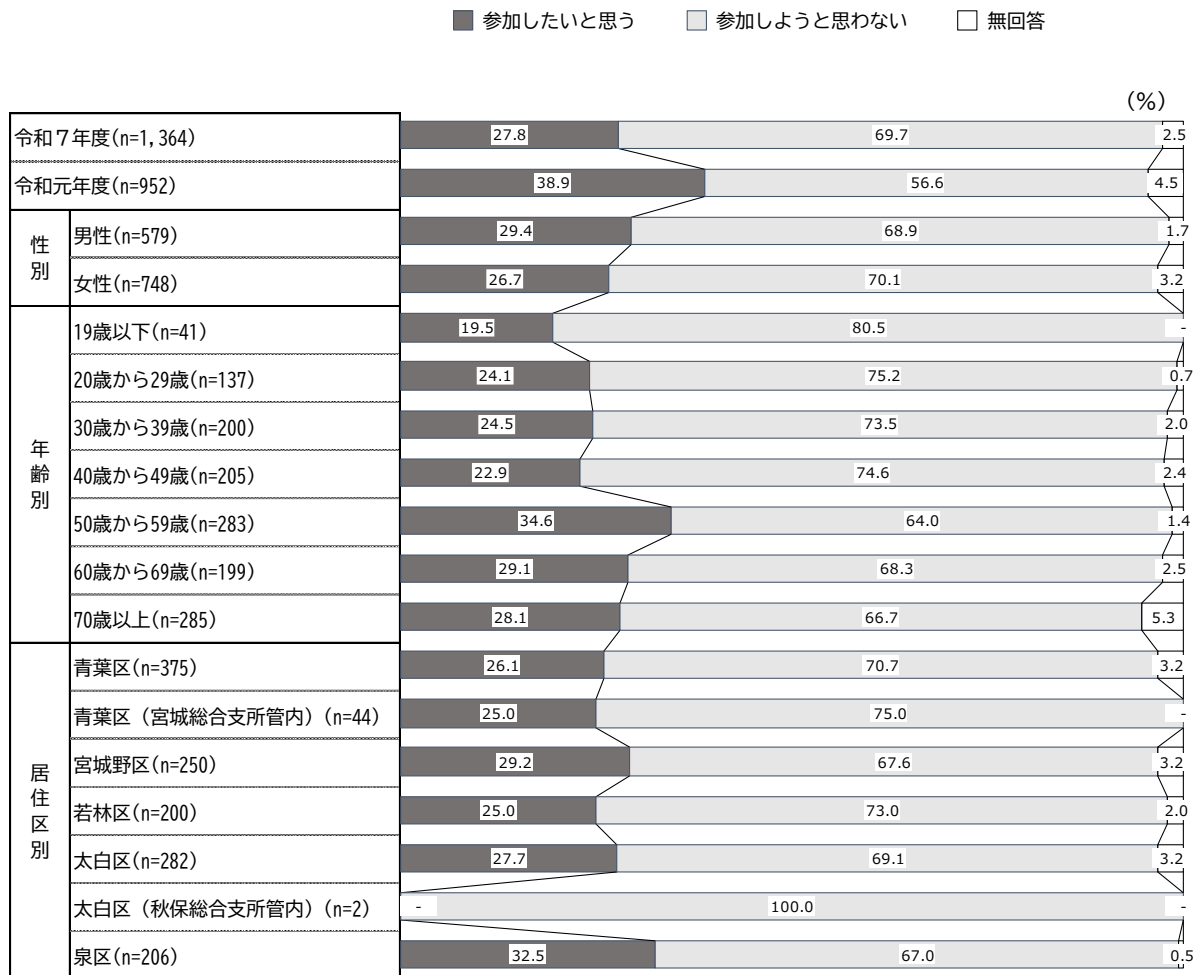
①地域活動への運営・参加経験

○全体では「参加したことがない」(60.5%)が最も高く、次いで「参加している(参加したことがある)」(26.0%)となっている。



②地域活動への参加意向

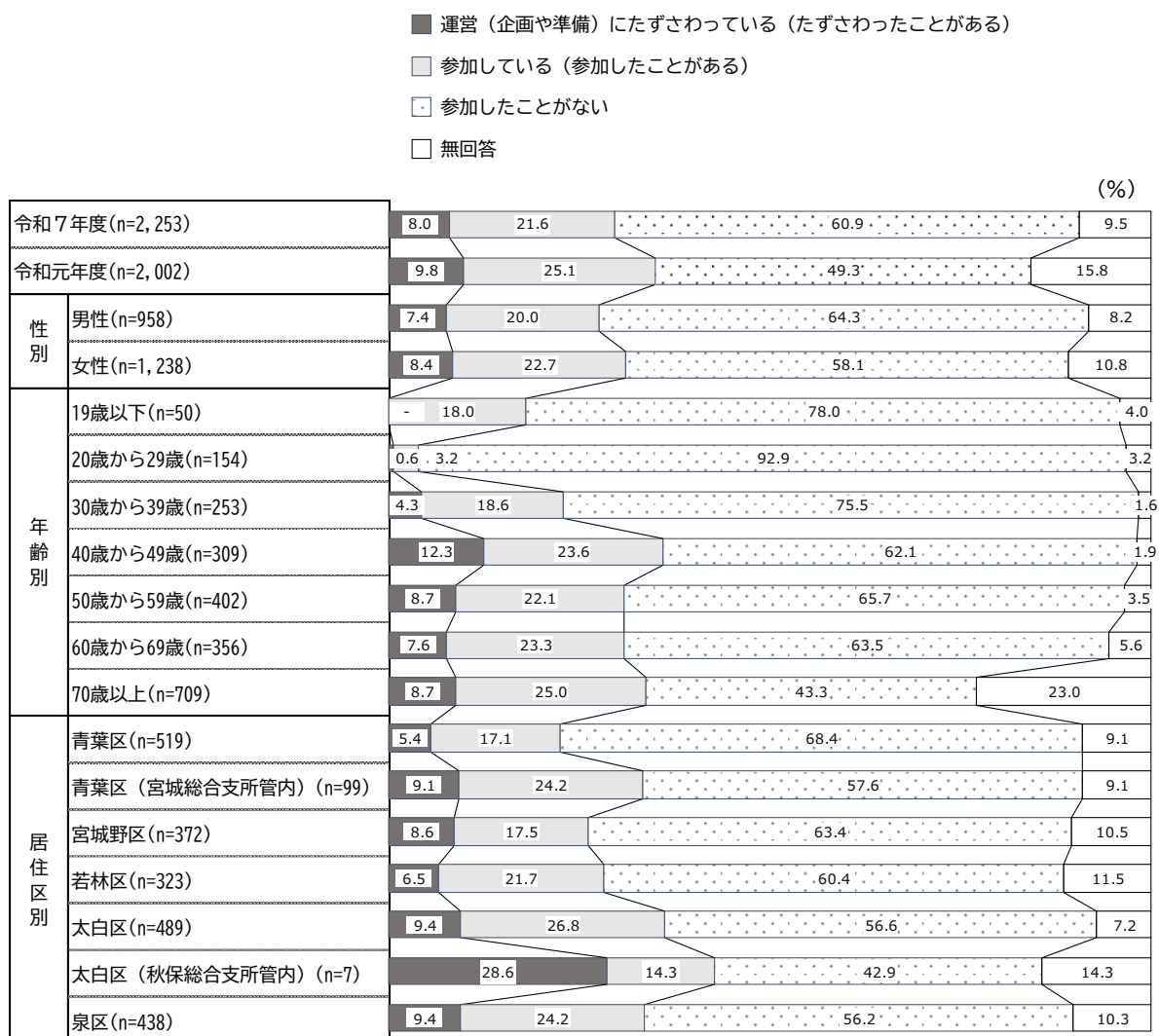
○全体では「参加したいと思う」が27.8%、「参加しようと思わない」が69.7%となっている。
 ○経年比較では「参加したいと思う」が前回調査（38.9%）と比べ11.1ポイント低くなっている。



カ. 町内会・自治会，老人クラブ，子ども会など

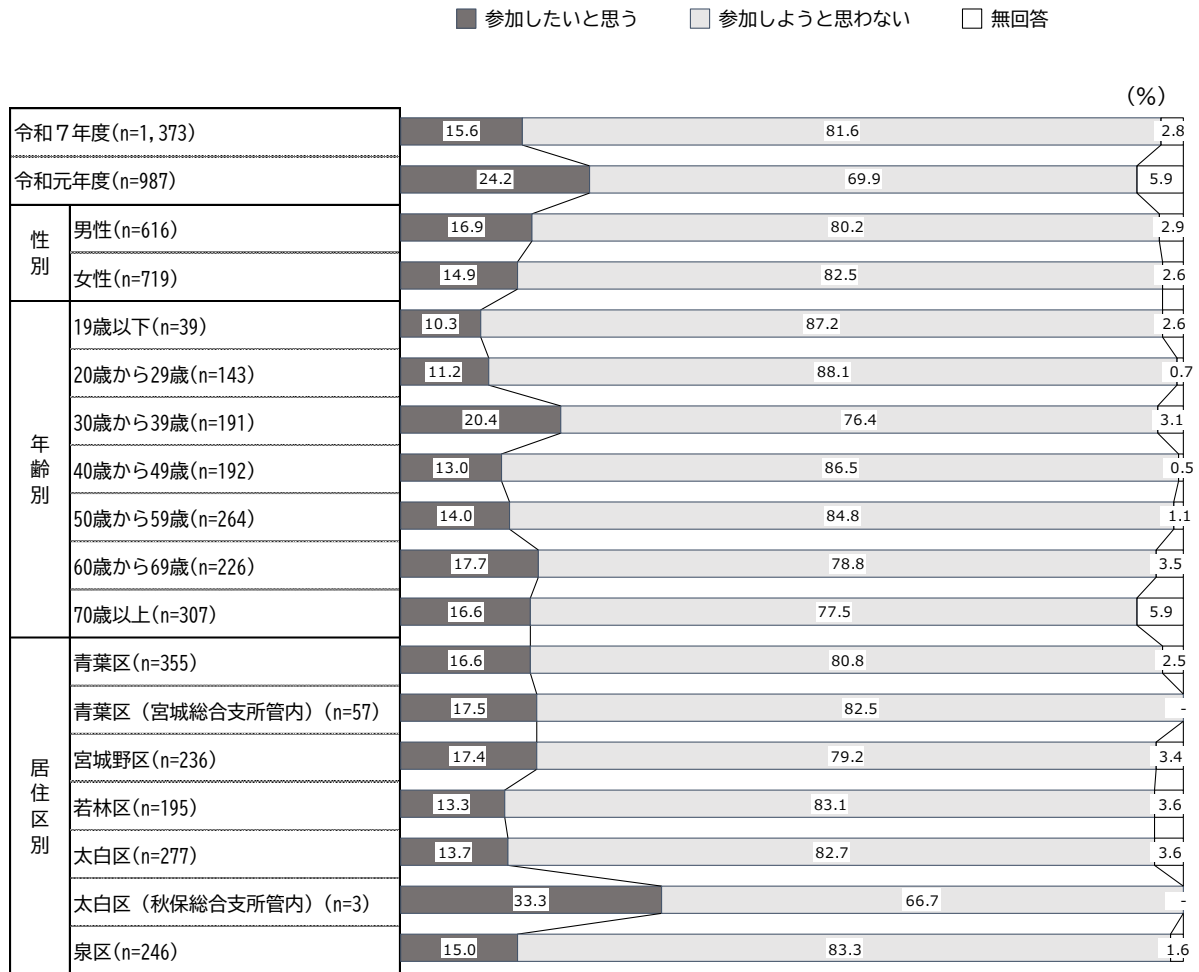
①地域活動への運営・参加経験

○全体では「参加したことがない」(60.0%)が最も高く、次いで「参加している(参加したことがある)」(21.6%)となっている。



②地域活動への参加意向

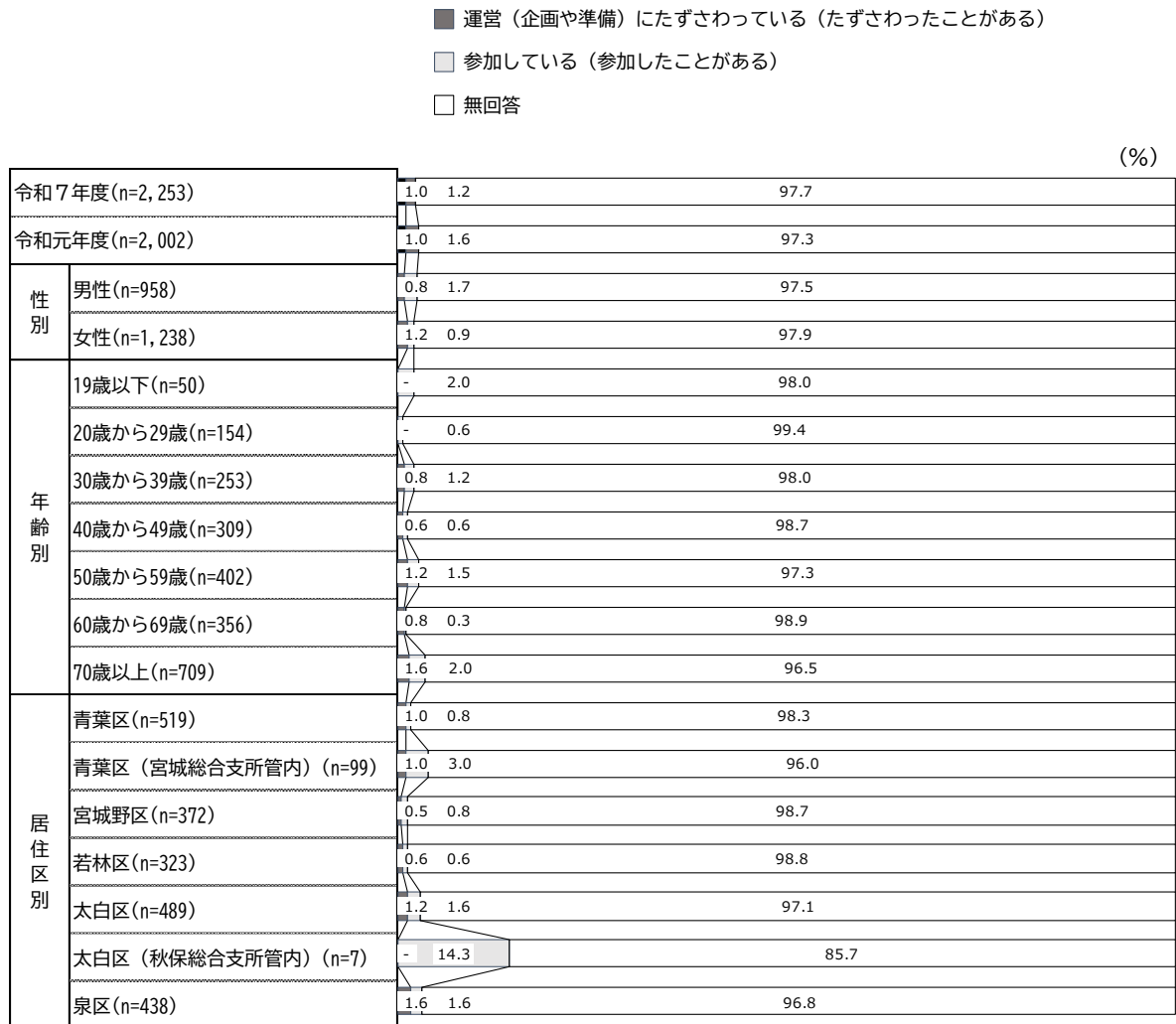
○全体では「参加したいと思う」が15.6%、「参加しようと思わない」が81.6%となっている。



キ. その他

①地域活動への運営・参加経験

○全体では「運営（企画や準備）にたずさわっている（たずさわったことがある）」が1.0%、「参加している（参加したことがある）」が1.2%となっている。



※選択肢「参加したことがない」は、選択肢がないため数値の表記なし

(5) 地域活動への参加にあたっての課題

○全体では「参加する時間がない」(44.9%)が最も高く、次いで「参加するきっかけがない」(29.6%)となっている。

○経年比較では「参加する時間がない」が前回調査(36.9%)と比べ8.0ポイント高くなっている。

		n=	参加する時間がない	参加するきっかけがない	健康面や体力面	一人では参加しにくい	地域でどのような活動があるかわからない	参加しようと思わない	その他	無回答
令和7年度		2,253	44.9	29.6	24.1	23.2	23.1	11.2	5.8	3.4
令和元年度		2,002	36.9	27.5	19.6	26.5	24.0	12.5	5.3	3.1
性別	男性	958	46.1	31.8	21.6	20.8	23.9	11.2	4.2	3.0
	女性	1,238	43.3	27.9	26.0	24.9	22.3	11.0	6.9	3.8
年齢別	19歳以下	50	72.0	40.0	4.0	42.0	28.0	12.0	2.0	-
	20歳から29歳	154	64.9	46.8	3.2	36.4	39.0	14.9	1.9	0.6
	30歳から39歳	253	67.6	40.7	8.3	32.0	31.2	15.0	3.2	-
	40歳から49歳	309	63.1	31.4	8.7	25.2	24.3	12.0	4.2	0.3
	50歳から59歳	402	63.7	31.3	13.2	24.4	22.9	8.7	5.2	1.2
	60歳から69歳	356	41.6	28.4	21.6	21.1	25.8	10.4	5.3	2.5
	70歳以上	709	13.0	20.0	50.2	15.2	14.5	10.6	8.9	8.5
居住区別	青葉区	519	43.4	31.4	23.5	23.7	29.1	8.7	6.0	3.3
	青葉区(宮城総合支所管内)	99	43.4	29.3	23.2	21.2	19.2	16.2	3.0	4.0
	宮城野区	372	44.9	28.8	21.2	25.0	25.0	12.6	6.2	3.2
	若林区	323	49.2	30.0	23.5	17.0	24.5	12.7	4.0	3.1
	太白区	489	46.8	29.4	25.4	25.6	19.6	10.6	6.5	2.5
	太白区(秋保総合支所管内)	7	28.6	14.3	28.6	14.3	14.3	-	42.9	-
	泉区	438	41.6	28.5	26.5	23.1	18.3	11.6	5.5	4.8

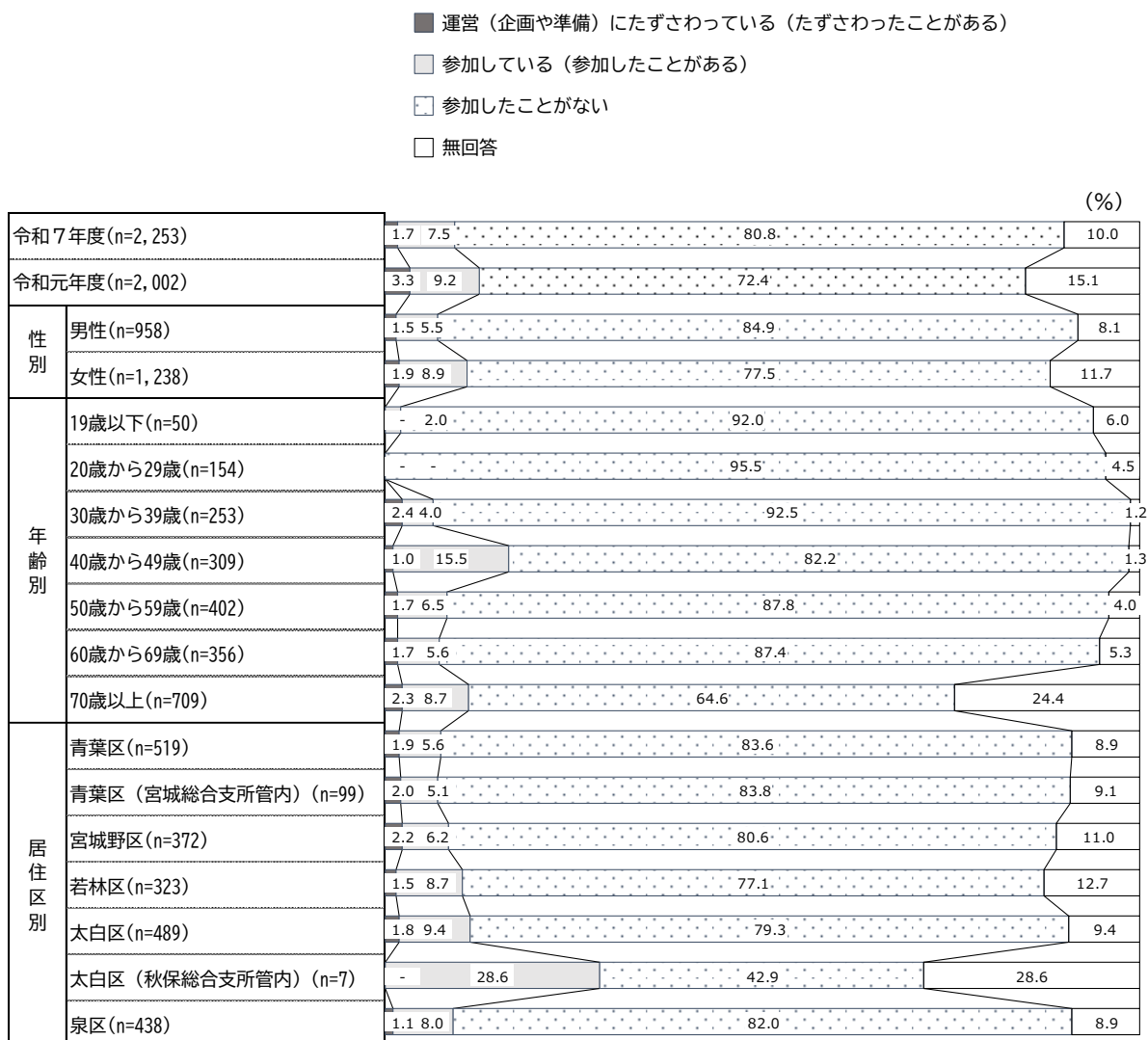
※選択肢「健康面や体力面」は前回調査では「健康面、体力面で課題がある」として聴取

(6) 福祉活動への運営・参加経験・参加意向

ア. お住まいの地域の高齢者や障害者、子どもなどの見守りや声がけの活動

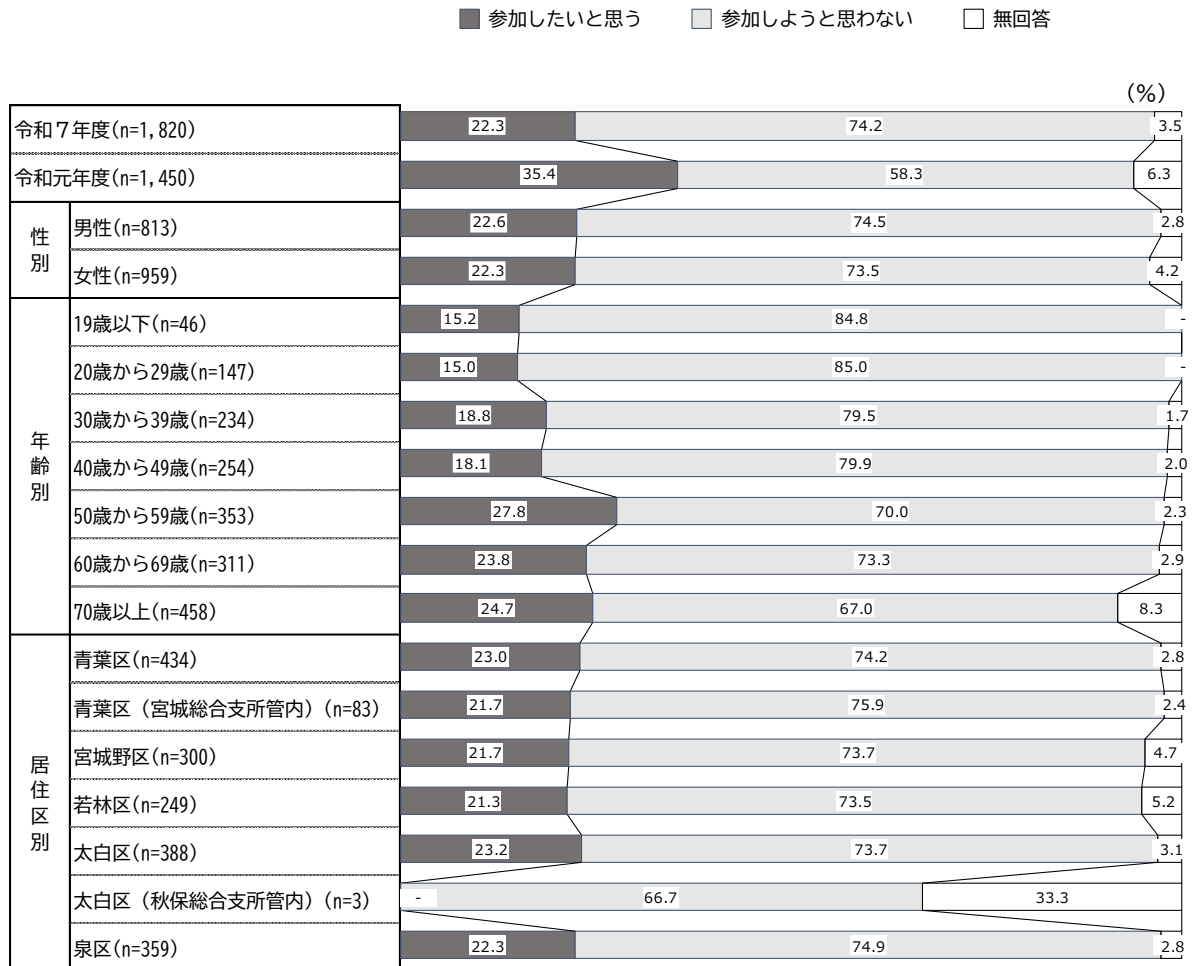
①福祉活動への運営・参加経験

○全体では「参加したことがない」(80.8%)が最も高く、次いで「参加している(参加したことがある)」(7.5%)となっている。



②福祉活動への参加意向

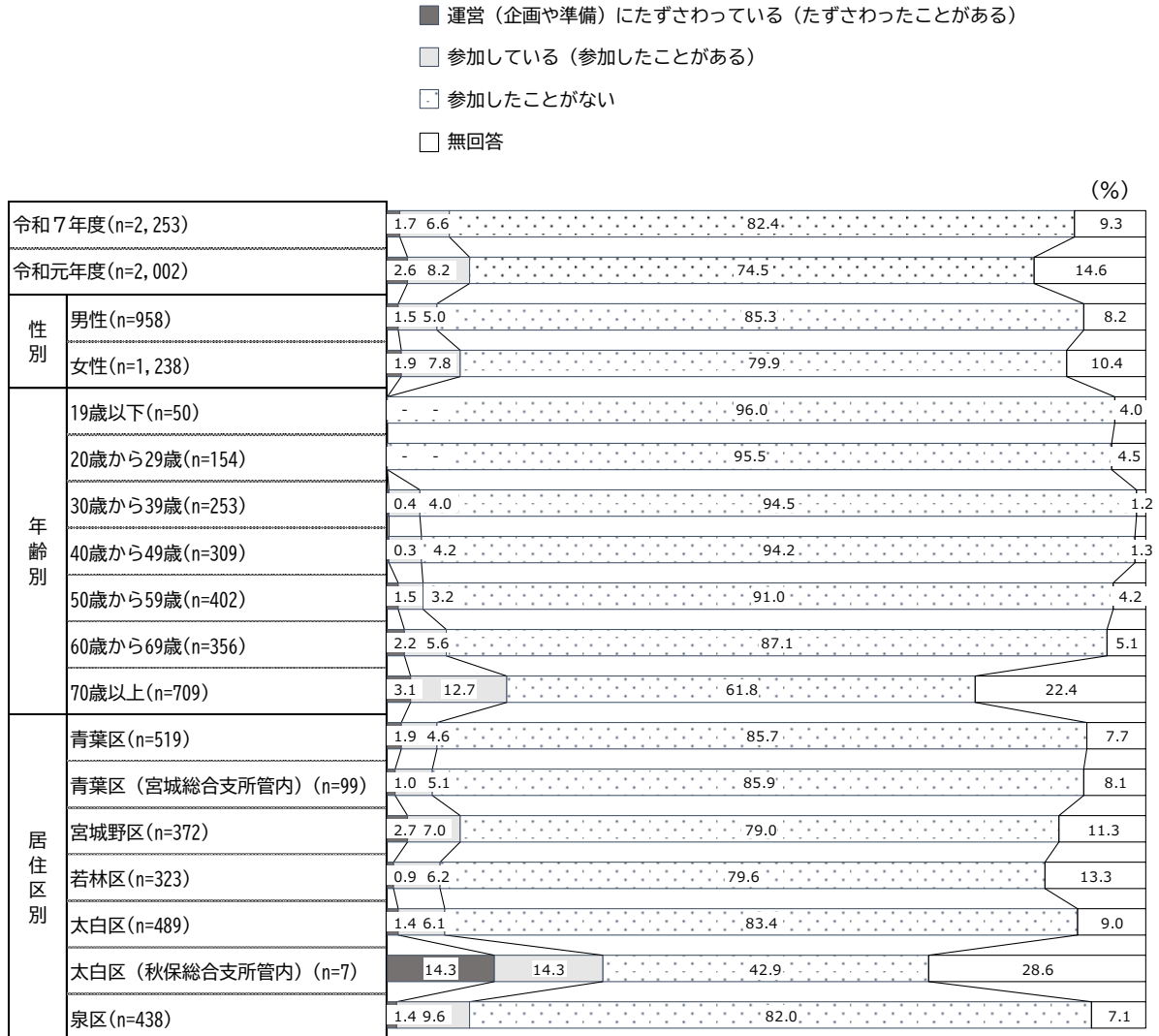
- 全体では「参加したいと思う」が22.3%、「参加しようと思わない」が74.2%となっている。
- 経年比較では「参加したいと思う」が前回調査（35.4%）と比べ13.1ポイント低くなっている。



イ. お住まいの地域の住民が交流する場（サロンなど）

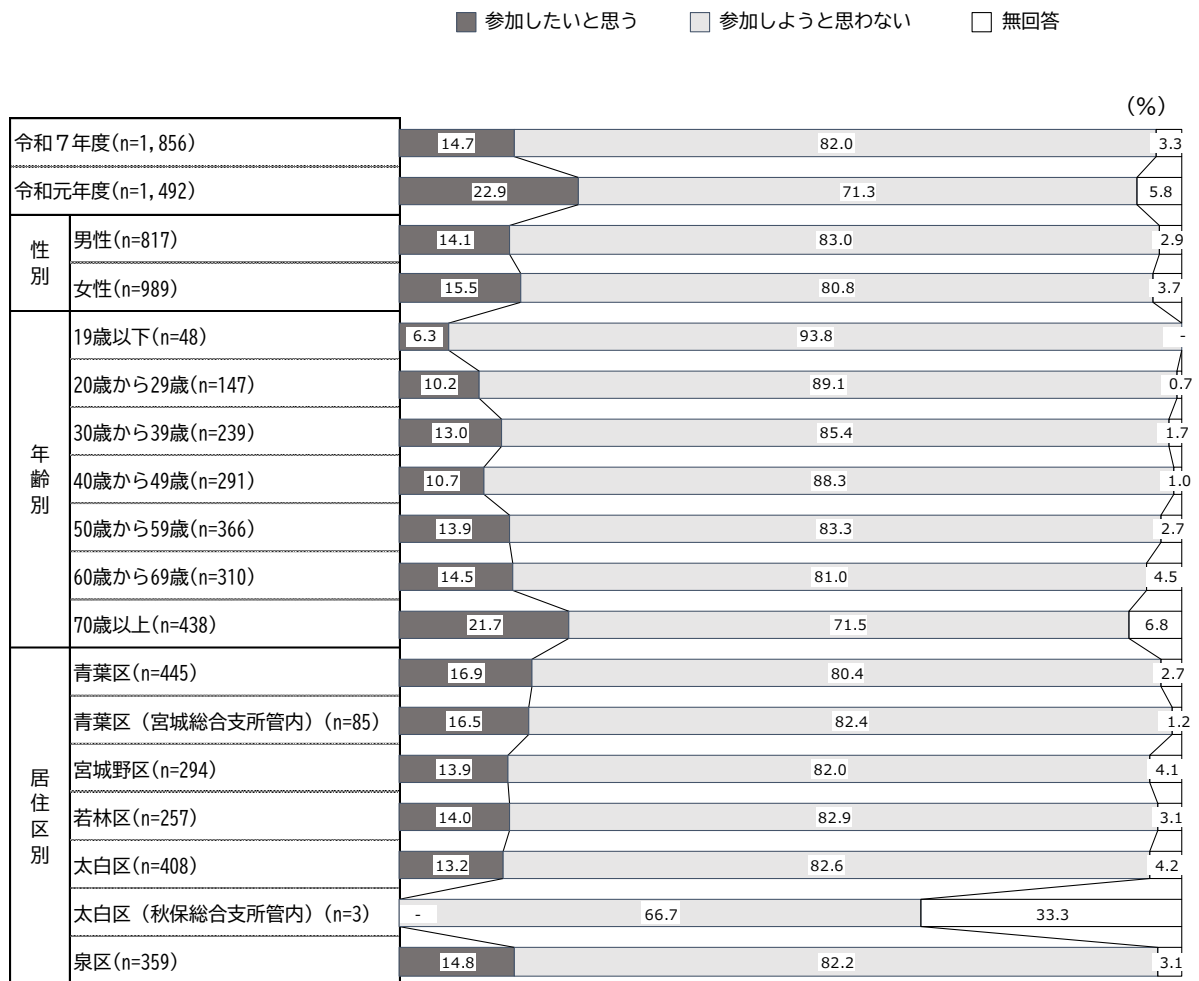
①福祉活動への運営・参加経験

○全体では「参加したことがない」（82.4%）が最も高く、次いで「参加している（参加したことがある）」（6.6%）となっている。



②福祉活動への参加意向

○全体では「参加したいと思う」が14.7%、「参加しようと思わない」が82.0%となっている。

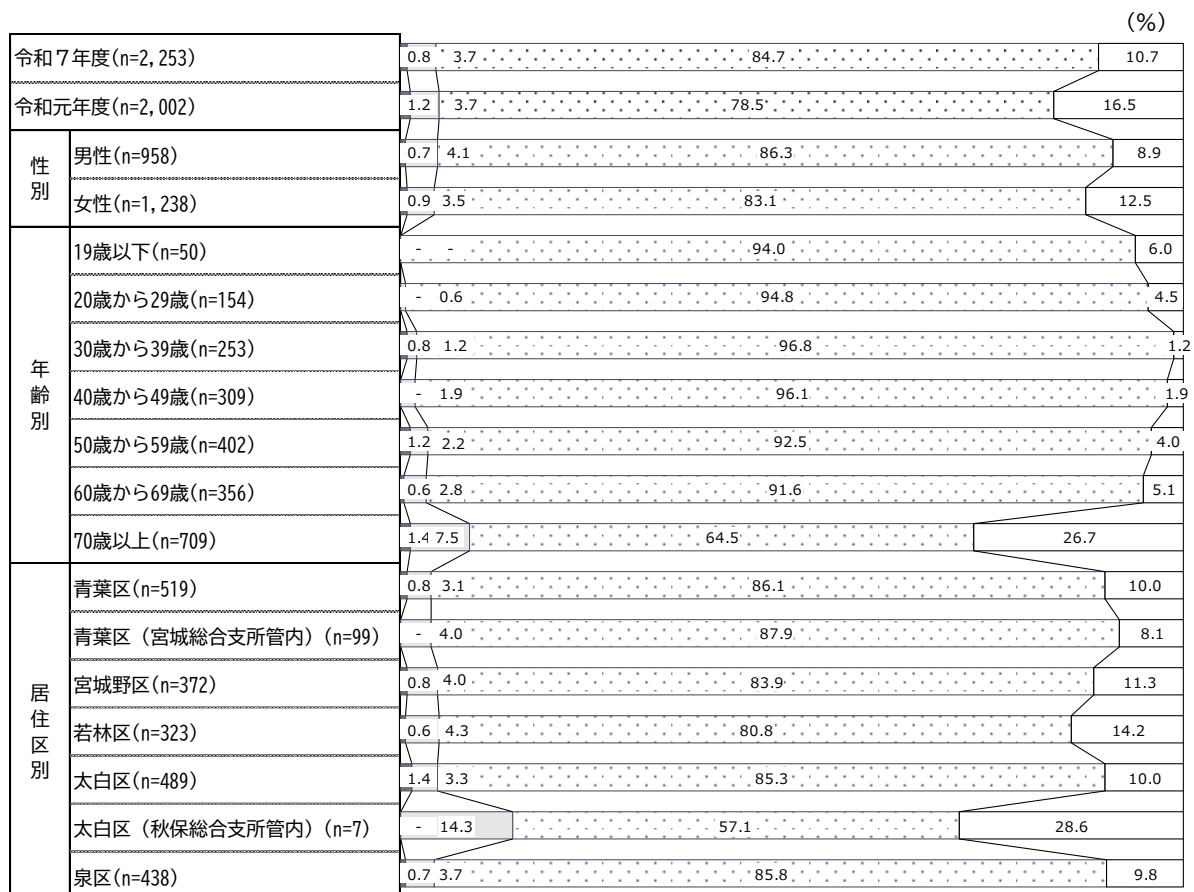


ウ. お住まいの地域のちょっとした困りごとを支え合う活動

①福祉活動への運営・参加経験

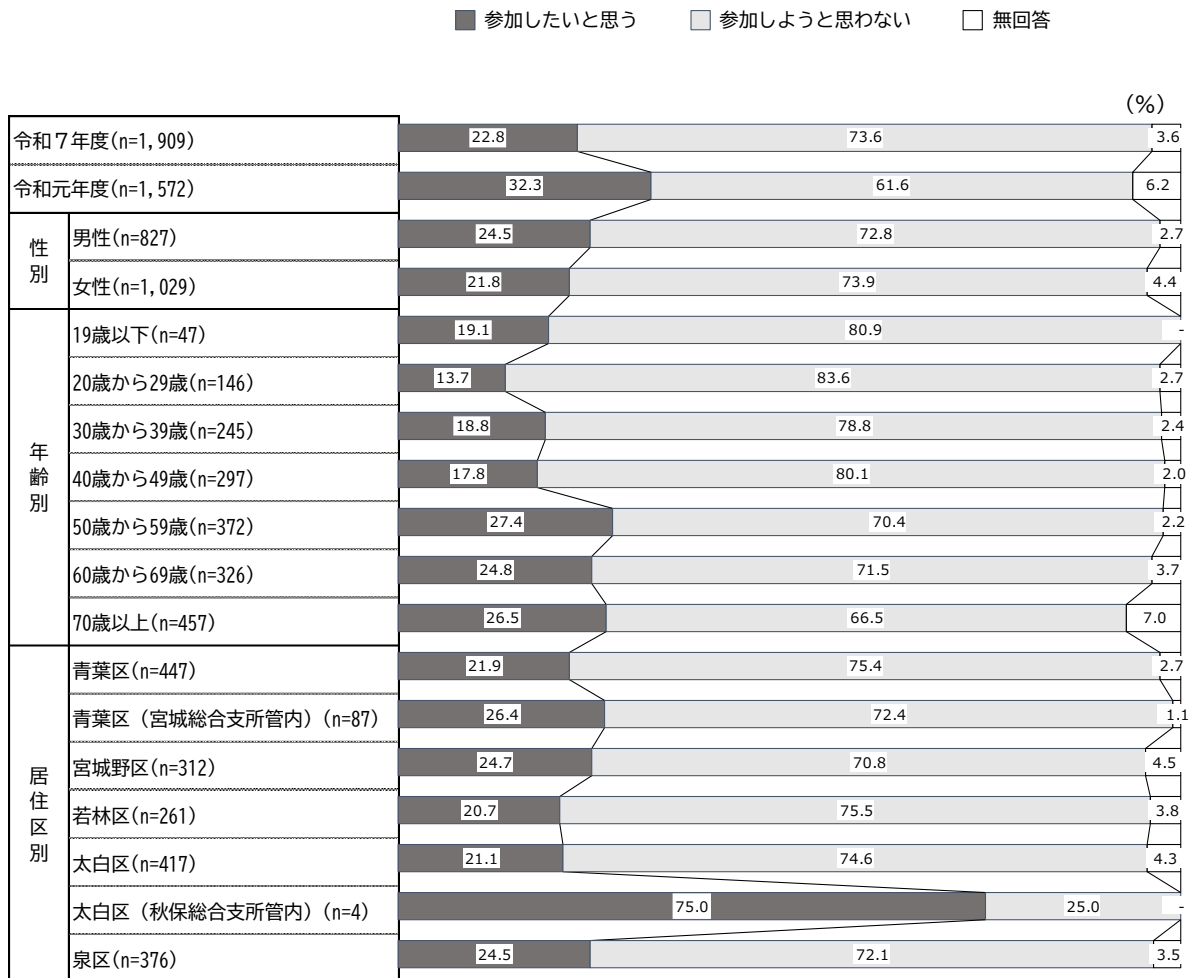
○全体では「参加したことがない」(84.7%)が最も高く、次いで「参加している(参加したことがある)」(3.7%)となっている。

- 運営(企画や準備)にたずさわっている(たずさわったことがある)
- 参加している(参加したことがある)
- 参加したことがない
- 無回答



②福祉活動への参加意向

○全体では「参加したいと思う」が22.8%、「参加しようと思わない」が73.6%となっている。

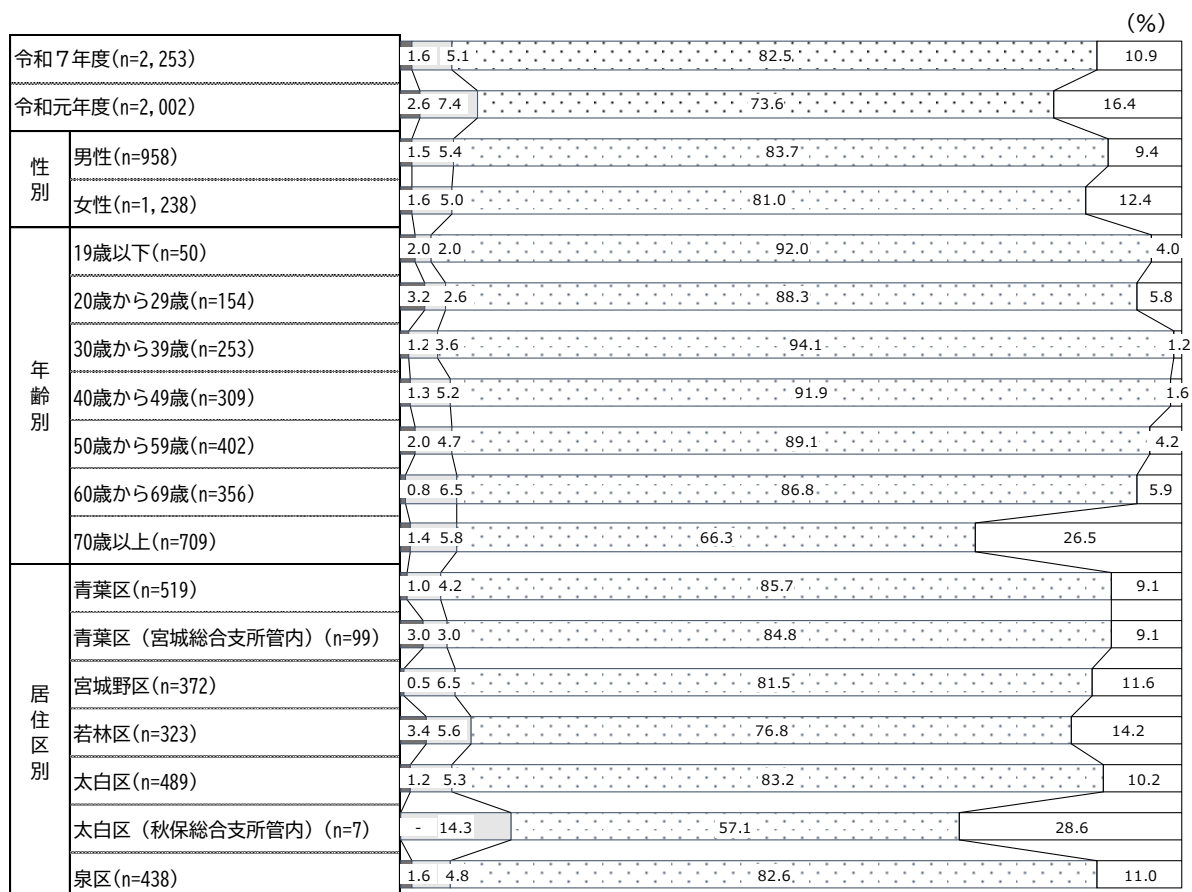


エ. お住まいの地域以外でのボランティアやNPO活動

①福祉活動への運営・参加経験

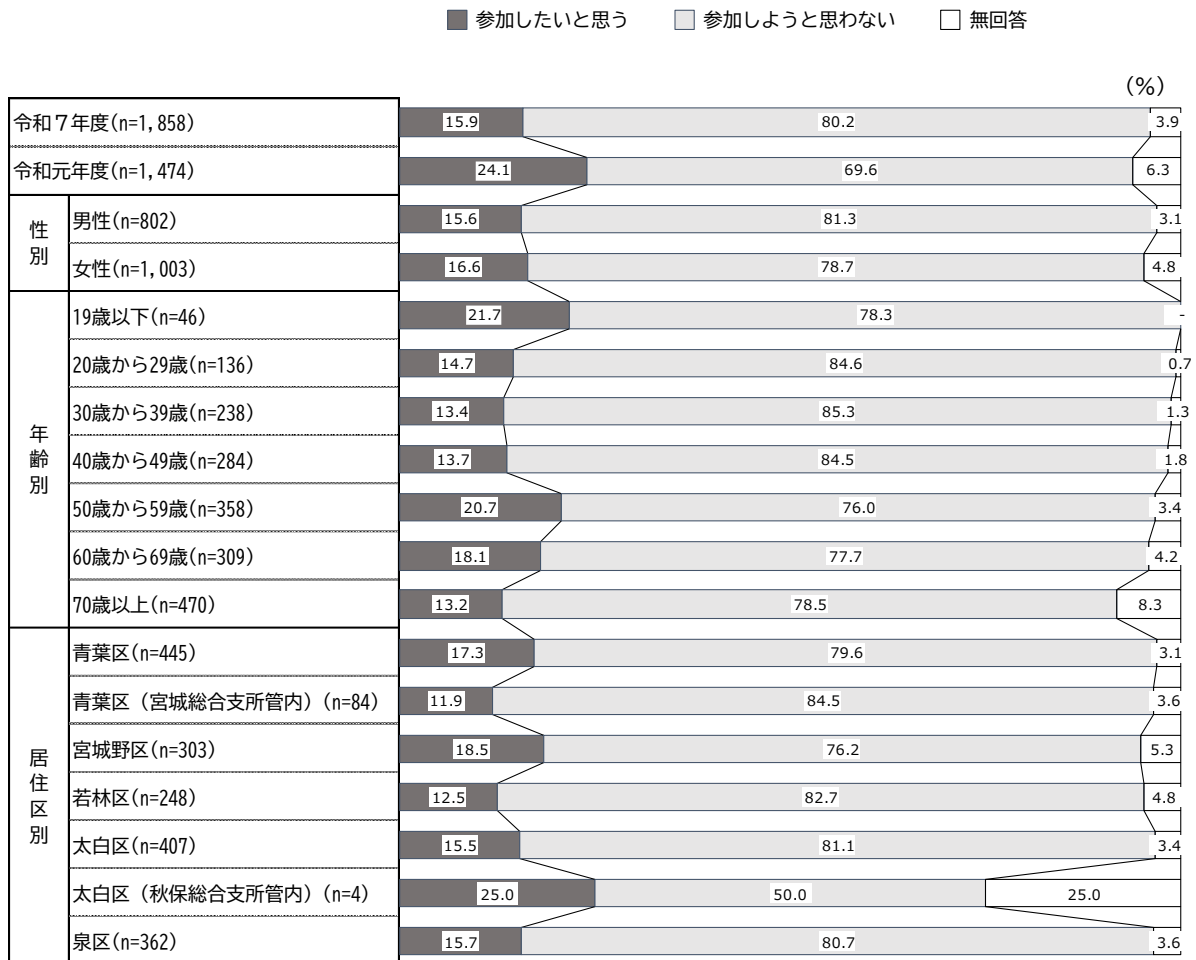
○全体では、「参加したことがない」(82.5%)が最も高く、次いで「参加している(参加したことがある)」(5.1%)となっている。

- 運営(企画や準備)にたずさわっている(たずさわったことがある)
- 参加している(参加したことがある)
- 参加したことがない
- 無回答



②福祉活動への参加意向

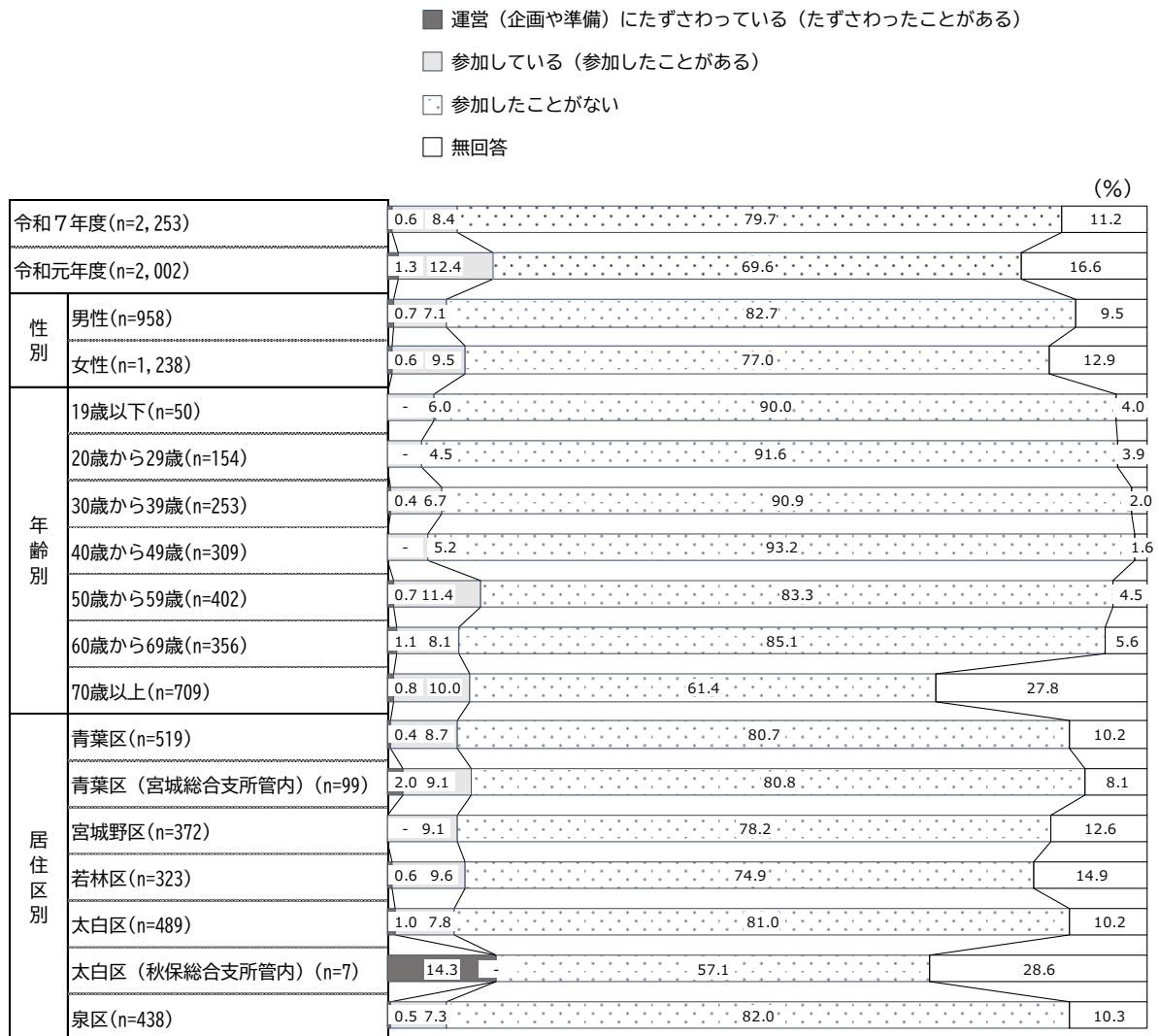
○全体では「参加したいと思う」が15.9%、「参加しようと思わない」が80.2%となっている。



オ. 自分から進んで地域団体や福祉活動団体へ寄付をする

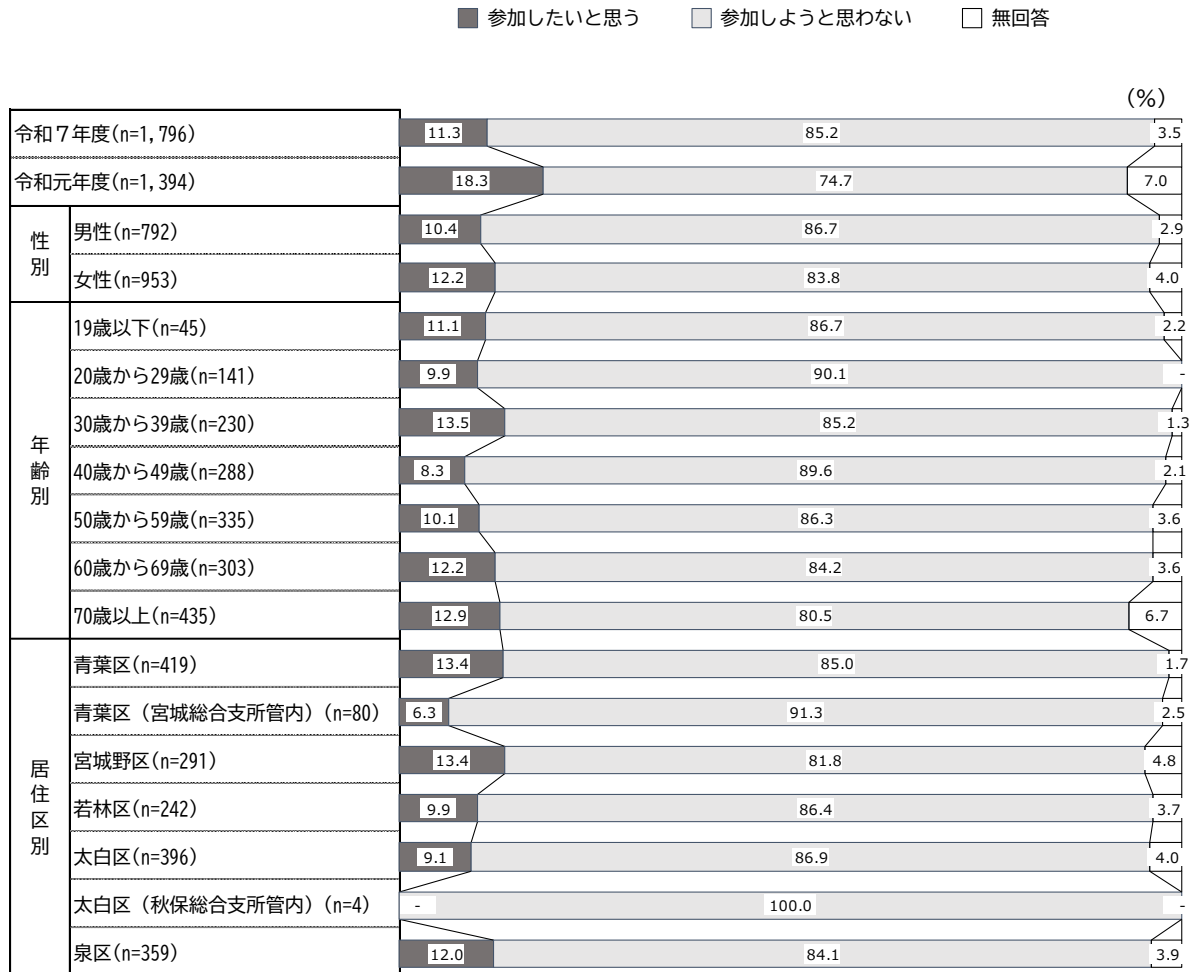
①福祉活動への運営・参加経験

○全体では、「参加したことがない」(79.7%)が最も高く、次いで「参加している(参加したことがある)」(8.4%)となっている。



②福祉活動への参加意向

○全体では「参加したいと思う」が11.3%、「参加しようと思わない」が85.2%となっている。



カ. その他

①福祉活動への運営・参加経験

○全体では、「運営（企画や準備）にたずさわっている（たずさわったことがある）」が0.4%、「参加している（参加したことがある）」が0.7%となっている。

		■ 運営（企画や準備）にたずさわっている（たずさわったことがある）	□ 参加している（参加したことがある）	□ 無回答	(%)
令和7年度(n=2,253)		0.4	0.7		99.0
令和元年度(n=2,002)		0.3	0.6		99.1
性別	男性(n=958)	0.4	0.9		98.6
	女性(n=1,238)	0.3	0.4		99.3
年齢別	19歳以下(n=50)	-	2.0		98.0
	20歳から29歳(n=154)	-	0.6		99.4
	30歳から39歳(n=253)	-	0.8		99.2
	40歳から49歳(n=309)	-	0.6		99.4
	50歳から59歳(n=402)	0.5	0.5		99.0
	60歳から69歳(n=356)	-	0.3		99.7
	70歳以上(n=709)	0.8	0.8		98.3
居住区別	青葉区(n=519)	0.4	1.0		98.7
	青葉区（宮城総合支所管内）(n=99)	-	2.0		98.0
	宮城野区(n=372)	0.8	0.3		98.9
	若林区(n=323)	-	0.9		99.1
	太白区(n=489)	0.4	0.6		99.0
	太白区（秋保総合支所管内）(n=7)	-	-		100.0
	泉区(n=438)	0.2	0.2		99.5

※選択肢「参加したことがない」は、選択肢がないため数値の表記なし

(7) 地域活動や福祉活動に参加しやすくなる取り組み

○全体では「自分の興味や関心にあった活動があること」(46.8%)が最も高く、次いで「活動する曜日や時間が自分の生活に合っていること」(44.9%)となっている。

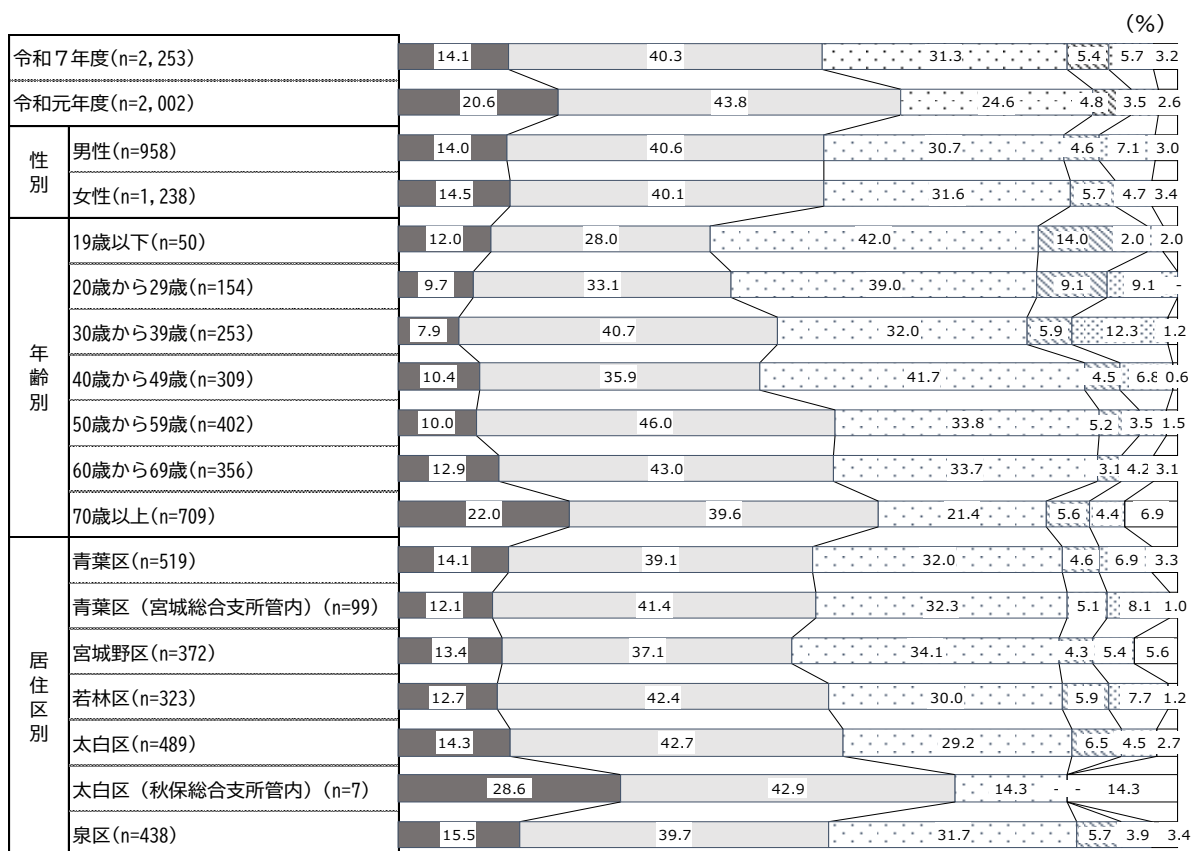
		n=	自分の興味や関心にあつた活動があること	生活活動に合つていたり時間と自分の生活に合っていること	一人で参加しやすい雰囲気であること	定期的でなくても参加できること	活動の情報が入手しやすいこと	参加しようと思わない	その他	無回答
令和7年度		2,253	46.8	44.9	39.1	37.1	26.4	12.6	4.5	2.6
性別	男性	958	47.9	44.4	36.0	36.8	25.9	12.6	4.2	1.6
	女性	1,238	46.2	45.1	41.4	37.2	26.8	12.0	4.8	3.5
年齢別	19歳以下	50	62.0	48.0	40.0	30.0	24.0	8.0	-	-
	20歳から29歳	154	53.2	47.4	40.3	31.8	31.2	12.3	0.6	-
	30歳から39歳	253	53.4	49.0	36.0	41.1	33.2	13.4	2.8	-
	40歳から49歳	309	47.2	52.4	36.9	35.6	23.6	13.3	1.6	-
	50歳から59歳	402	51.0	58.2	43.0	43.0	29.1	10.0	3.5	0.2
	60歳から69歳	356	46.9	46.1	46.3	41.0	31.2	9.8	3.9	1.1
	70歳以上	709	39.4	30.9	35.4	32.4	20.6	15.0	8.6	7.5
居住区別	青葉区	519	46.8	46.1	37.8	38.7	30.1	12.9	4.6	2.5
	青葉区（宮城総合支所管内）	99	45.5	45.5	33.3	43.4	20.2	15.2	5.1	4.0
	宮城野区	372	46.5	48.7	40.3	36.3	25.3	11.3	4.6	2.7
	若林区	323	44.9	40.6	38.4	34.1	25.1	13.0	4.3	2.5
	太白区	489	46.4	42.5	39.1	36.4	27.0	12.7	4.7	2.0
	太白区（秋保総合支所管内）	7	28.6	28.6	57.1	28.6	14.3	28.6	14.3	14.3
	泉区	438	49.1	45.9	41.3	37.4	24.7	12.1	4.1	2.7

(8) 地域住民同士の交流や助け合いについての考え

○全体では「日頃の交流がないと、いざというときに助け合えないので、ある程度の交流はしておいたほうがよい」(40.3%)が最も高く、次いで「困ったことがあれば助け合うべきだとは思いますが、日頃の交流はあまりしたくない」(31.3%)となっている。

○「日頃の交流がないと、いざというときに助け合えないので、ある程度の交流はしておいたほうがよい」との回答が4割と、いざというときに備え日頃からの交流が必要であると認識している様子が伺える一方、前回調査と比べるとその割合は43.8%から40.3%へと減少しており、「地域で助け合うことは大切なことであり、そのためにも普段からの交流は重要だ」の回答においても20.6%から14.1%へと減少している。加えて「困ったことがあれば助け合うべきだと思いが、日頃の交流はあまりしたくない」は24.6%から31.3%へと増加しており、日頃からの交流の必要性を低く捉える傾向もみられる。

- 地域で助け合うことは大切なことであり、そのためにも普段からの交流は重要だ
- 日頃の交流がないと、いざというときに助け合えないので、ある程度の交流はしておいたほうがよい
- 困ったことがあれば助け合うべきだとは思いますが、日頃の交流はあまりしたくない(%)
- ▨ 地域との交流よりも、気のあった仲間やグループでの交流を大切に、困ったときもその中で助け合えばよい
- ▨ 困ったことがあれば行政やその他の団体などが支援すべきなので、地域での助け合いや日頃の交流は、あまり必要ではない
- 無回答



3 地域で生活していく上での心配事やつながり先

(1) 地域で生活していく上で、不安に感じていること

○全体では「大規模な災害等が起きた場合の対応」(46.7%)が最も高く、次いで「収入が不安定であること」(16.7%)となっている一方、「特に不安なことはない」は25.7%となっている。

(%)

		n=	の大規模な災害等が起きた場合	収入が不安定であること	出するに恐れがあること	負担感があて、日常生活や世話は	介護等が必要で家族の世話をし	が思うようには(障害により、買い物、身の回りのこと)	高齢者または障害者により、身の回りのこと	精神的に負担感がある、頼れる人がいない	特に不安なことはない	その他	無回答
令和7年度		2,253	46.7	16.7	13.9	12.8	5.6	25.7	5.0	1.7			
性別	男性	958	45.1	17.1	14.0	13.7	5.3	26.2	4.3	1.3			
	女性	1,238	48.1	16.2	13.6	12.3	5.4	25.5	5.6	2.1			
年齢別	19歳以下	50	48.0	22.0	-	2.0	4.0	40.0	-	-			
	20歳から29歳	154	49.4	27.3	3.2	0.6	11.0	28.6	1.3	-			
	30歳から39歳	253	49.0	20.6	9.1	4.3	19.4	25.7	3.2	-			
	40歳から49歳	309	47.9	16.5	11.0	5.8	12.6	28.2	4.5	0.6			
	50歳から59歳	402	49.5	17.4	23.9	10.2	3.7	22.9	4.2	0.2			
	60歳から69歳	356	47.8	15.4	15.4	11.5	-	24.7	5.3	1.7			
	70歳以上	709	42.5	13.3	13.5	24.7	0.4	24.8	7.3	4.1			
居住区別	青葉区	519	44.1	17.5	12.7	13.9	6.7	27.4	5.8	1.7			
	青葉区(宮城総合支所管内)	99	39.4	19.2	11.1	19.2	8.1	28.3	5.1	1.0			
	宮城野区	372	48.7	16.7	14.2	10.8	4.8	25.8	5.1	1.1			
	若林区	323	48.9	16.7	15.2	10.8	5.0	23.2	5.3	0.9			
	太白区	489	48.3	17.8	13.9	11.2	6.1	26.0	4.1	1.8			
	太白区(秋保総合支所管内)	7	28.6	28.6	28.6	42.9	-	14.3	-	14.3			
	泉区	438	46.6	13.7	14.4	14.6	3.9	24.9	4.8	2.5			

(2) 心配事が起きた場合の相談先

○全体では「家族や親せき」(79.3%)が最も高く、次いで「友人」(39.3%)となっている。

(%)

		n=	家族や親せき	友人	市・区役所の窓口	かかりつけ医	地域包括支援センターや社会福祉協議会	近所の人	交番、警察署	民生委員児童委員や福祉委員	相談しない。自分でネットなど調べる	SNSでつながりのある人
令和7年度		2,253	79.3	39.3	29.9	15.9	14.1	14.0	13.8	4.5	3.8	2.1
性別	男性	958	74.6	33.8	32.9	17.5	12.7	12.4	16.1	4.8	4.7	2.8
	女性	1,238	83.0	43.5	27.4	14.9	15.1	15.8	12.4	4.4	3.1	1.6
年齢別	19歳以下	50	98.0	56.0	10.0	-	2.0	10.0	10.0	2.0	-	6.0
	20歳から29歳	154	87.0	57.8	20.8	4.5	2.6	3.2	7.8	1.3	4.5	5.2
	30歳から39歳	253	83.4	47.8	29.6	11.1	3.6	8.3	12.3	1.6	7.5	4.0
	40歳から49歳	309	83.2	45.0	26.2	8.4	3.2	12.6	10.7	1.0	4.5	3.2
	50歳から59歳	402	76.9	45.5	34.8	11.9	12.2	10.7	13.9	3.0	5.5	2.2
	60歳から69歳	356	73.9	35.1	35.1	18.0	15.4	13.2	18.0	3.1	3.9	1.4
	70歳以上	709	77.4	26.9	29.2	26.1	26.4	21.6	15.1	9.6	1.3	0.3
居住区別	青葉区	519	78.8	40.1	29.1	15.6	14.8	13.5	13.5	4.6	3.5	2.1
	青葉区(宮城総合支所管内)	99	70.7	35.4	36.4	16.2	16.2	15.2	8.1	2.0	6.1	4.0
	宮城野区	372	80.9	40.1	29.0	14.8	7.5	13.7	13.7	3.0	5.4	2.2
	若林区	323	75.9	41.8	29.1	16.1	16.4	12.4	17.6	5.6	3.1	3.1
	太白区	489	80.4	36.6	30.7	14.9	13.3	14.1	12.1	4.7	3.3	1.2
	太白区(秋保総合支所管内)	7	71.4	42.9	28.6	28.6	57.1	-	-	28.6	-	-
	泉区	438	81.7	39.0	29.5	18.3	16.7	16.2	15.1	4.8	3.7	1.8

※全体の回答数上位10項目を抜粋

(3) 地域における課題認識

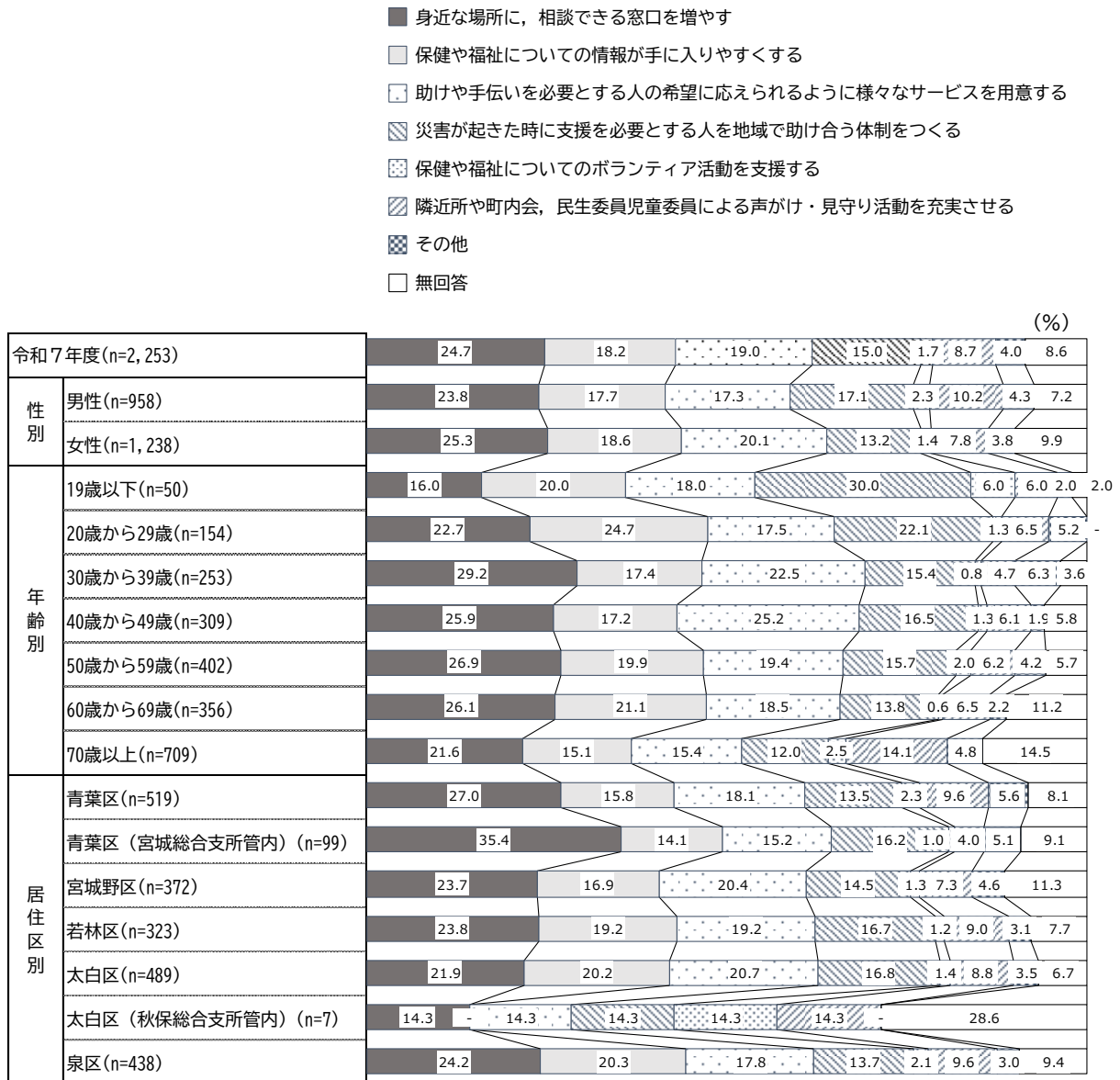
○全体では「地震や集中豪雨などの大規模災害が起こった時、どう対応したらよいかわからないこと」(27.2%)が最も高く、次いで「周りが高齢者の世帯ばかりであること(今後、高齢者世帯ばかりになりそうなこと)」(26.9%)となっている。

		n=	した地震や集中豪雨などの大規模災害が起こった時、どう対応したらよいかわからないこと	ばありが高齢者の世帯ばかりであること(今後、高齢者世帯ばかりになりそうなこと)	が近所があき合っていないこと	とないこと(または少ないこと)	少ないこと	の子育世代が少なく情報交換、の場が	特に不安なことはない	その他	無回答
令和7年度		2,253	27.2	26.9	19.3	8.7	4.2	33.3	4.7	1.9	
性別	男性	958	24.7	28.8	20.0	7.9	3.8	35.0	3.4	1.1	
	女性	1,238	29.0	25.4	18.5	9.0	4.5	32.1	5.7	2.6	
年齢別	19歳以下	50	18.0	12.0	16.0	12.0	2.0	58.0	2.0	-	
	20歳から29歳	154	26.6	13.0	20.1	8.4	3.2	40.3	4.5	-	
	30歳から39歳	253	31.2	20.2	13.0	5.5	11.5	38.3	4.7	-	
	40歳から49歳	309	26.2	23.9	15.5	5.8	5.2	37.9	5.2	0.6	
	50歳から59歳	402	27.6	26.6	19.7	8.7	2.7	35.3	5.0	0.7	
	60歳から69歳	356	29.2	30.1	17.1	6.5	3.1	30.9	5.1	2.0	
	70歳以上	709	26.0	33.9	24.3	12.0	2.8	25.7	4.4	4.4	
居住区別	青葉区	519	28.1	23.9	21.2	5.0	5.0	32.6	6.0	1.5	
	青葉区(宮城総合支所管内)	99	29.3	23.2	20.2	19.2	3.0	34.3	2.0	2.0	
	宮城野区	372	29.3	19.9	18.3	5.4	3.8	38.2	4.8	2.4	
	若林区	323	26.9	20.7	19.8	7.7	3.7	38.7	4.6	1.5	
	太白区	489	29.2	31.1	16.4	9.2	3.7	31.9	3.5	1.6	
	太白区(秋保総合支所管内)	7	-	57.1	14.3	14.3	14.3	14.3	14.3	14.3	
	泉区	438	22.1	37.2	20.5	13.5	4.6	27.9	4.6	2.3	

(4) 安心して生活していくために有効と思う取り組み

○全体では「身近な場所に、相談できる窓口を増やす」(24.7%)が最も高く、次いで「助けや手伝いを必要とする人の希望に応えられるように様々なサービスを用意する」(19.0%)となっている。

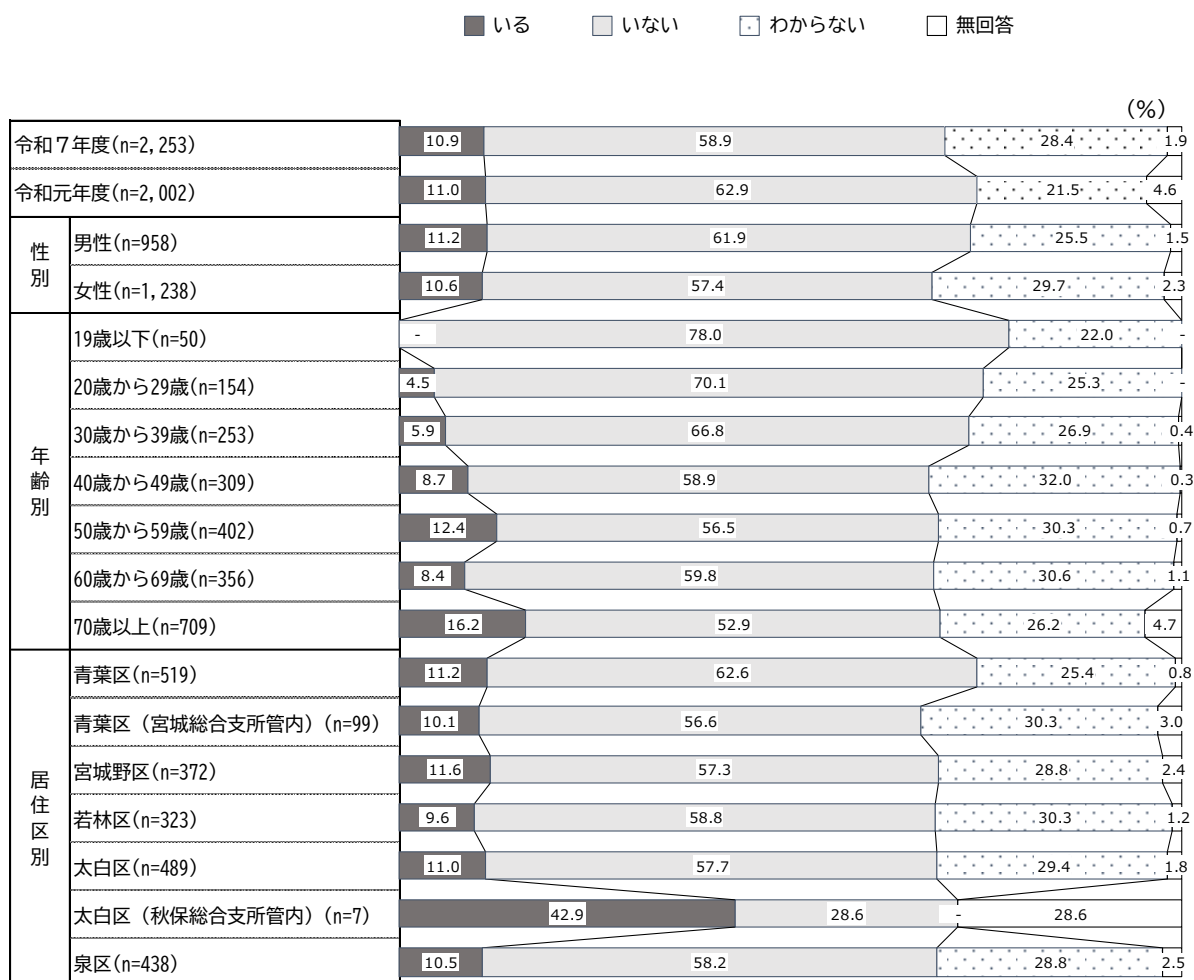
○居住区別では「身近な場所に、相談できる窓口を増やす」が青葉区(宮城総合支所管内)で35.4%と、全体と比べ10.7ポイント高くなっている。



(5) ご自身の家族以外で、地域で気がかりな方

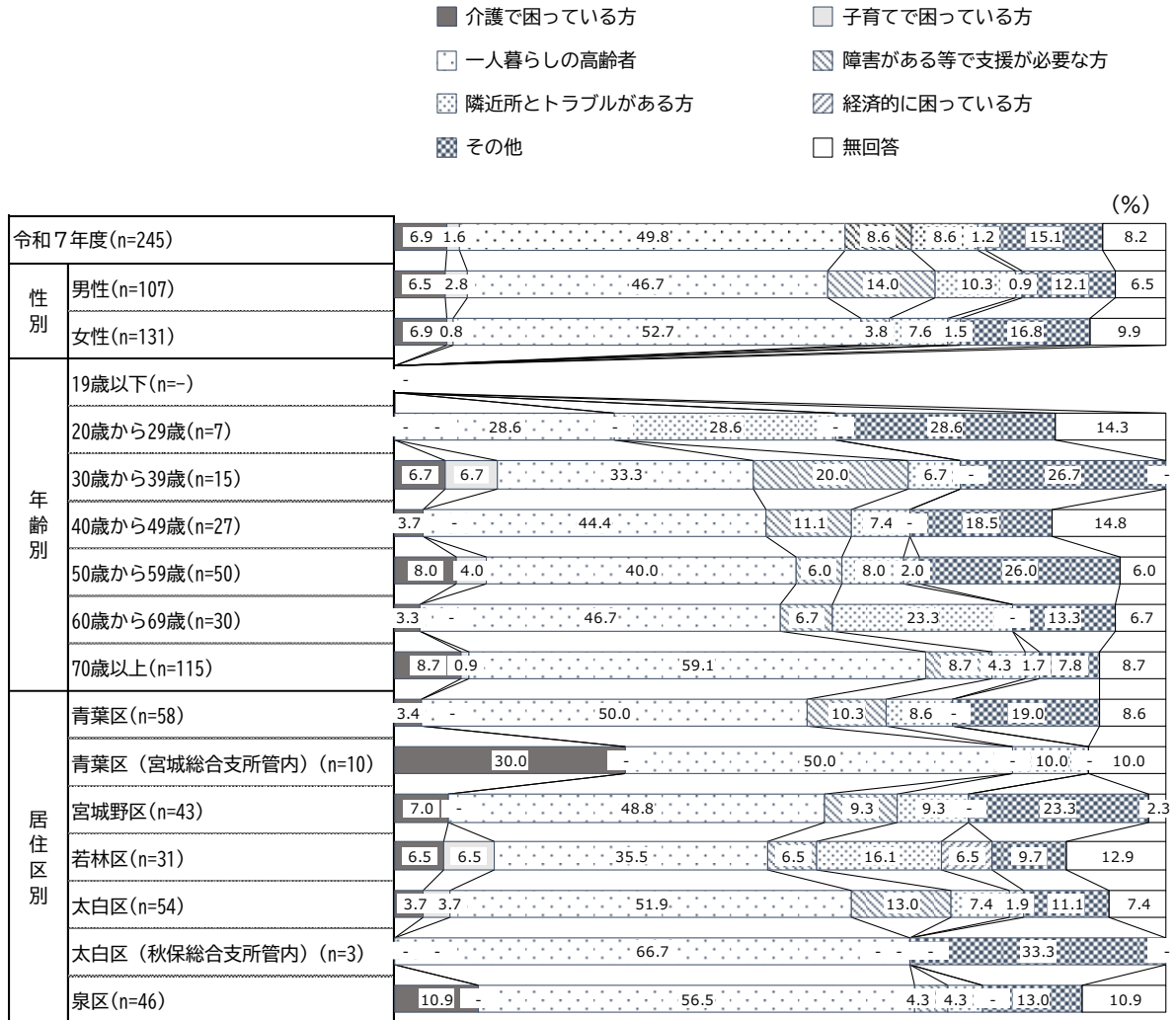
○全体では「いる」が10.9%、「いない」が58.9%となっている。

○年齢別では「いない」が19歳以下で78.0%と、全体と比べ19.1ポイント高くなっている。



(6) 気がかりな方について

○全体では「一人暮らしの高齢者」(49.8%)が最も高く、次いで「障害がある等で支援が必要な方」「隣近所とトラブルがある方」とともに8.6%となっている。



※年齢別「19歳以下」については、回答なし

(7) 気がかりな方に対してしていること

○全体では「気にかけて、見守っている（いた）」(55.9%)が最も高く、次いで「相談にのったり、助けたりしている（した）」(19.2%)となっている。

○居住区別では「気にかけて、見守っている（いた）」が泉区で67.4%と、全体と比べ11.5ポイント高くなっている。

(%)

		n=	(気にかけて、見守っている(いた))	相談にのったり、助けたりしている(した)	民生委員児童委員などの地域の方に相談している(した)	(相談先がわからないなど)	支援したいが、どうすればよいかかわらない(しなかった)	特になにもしていない(しなかった)	かわるつもりはない	※前回調査のみ	※前回調査のみ	※前回調査のみ	その他	無回答
令和7年度		245	55.9	19.2	9.4	7.3	12.2	9.0	-	-	-	9.4	2.9	
令和元年度		221	48.4	18.1	8.6	10.0	24.0	12.7	6.8	2.3	-	7.2	1.8	
性別	男性	107	52.3	15.9	7.5	8.4	14.0	12.1	-	-	-	7.5	2.8	
	女性	131	58.8	22.1	11.5	6.9	10.7	6.1	-	-	-	11.5	2.3	
年齢別	19歳以下	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	20歳から29歳	7	14.3	-	-	-	14.3	28.6	-	-	-	42.9	-	
	30歳から39歳	15	26.7	13.3	6.7	6.7	33.3	20.0	-	-	-	-	-	
	40歳から49歳	27	48.1	3.7	3.7	14.8	11.1	18.5	-	-	-	7.4	3.7	
	50歳から59歳	50	48.0	24.0	6.0	6.0	22.0	4.0	-	-	-	16.0	2.0	
	60歳から69歳	30	60.0	10.0	10.0	10.0	10.0	16.7	-	-	-	3.3	-	
	70歳以上	115	66.1	24.3	13.0	6.1	6.1	4.3	-	-	-	7.8	4.3	
居住区別	青葉区	58	50.0	15.5	8.6	13.8	19.0	8.6	-	-	-	12.1	-	
	青葉区(宮城総合支所管内)	10	60.0	10.0	-	-	20.0	10.0	-	-	-	10.0	-	
	宮城野区	43	53.5	18.6	9.3	7.0	7.0	14.0	-	-	-	14.0	4.7	
	若林区	31	54.8	29.0	16.1	6.5	9.7	12.9	-	-	-	6.5	3.2	
	太白区	54	53.7	14.8	11.1	1.9	16.7	3.7	-	-	-	5.6	5.6	
	太白区(秋保総合支所管内)	3	66.7	-	-	-	-	-	-	-	-	66.7	-	
	泉区	46	67.4	26.1	6.5	8.7	4.3	8.7	-	-	-	4.3	2.2	

※選択肢「気にかけて、見守っている（いた）」は前回調査では「気にかけて、見守っている」として聴取

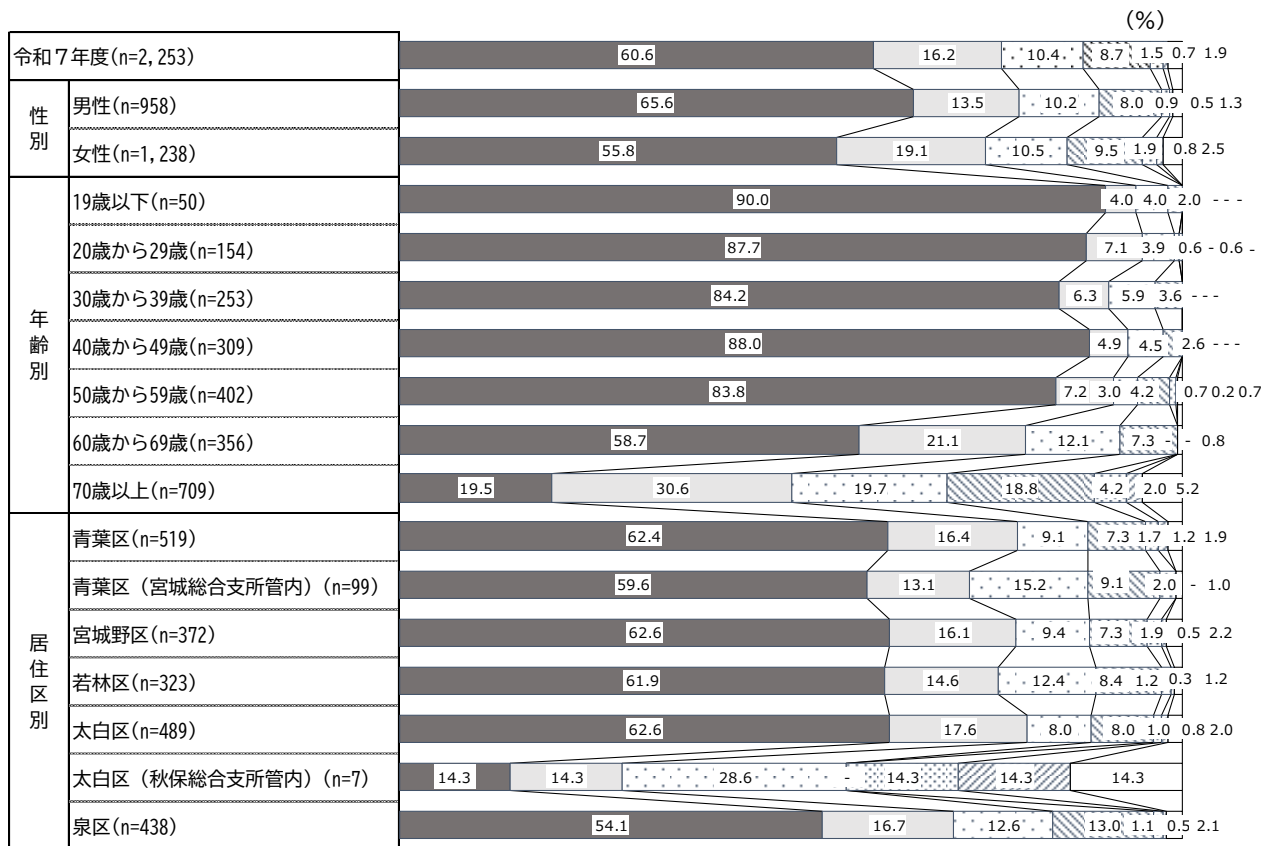
※選択肢「相談にのったり、助けたりしている（いた）」は前回調査では「相談にのったり、助けたりしている」として聴取

※選択肢「民生委員児童委員などの地域の方に相談している(した)」は前回調査では「民生委員や町内会長など地域の方に相談している」として聴取

(8) 外出頻度

○全体では「仕事や学校で、週に3, 4日以上外出していた」(60.6%)が最も高く、次いで「人付き合いや遊びなどで、ときどき外出していた」(16.2%)となっている。

- 仕事や学校で、週に3, 4日以上外出していた
- 人付き合いや遊びなどで、ときどき外出していた
- ふだんは家にいるが、自分の趣味に関する用事のときだけ外出した
- ▨ ふだんは家にいるが、近所のコンビニなどには出かけた
- ▩ 自室からは出ていたが、家からは出なかった
- ▧ 自室からほとんど出なかった
- 無回答



※今回新たに追加された設問

(9) 家庭や職場、学校以外の居場所や時間

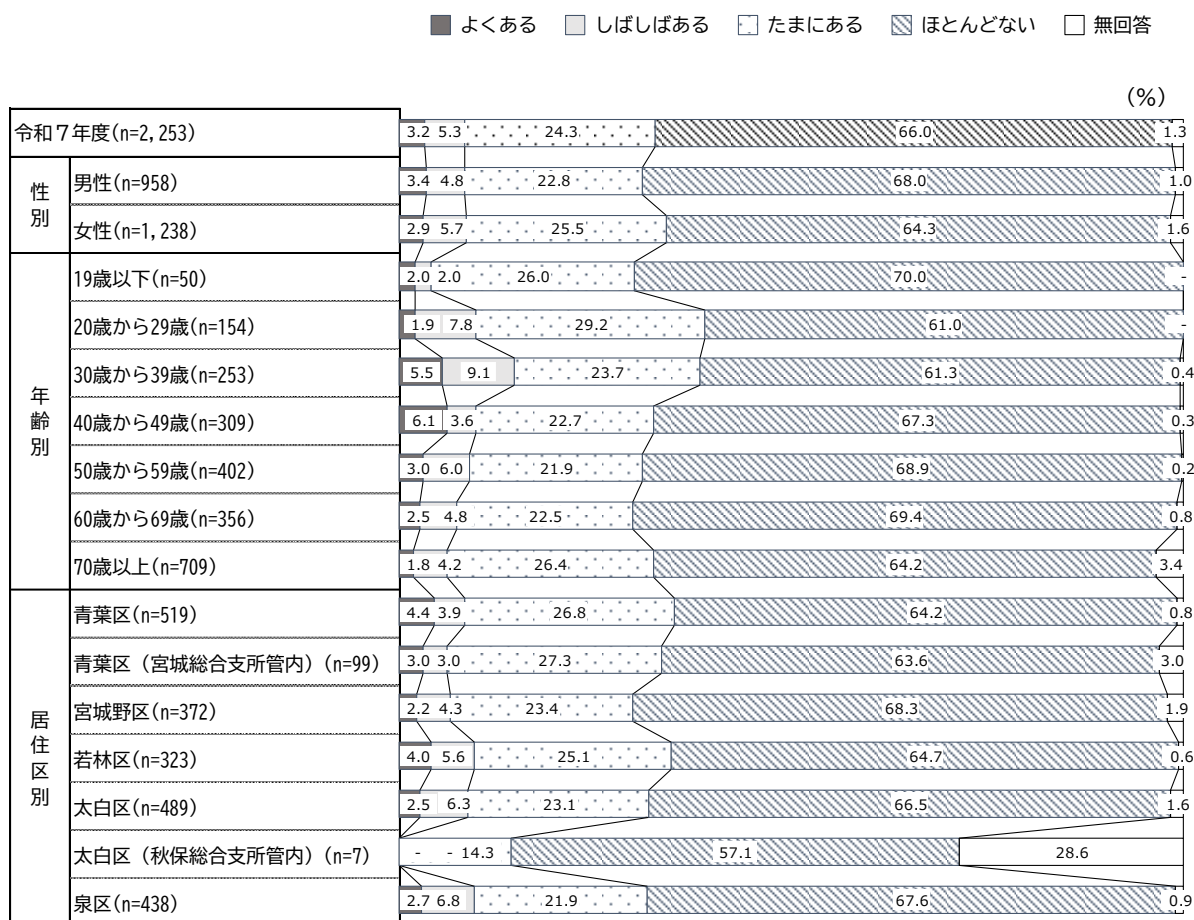
○全体では「友人と過ごす時間や、近所の人たちのお茶飲みなど」(37.2%)が最も高く、次いで「趣味の活動(サークルや教室、スポーツジムなど)」(28.1%)となっている。

		n=	友人と過ごす時間や、近所の	趣味の活動(サークルや教室)	インターネット上の利用した、	SNSやオンラインゲーム	公園(清掃や交通安全活動、)	町内会や地域ボランティア	市民センターで催されるサ	社会活動	PTAや少年団、おやじの会など、学校や子ども関連の	地域外でのボランティア活動	特にな	その他	無回答
令和7年度		2,253	37.2	28.1	8.7	4.9	2.7	2.4	2.1	36.4	3.8	1.3			
性別	男性	958	25.1	29.3	8.2	5.3	2.1	1.5	2.4	44.6	3.9	0.5			
	女性	1,238	46.8	27.9	9.1	4.6	3.2	3.1	1.9	29.6	3.8	1.9			
年齢別	19歳以下	50	58.0	32.0	24.0	2.0	-	-	-	18.0	6.0	-			
	20歳から29歳	154	60.4	24.7	22.1	-	0.6	0.6	1.3	20.1	1.3	-			
	30歳から39歳	253	44.3	20.2	20.2	1.6	0.8	5.1	1.2	32.8	0.8	-			
	40歳から49歳	309	36.6	23.3	11.3	3.6	0.6	6.5	1.0	41.1	0.6	-			
	50歳から59歳	402	35.8	26.9	7.7	2.0	0.7	3.0	2.7	40.5	4.2	0.2			
	60歳から69歳	356	33.7	30.6	4.2	5.1	1.4	0.6	2.0	43.3	3.4	1.1			
	70歳以上	709	31.2	32.6	2.3	9.4	6.5	0.7	3.0	35.0	6.5	3.4			
居住区別	青葉区	519	36.8	27.6	8.5	4.2	2.7	2.3	1.9	37.0	3.5	1.2			
	青葉区(宮城総合支所管内)	99	36.4	27.3	6.1	6.1	2.0	6.1	4.0	36.4	2.0	2.0			
	宮城野区	372	39.8	25.8	10.2	3.5	1.9	1.9	3.0	36.0	4.6	1.3			
	若林区	323	37.5	28.5	11.1	5.0	4.0	2.2	1.9	32.8	5.0	1.2			
	太白区	489	36.2	26.4	7.8	4.7	1.8	2.7	2.2	36.8	3.5	1.4			
	太白区(秋保総合支所管内)	7	28.6	42.9	-	14.3	-	14.3	14.3	28.6	14.3	14.3			
	泉区	438	37.0	31.5	7.8	6.4	3.2	1.6	0.9	39.0	3.2	0.9			

※今回新たに追加された設問

(10) 孤独や孤立を感じること

○全体では「ほとんどない」(66.0%)が最も高く、次いで「たまにある」(24.3%)となっている。



※今回新たに追加された設問

(11) 孤独や孤立を感じる出来事

○全体では「日常的に話し相手や相談相手がいない」(55.3%)が最も高く、次いで「家族や友人とのつながりに希薄さを感じる」(35.3%)となっている。

		n=	が日常的に話し相手や相談相手がいない	家族や友人とのつながりに希薄さを感じる	経済的な理由で人とつながる機会をもてない	家族や親しい人等との死別	転職や転勤などによる環境の変化	その他
令和7年度		190	55.3	35.3	22.1	18.4	15.3	8.4
性別	男性	79	58.2	34.2	24.1	12.7	13.9	7.6
	女性	106	52.8	36.8	18.9	23.6	16.0	9.4
年齢別	19歳以下	2	50.0	100.0	-	-	-	-
	20歳から29歳	15	40.0	46.7	20.0	-	40.0	13.3
	30歳から39歳	37	62.2	29.7	24.3	8.1	18.9	13.5
	40歳から49歳	30	66.7	30.0	26.7	10.0	23.3	-
	50歳から59歳	36	58.3	36.1	27.8	22.2	16.7	8.3
	60歳から69歳	26	53.8	38.5	15.4	23.1	-	11.5
	70歳以上	43	46.5	34.9	16.3	34.9	7.0	7.0
居住区別	青葉区	43	58.1	44.2	25.6	14.0	16.3	9.3
	青葉区(宮城総合支所管内)	6	83.3	50.0	50.0	16.7	16.7	-
	宮城野区	24	33.3	45.8	37.5	25.0	12.5	8.3
	若林区	31	61.3	38.7	19.4	9.7	22.6	9.7
	太白区	43	60.5	23.3	18.6	18.6	14.0	7.0
	太白区(秋保総合支所管内)	-	-	-	-	-	-	-
	泉区	42	52.4	28.6	11.9	26.2	9.5	9.5

※今回新たに追加された設問

4 成年後見制度について

(1) 成年後見制度について知っていること

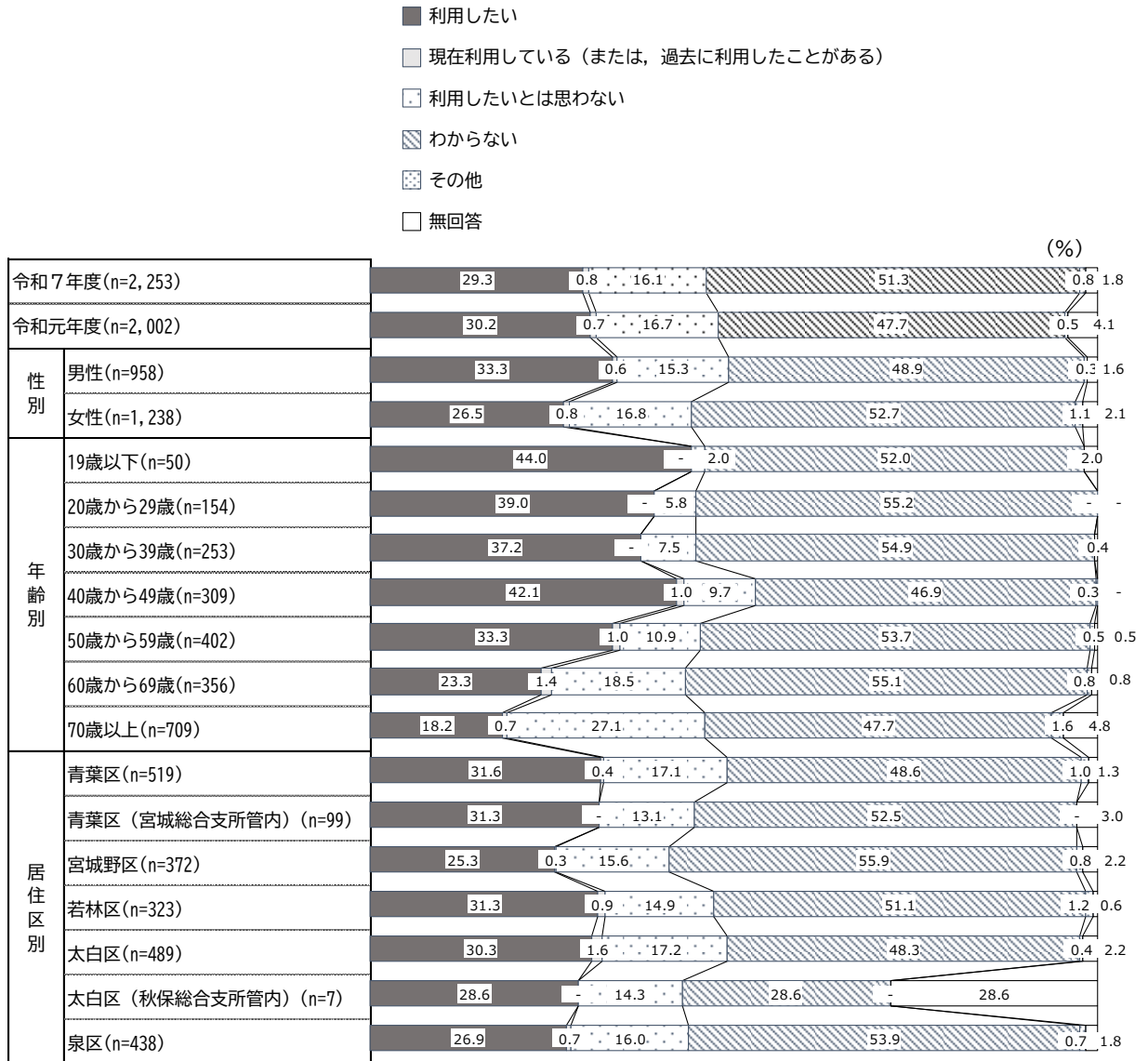
○全体では「認知症や知的障害、精神障害などにより判断能力が十分でない人が利用する制度である」(37.4%)が最も高く、次いで「誰を後見人とするかは裁判所が決め、親族以外の方が後見人になることもある」(22.4%)となっている。

(%)

		n=	認知症や知的障害などにより判断能力が十分でない人が利用する制度である	誰を後見人とするかは親族以外の方が後見人になることもある	後見人への報酬の支払いが必ず必要となる場合がある	いきなり相談できる窓口を知っていると、利用できる	制度を利用したことがある	名称は聞いたことがあるが、内容は知らない	知らない	その他	無回答
令和7年度		2,253	37.4	22.4	12.1	7.4	2.0	29.2	26.4	1.0	1.8
令和元年度		2,002	44.5	26.9	13.7	7.1	1.9	30.4	25.7	0.8	3.2
性別	男性	958	33.5	20.5	11.9	7.3	2.0	30.4	30.2	0.6	1.3
	女性	1,238	40.1	23.7	12.2	7.5	2.1	28.7	23.2	1.4	2.3
年齢別	19歳以下	50	18.0	2.0	-	-	-	24.0	58.0	-	-
	20歳から29歳	154	19.5	11.0	5.8	3.2	0.6	24.7	53.2	-	-
	30歳から39歳	253	32.4	16.6	9.1	4.0	0.4	26.9	38.3	0.4	-
	40歳から49歳	309	36.6	18.8	7.1	6.5	1.0	30.1	29.8	0.6	-
	50歳から59歳	402	40.8	20.9	12.7	8.5	2.2	30.3	23.9	0.5	1.0
	60歳から69歳	356	45.2	31.5	19.9	9.3	3.4	31.2	18.5	0.8	1.4
	70歳以上	709	38.9	26.5	13.4	8.7	2.7	29.9	17.2	2.1	4.5
居住区別	青葉区	519	39.5	24.3	13.9	7.5	2.3	27.9	25.4	1.2	1.3
	青葉区(宮城総合支所管内)	99	42.4	27.3	14.1	9.1	3.0	27.3	23.2	2.0	2.0
	宮城野区	372	33.6	20.4	12.1	7.8	1.3	31.7	28.0	1.3	2.2
	若林区	323	35.0	21.1	11.5	6.8	2.2	30.3	28.5	1.5	0.9
	太白区	489	36.2	21.5	11.5	7.6	2.7	28.4	27.6	0.4	2.7
	太白区(秋保総合支所管内)	7	28.6	28.6	14.3	-	-	14.3	28.6	-	14.3
	泉区	438	39.7	22.4	10.7	6.4	1.1	29.7	24.0	0.7	1.6

(2) 成年後見制度の利用意向

○全体では「わからない」(51.3%)が最も高く、次いで「利用したい」(29.3%)となっている。



(3) 成年後見制度を利用しない・利用したいかわからない理由

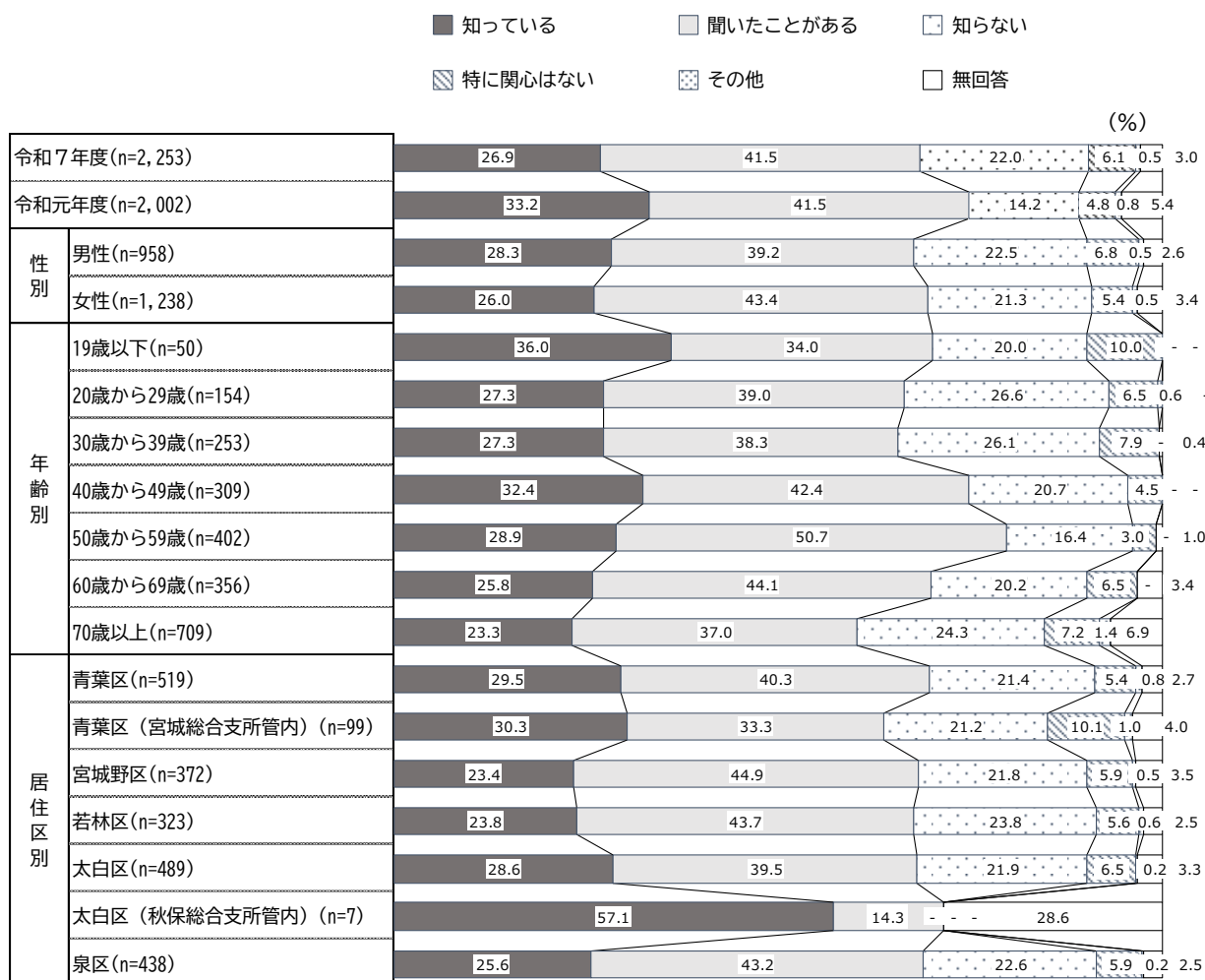
○全体では「制度をよく知らないから」(54.2%)が最も高く、次いで「制度の利用が必要にはならなそうだから」(24.0%)となっている。

		n=	制度をよく知らないから	その制度の利用が必要にはならな	ほど個人と見えないこと他に人かかわつて	りお金の扱いなど後見人とのや	ら申立の手続きが難しそうだから	い後見人へ報酬を支払いたくないから	メ過去に利用したことがあつたら、	その他	無回答
令和7年度		1,518	54.2	24.0	20.5	15.0	13.0	4.7	0.4	5.7	2.8
令和元年度		1,289	54.1	23.4	27.7	20.1	14.4	3.8	0.4	5.9	2.3
性別	男性	615	58.2	22.1	21.3	14.5	13.0	5.2	0.8	4.9	2.8
	女性	860	51.5	25.3	20.2	15.3	13.0	4.2	0.1	6.3	2.8
年齢別	19歳以下	27	77.8	11.1	7.4	7.4	25.9	-	-	7.4	-
	20歳から29歳	94	81.9	5.3	17.0	12.8	17.0	7.4	-	-	2.1
	30歳から39歳	158	67.7	10.8	20.3	15.8	14.6	6.3	-	4.4	1.9
	40歳から49歳	175	60.6	12.6	20.0	17.1	16.6	5.1	0.6	5.7	4.0
	50歳から59歳	260	61.9	13.5	20.4	18.1	10.4	6.5	0.8	3.8	0.8
	60歳から69歳	262	46.9	27.1	26.0	16.0	13.7	4.6	0.8	8.4	3.8
	70歳以上	530	41.7	39.2	19.4	12.8	10.9	3.0	0.2	6.6	3.4
居住区別	青葉区	341	52.8	23.8	22.0	15.8	16.7	7.6	0.6	5.0	2.3
	青葉区(宮城総合支所管内)	65	52.3	23.1	26.2	23.1	18.5	7.7	1.5	9.2	3.1
	宮城野区	266	54.1	21.1	18.8	11.3	10.5	2.3	0.8	6.8	4.1
	若林区	213	59.6	24.9	17.4	12.7	12.7	4.2	-	4.2	2.8
	太白区	320	55.6	23.1	19.7	15.0	10.6	2.8	-	7.5	2.5
	太白区(秋保総合支所管内)	3	-	33.3	33.3	33.3	33.3	-	-	-	-
	泉区	306	51.6	26.8	22.2	17.3	12.1	5.2	0.3	3.9	2.3

5 犯罪をした人の立ち直りの支援について

(1) 犯罪や非行を繰り返す人の立ち直りの困難さの認知度

○全体では「聞いたことがある」(41.5%)が最も高く、次いで「知っている」(26.9%)となっている。



※選択肢「知らない」は前回調査では「知らなかった」として聴取

(2) 刑務所や少年院を出た人への社会復帰支援についての考え

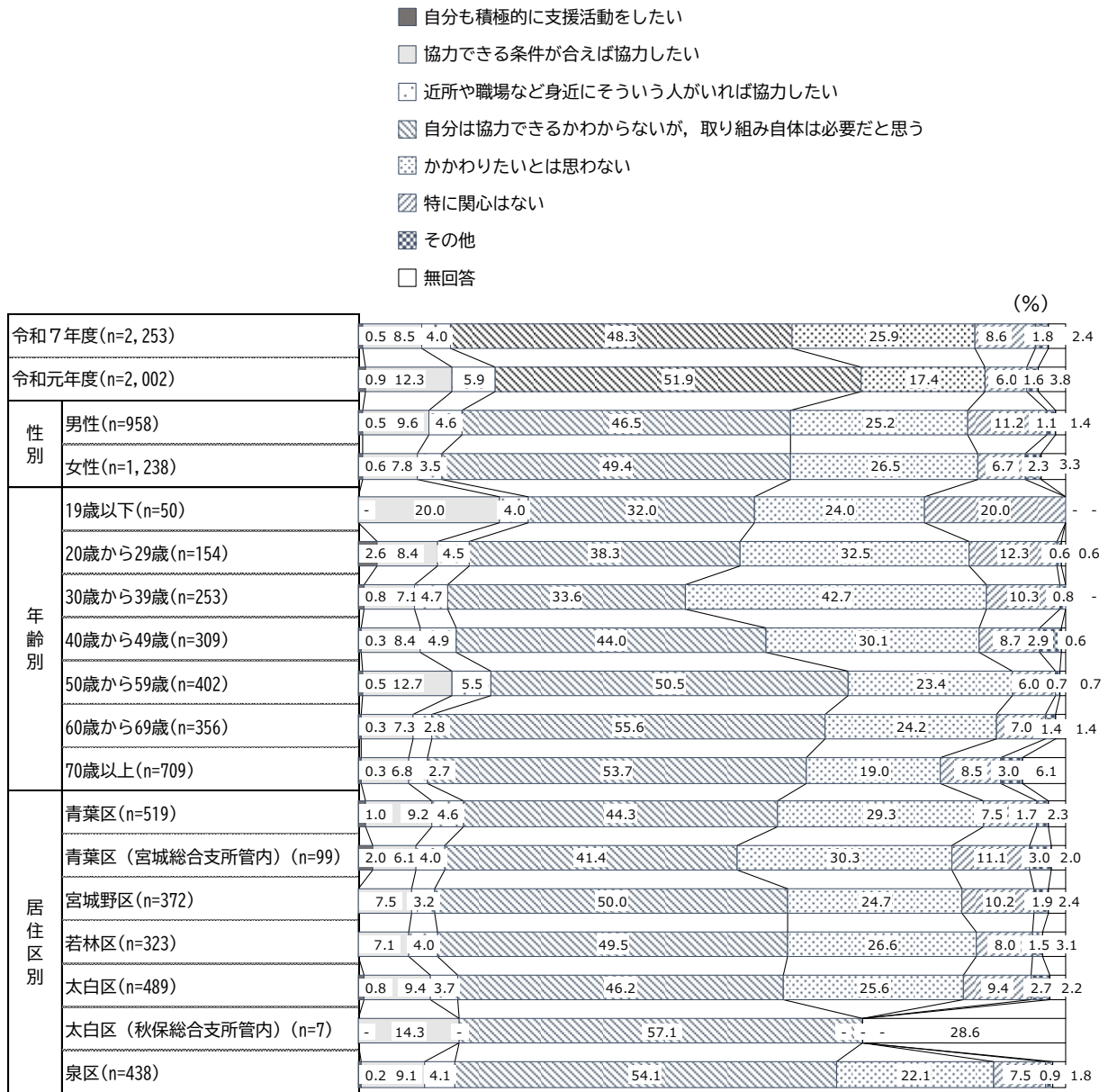
○全体では「地域の安全・安心のためには、ある程度支援することは必要だ」(37.0%)が最も高く、次いで「行政や関係機関が責任をもって積極的に支援すべきだ」(32.0%)となっている。

(%)

		n=	必要だ 地域の安全 程度・安心 のためには	行政や関係 機関が責任 をもって	市民の理解 と協力を得 ながら積極 的に	今あるよう に配慮すべ きだ	少年や認知 症・障害の あるべき出	発症や市民 や事業所へ の啓発	罪はつくな らば市民と しての対応 が	特別な支援 や配慮は必 要ない	特に関心は ない	その他	無回答
令和7年度		2,253	37.0	32.0	22.2	18.2	11.2	9.5	5.1	7.1	3.5	2.7	
令和元年度		2,002	35.5	29.1	26.1	15.7	11.3	13.1	5.7	6.2	3.9	3.6	
性別	男性	958	36.4	31.4	22.5	15.0	10.2	11.3	6.9	7.4	3.8	1.8	
	女性	1,238	38.1	31.5	21.8	21.0	11.9	8.4	3.9	6.7	3.1	3.5	
年齢別	19歳以下	50	34.0	30.0	30.0	10.0	10.0	10.0	10.0	10.0	2.0	-	
	20歳から29歳	154	37.0	30.5	18.2	14.3	11.0	7.1	13.6	8.4	4.5	-	
	30歳から39歳	253	38.3	28.5	14.2	15.4	9.9	4.7	12.3	9.9	6.3	0.4	
	40歳から49歳	309	42.7	35.9	19.1	16.2	11.7	5.8	5.5	6.1	3.6	0.3	
	50歳から59歳	402	42.0	34.8	23.9	18.4	12.9	5.5	4.7	4.2	3.7	1.0	
	60歳から69歳	356	39.3	32.6	22.2	19.9	12.4	9.0	2.0	6.7	3.4	2.2	
	70歳以上	709	30.0	30.2	25.7	20.6	10.0	15.8	2.0	7.8	2.3	6.6	
居住区別	青葉区	519	38.0	29.9	23.1	16.2	11.2	9.8	5.4	6.6	3.3	2.9	
	青葉区(宮城総合支所管内)	99	34.3	23.2	24.2	19.2	9.1	11.1	4.0	8.1	6.1	3.0	
	宮城野区	372	37.9	31.5	20.4	17.2	11.6	11.6	6.2	7.0	3.5	3.0	
	若林区	323	37.5	33.4	18.0	19.8	10.2	8.4	5.6	6.5	3.4	2.8	
	太白区	489	35.2	34.4	21.1	18.0	11.0	7.4	5.1	9.2	3.9	2.5	
	太白区(秋保総合支所管内)	7	42.9	28.6	14.3	28.6	-	-	-	-	-	28.6	
	泉区	438	37.0	32.9	26.3	20.1	12.6	10.3	4.1	5.9	2.7	2.1	

(3) 刑務所や少年院を出た人の社会復帰へのあなたのかかわり方

○全体では「自分は協力できるかわからないが、取り組み自体は必要だと思う」(48.3%)が最も高く、次いで「かかわりたいとは思わない」(25.9%)となっている。



6 市の福祉施策全般や地域の福祉活動に関して感じていること

○市の福祉施策全般に関して、また地域の福祉活動等に関して感じていることについての自由意見を取りまとめたところ、424名から、591件の意見を得た。意見の件数は複数回答の取り扱いとしている。

分 類		意見数計
総意見数		591
1	保健福祉（高齢・障害）・医療機関の充実	139
2	広報・情報発信	71
3	地域住民とのつながりに関すること	59
4	地域で活動する団体に関すること	55
5	福祉の相談窓口について	45
6	子育て支援・教育環境の充実	36
7	住環境等について	32
8	自身のこと・日常生活について	30
9	市民活動支援について	28
10	経済基盤の充実	21
11	公共交通機関の充実	9
12	災害時の支援の体制	5
13	その他	61

以下に主な意見を抜粋する。

※各意見の文末の（ ）内は、（性別・年代）。

① 保健福祉（高齢・障害）・医療機関の充実

- ◆障害者が介護してくれる家族がいなくても安心して生活できる環境を整えてほしい。（今のままでは、障害者も介護する人も共倒れになりそうである。）医療的ケアが必要な者が利用できるグループホームを増やしてほしい。（男性 30歳代）
- ◆高齢化がますます進む社会において福祉がとても重要になっているので、活動が低下することをとても心配している。（男性 40歳代）
- ◆認知症の親の介護をしている。介護に不安があり認知症カフェなどを利用したいと思うが、日にちや時間が限られていてなかなかタイミング合わず、利用が難しい。できれば平日の日中いつでも利用できるような、のびすくの高齢者版のような施設があったらと思う。（女性 50歳代）

② 広報・情報発信

- ◆地域のつながりがもっとあっていいと思いつながら日々の生活、趣味や仕事、家族のことなどで忙しくなかなか自分から情報を探してまで参加することはない状態。もっと気軽に参加できる活動がいろいろあったり、その情報が、目のふれる場所にあるといいと思う。(女性 50 歳代)
- ◆地域での福祉活動について内容や結果の報告がないのもっとアピールしてほしい。(男性 70 歳代)
- ◆私のような若い世代、特に学生が地域の福祉活動に関わる機会がほとんどないので、インターネット等で情報等を積極的に発信するのもいいと感じた。(男性 19 歳以下)

③ 地域住民とのつながりに関すること

- ◆現在仕事と育児の両面で日々忙しく生活している中地域の福祉活動などの参加は難しいのが現実である。いずれ時間に余裕ができる時がきたら参加したいと思っている。そのような若い世帯は多いと思う。(女性 40 歳代)
- ◆行政、関係機関にもっと責任を支援を…と全部をまかせるのも、と思うが、参加する事に対しては自分自身に余裕が(時間、健康、生活面)ないと、なかなか難しいと思う。又、専門的な事、知らない事があると思う。引っ越して来た者としては、この歳でなかなか知り合いを作るのも大変だと感じている。(女性 60 歳代)
- ◆これまであまり関心はなかったが、近くに住んでいる高齢の母が地域で触れ合っている機会が少なくなっているような気がする。高齢になればなるほど地域での対応は必要になるのかもしれない。(男性 60 歳代)

④ 地域で活動する団体に関すること

- ◆町内会費を徴収するのではなく、我々が日々支払っている税金で、各地域の必要経費を賄っていただきたい。人口減少により、人に目を向ける余裕のある社会ではない。経済的にも同様。民間企業と協力し、知恵を出し合い、必要、不必要を見極めて出資し、人員を集め、創設してほしい。(女性 50 歳代)
- ◆地域活動に協力したいが体力的に無理になってきている。これからは地域内での助け合いは大切でありそのような活動に関してできるだけ参加協力していきたい。(男性 80 歳以上)
- ◆お金がかからず参加しやすいサークルなど身近にあったら地域交流になると思う。(女性 30 歳代)

⑤ 福祉の相談窓口について

- ◆高齢者が家を借りる時、もっとスムーズに借りられるような支援が必要だと思う（ほとんど断られる）。一人暮らし高齢者の身元保証を公的機関で行って欲しい。元気な高齢者の相談窓口を設けて欲しい。病気や介護が必要でなくても、老後の心配事や亡くなった時などの相談を受ける窓口がないように思う。ふらっと立ち寄れる、気軽な相談窓口がたくさんあれば良いと思う。（女性 60歳代）
- ◆困った事があっても気軽に相談できない所もあり、誰でも相談できる人が居ると良いと思う。今の時代声をかけにくい所もあり不安が有る時がある。誰でも相談できる人が居ると心強いと思う。（女性 80歳以上）
- ◆地域包括支援センターに相談をしたり、センターが開催する行事への参加などを行っているため、その活動に感謝している。（女性 80歳以上）

⑥ 子育て支援・教育環境の充実

- ◆高齢者のサロンなどは、整っている地域だとは思いますが、ママ世代のサロンや集いは少ない。こどもが少ないので、仕方がないと思うが、学生の子を持つ方の進路や、子育ての悩み相談が気軽にできる場があるといいなと思う。特に定期的に参加するものでなくても、自由に参加できるような形であれば、皆が足を運びやすいかもしれない。（女性 40歳代）
- ◆他人様が、ボランティアなどの活動されているのを見ると立派だなと感心はするが、自身は、なかなか行動できないし、こどもの頃からの教育が大事だと思うので、行政の方にはそういった教育の場を増やされた方が良いと思う。（男性 70歳代）
- ◆「地域の福祉」というと高齢者・障害者が主な対象者のサービスがほとんどというイメージ。若い世代が受けたいサービスは子育てに関することが多いかと思うが、複雑でよくわからないと感じたり、受けるためのハードルが高いなど感じる（特に乳児期のサービス）。（男性 30歳代）
- ◆仙台市は通勤族も多く、近くに頼れる身内がない人が多いと思う。こどもを一時的に預けたい場合のサービスとして保育所への一時預かりがありますが、土曜日に利用できるケースはほとんどないのでは？（私的利用だと預かってもらえない）のびすくも時間帯の制限もあるし、もう少しこどもを預けられるサービス向上をしてほしい。（性別無回答 年代無回答）

⑦ 住環境等について

- ◆最近、道路脇の雑草がひどい。前はもう少しきれいに清掃されていたように思う。(女性 60 歳代)
- ◆地域の高齢化により雪が積もった時の雪かきをする人が足りない。坂が急なため毎年上れない車や坂の下まで落ちていく車が多数あり、坂の下が交通量の多い道路のためこのままでは事故になりかねない。(女性 30 歳代)

⑧ 自身のこと・日常生活について

- ◆日々の日常生活を送ることに精一杯で福祉の事まで目を向ける精神的、時間的な余裕がない。(男性 50 歳代)
- ◆平日に仕事をしている働き世代には、なかなか参加したり協力したりは難しいなと感じている。(女性 50 歳代)

⑨ 市民活動支援について

- ◆自身が把握していない取り組みなど、沢山あると思うが、引き続き地域のために様々な活動を行っていただきたいと思う。自身も力になれる機会があれば、参加していきたい。(女性 20 歳代)
- ◆障害者福祉協会に入会しているが自分が参加できる事が少なくて申し訳なく感じる事が多いが、支援活動は続けていきたい。(男性 50 歳代)
- ◆私の町内は高齢者が多いので公園とかで運動するイベントとかあるといいと思う。(女性 40 歳代)

⑩ 経済基盤の充実

- ◆自分自身や身近な家族の生活に精いっぱい、なかなか地域活動に参加する余裕がない。収入面を考えると仕事も休めず、休みは自分や家族のことで時間はなくなる。そういう人は私だけに限らず、非常に多いと思う。金銭的、時間的に余裕があればしたいこと(地域活動含め)は沢山ある。(男性 50 歳代)
- ◆自営業の人に対しての支援が乏しい。特に子育てに対して。自営業の人に対して税金が高い。(男性 30 歳代)

⑪ 公共交通機関の充実

- ◆タクシー券をいただいています但し車イスで看護タクシーに乗ると、片道 1500 円で行くところが 4000 円かかる。看護料(車に乗せるだけですが)は 1000 円と聞いている。病院に行くので大変である。(女性 70 歳代)
- ◆自動車免許を返納したとしても、最寄り駅や商業施設までのアクセス・交通手段が充実していると少し安心である。(男性 80 歳以上)

⑫ 災害時の支援の体制

- ◆町内会などでの、コミュニケーションできる集会所を利用する際、特に高齢者も必要だがやはり若い人達も入り混じった場が理想だと思う。若い力がどうしても必要になる。特に災害が起きた時など、スピードと判断が不可決である。(男性 70 歳代)
- ◆自分も身体障害者で、在宅で要介護4の親を看ている。災害時エレベーターも止まり、車椅子ユーザーの親では避難もできず不安である。2～3年前の大きな地震の時も、地震後に安否確認の一つもなかったのが、万一の時は亡くなっても分からないままかと思うと怖い。(女性 50 歳代)

⑬ その他

- ◆はっきり言って「福祉施策全般」「地域の福祉活動」どちらも過去そして現在関わりが無く、どちらかというとも無関心であった。このようなアンケートにより少しだけ考える機会ができ、周りを見たり、知らなかった単語(成年後見制度など)を勉強してみたいかなと思った。(女性 60 歳代)
- ◆これからもいろいろな人が住みやすく過ごしやすい暮らしができれば良いなと思っている。(女性 20 歳代)

IV. 資料編

1 「地域の福祉に関するアンケート調査」調査票

調査票コード

地域の福祉に関するアンケート調査

日ごろより、仙台市政にご理解とご協力をたまりませんありがとうございます。
さて、本市では、「ともに生き、支えあうまち」を目指し、「せんだい支え合いのまち推進プラン」を策定しています。この計画は6年ごとに見直しを行っており、令和9年度からの新しい計画の策定に向けて、市民の皆さまの地域生活の状況や、福祉に関するご意見などを把握するため、アンケート調査を実施することいたしました。ご多用のことと存じますが、趣旨をご理解いただき、ご協力くださいますようお願い申し上げます。

令和7年9月 仙台市健康福祉局

○ 回答にあたっての注意事項

- ① 調査票は、あて名の本人がご記入ください。もしご本人がご記入できずご家族の方が代わって記入される場合は、ご本人の意思に基づいてご記入をお願いします。
- ② 以下のどちらか1つの方法でご回答ください。回答は1回限りです。

○ 回答期限
令和7年10月10日(金)までに、WEBでの回答送信または調査票の投函をお願いします。

回答方法1 WEB(せんだいオンライン申請サービス)

- ① 回答ページにアクセスする。
- ② 入力フォームに従い、回答を入力する。
- ③ 入力後、「回答内容の確認に進む」ボタンを押下し、内容確認の上、送信する。

● 調査票コードには、この調査票左上に記載の4文字の半角英数字を入力してください。
● 調査票の返送は不要です。
● 回答ページは、ブラウザのURL入力欄に以下のURLを入力いただき、二次元コードを読み取ることでアクセスいただけます。
【回答ページ・二次元コード】
<https://logofom.jp/form/3Prj/1181761>

回答方法2 郵送

- ① 調査票に回答を黒か青のボールペンで直接記入する。
- ② 同封の返信用封筒(切手不要)に入れ投函する。

● 各設問の内容をお読みいただき、あてはまる番号に○をつけてください。
● 「その他」をお選びの場合は、その後にある()内に具体的な内容をご記入ください。

○ アンケート調査を回答するにあたってのご説明

このアンケートでの「地域」とは、おおむね町内会から中学校の学区程度の範囲でお考えください。

○ 地域福祉に関する用語についての説明

※1 **福祉活動(このアンケート内では地域福祉活動となります)**
身近な地域における日常生活上の課題解決に向けて、地域住民や福祉関係者が互いに協力し、誰もがその人らしく安心して充実した生活を送れるような地域社会をつつていくための活動。

※2 **サロン(活動)**
地域の高齢者や障害のある方、子育て家庭などが、身近な地域で集い、交流や仲間づくりを行うための場、またはそうした活動。

※3 **地域包括支援センター**
高齢の方が住み慣れた地域で安心して生活を続けられるよう、介護や医療、健康づくりなど、さまざまな面から支援を行う高齢者の総合相談窓口。介護予防サービスの紹介や関係機関との調整、虐待防止などの権利擁護活動を行う。

※4 **社会福祉協議会**
地域福祉の推進を目的とする民間団体で、住民ニーズ・福祉課題の明確化、住民の福祉活動の推進、関係機関・団体等の組織化や連絡調整の活動等を行う社会福祉法人。

※5 **民生委員児童委員**
厚生労働大臣の委嘱を受けた非常勤の地方公務員。報酬はなくボランティアとして活動する。自らも地域住民の一員として、地域住民の立場に立って相談に応じ、必要な援助(福祉サービスの紹介や障害者・高齢者世帯等の見守り等)を行う。全ての民生委員は児童委員を兼ねており、こどもたちの見守りや子育て家庭の支援等も行う。

※6 **福祉委員**
地区社会福祉協議会会長の委嘱を受けて、地域の支え合い活動を行うボランティア。

↓

地区社会福祉協議会
地域の福祉課題の解決や福祉のまちづくりの実現のために、住民が主体となり、概ね小学校区や地区連合町内会の範囲で組織された任意団体。

はじめに、あなた自身のことについてお伺いします

問1 あなたの性別は(○は1つだけ)

1. 男性 2. 女性 3. 無回答

問2 あなたの年齢は(○は1つだけ)

1. 19歳以下	2. 20歳から24歳	3. 25歳から29歳
4. 30歳から34歳	5. 35歳から39歳	6. 40歳から44歳
7. 45歳から49歳	8. 50歳から54歳	9. 55歳から59歳
10. 60歳から64歳	11. 65歳から69歳	12. 70歳から74歳
13. 75歳から79歳	14. 80歳以上	

問3 あなたの職業は(○は1つだけ)

1. 学生(予備校生等を含む) 2. 自営業(農林水産業を含む)

3. 会社員・公務員・団体職員など

4. 派遣・契約・嘱託社員(職員)、パート・アルバイトなど

5. 専業主婦・主夫 6. 無職(年金生活を含む)

7. その他()

問4 あなたのお住まいの区は(○は1つだけ)

1. 青葉区 2. 青葉区(宮城総合支所管内) 3. 宮城野区

4. 若林区 5. 太白区 6. 太白区(秋保総合支所管内)

7. 泉区

問5 あなたの世帯構成は(○は1つだけ)

1. 一人暮らし	2. 夫婦・パートナーのみ
3. 二世帯(あなたと親)	4. 二世帯(あなたと子ども)
5. 三世帯	6. その他()

問6 あなたのお住まいの地域[※]は(○は1つだけ)です。ア～ウの項目ごとに、1～4のうち最もあてはまるものを1つだけ選んで○をつけてください。(項目ごとに○は1つ)

※「地域」とは、このアンケートではおおむね町内会から中学校の学区程度の範囲でお考えください。

	1	2	3	4
ア. 世帯数	多い 多い方	ふつう	少ない 少ない方	わからない
イ. 住民層	高齢者が 多い	子育て世代 が多い	若者・学生が 多い	わからない
ウ. 近所付き合いや町内会活動	盛ん	ふつう	ほとんどない	わからない

- 2 -

- 3 -

-66-

地域や人とのかかわりの状況についてお伺いします

問 7 あなたは普段、ご近所の人たちとの程度お付き合いをしていますか
(○は1つだけ)

1. 互いの家を訪問し何か困ったときに助け合う親しい人がある
2. 道や近所のお店で会えば立ち話をする程度の人ならいる
3. 顔をあわせれば挨拶をする程度の人ならいる
4. 顔を見知ってはいるが、言葉を交わすほどではない
5. ほとんど付き合いはない

問 8 あなたは過去 1 年間に近所の人のお手伝いをしたことがありますか
(現在、お手伝いしている場合を含む)(○は1つだけ)

1. はい
2. いいえ

「1. はい」を選んだ方へ伺います。それはどのような内容でしたか(○はいくつでも)

1. 庭木の手入れや草取り、雪かき、玄関先に出されたごみ袋の集積所までの運搬など家の周りのことや、電球交換や大きな家具の移動など家の中の簡単な手伝いをした
2. 悩みごとや心配ごとの相談にのった
3. 一人暮らしの高齢者や障害者への声かけや安否確認
4. 災害時や緊急時の手助け
5. こどもの預かり
6. 買い物や通院の送迎
7. その他(例:炊事、洗濯、掃除等の家事、保育所等へ送迎 など)

問 9 あなたは日常生活の中で、近所の人にお手伝いしてほしいと思いますか
(○は1つだけ)

1. はい
2. いいえ

「1. はい」を選んだ方へ伺います。それはどのような内容ですか(○はいくつでも)

1. 庭木の手入れや草取り、雪かき、玄関先に出されたごみ袋の集積所までの運搬など家の周りのことや、電球交換や大きな家具の移動など家の中の簡単な手伝い
2. 悩みごとや心配ごとの相談にのること
3. 声かけや安否確認(高齢または障害者があり一人暮らしのため)
4. 災害時や緊急時の手助け
5. こどもの預かり
6. 買い物や通院の送迎
7. その他(例:炊事、洗濯、掃除等の家事、保育所等へ送迎 など)

問 10 あなたは現在または過去1年以内に、お住まいの地域(おおむね町内会～中学校の学区)の次のような活動の運営にたずさわったり、参加したりしていますか。また、参加してみたい活動はありますか。ア～キの項目ごとに、1～3のうち最もあてはまるものを1つだけ選んで○をつけてください(項目ごとに○は1つ)

	1 参加していない (0回または1回のみ参加)	2 参加している (2回以上参加)	3 参加していない (0回または1回のみ参加)	左で「3. 参加したことがない」を選んだ方に伺います。今後の参加について、a, b どちらか1つに○をつけてください。	
				a 参加したいと思いません	b 参加しようと思わない
ア. 地域のお祭りやイベント	1	2	3	⇒ a	b
イ. スポーツや健康づくりの活動	1	2	3	⇒ a	b
ウ. 文化活動や趣味のサークルなどの活動	1	2	3	⇒ a	b
エ. 地域の防災や防犯のための活動	1	2	3	⇒ a	b
オ. 道路や公園などの清掃活動	1	2	3	⇒ a	b
カ. 町内会・自治会、老人クラブ、子ども会など	1	2	3	⇒ a	b
キ. その他(具体的な内容を下に記入してください)	1	2			

「キ. その他(具体的な内容を下に記入してください)」

問 11 あなた自身が地域の活動に参加するときに課題となることはありますか
(○はいくつでも)

1. 参加する時間がない
2. 地域でどのような活動があるかわからない
3. 参加するきっかけがない
4. 一人では参加しにくい
5. 健康面や体力面
6. 参加しようと思わない
(その理由を記入ください)
7. その他(例:参加したいと思える活動がない など)

「7. その他(例:参加したいと思える活動がない など)」

問 12 あなたは、現在または過去 1 年以内に何らかの福祉活動¹¹⁾の運営にたずさわったり、参加したりしていますか。また、参加してみたい活動はありますか。ア～カの項目ごとに、1～3のうち最もあてはまるものを1つだけ選んで○をつけてください。※選択肢中「お住まいの地域」とある場合は、おおむね町内会～中学校の学区の範囲内で考えください(項目ごとに○は1つ)

※下の ア～カの項目ごとに、 右の1～3のうち最もあて はまるものを1つだけ選ん で○をつけてください	①お住まいの町内会や 学区(中学校の学区)の範囲内 で活動する(例:町内会活動)			②お住まいの地域(町内会や学区 の範囲外)で活動する(例:地域 のイベント)			③お住まいの地域以外で活動する (例:ボランティア活動)		
	1	2	3	1	2	3	1	2	3
ア. お住まいの地域の高齢者や障害者、子どもなどの見守りや声かけの活動	1	2	3	⇒	a	b			
イ. お住まいの地域の住民が交流する場(サロン ¹²⁾ など)	1	2	3	⇒	a	b			
ウ. お住まいの地域のちょっとした困りごとを支え合う活動	1	2	3	⇒	a	b			
エ. お住まいの地域以外でのボランティアや NPO 活動	1	2	3	⇒	a	b			
オ. 自分から進んで地域団体や福祉活動団体へ寄付をする	1	2	3	⇒	a	b			
カ. その他(具体的な内容を下に記入してください)	1	2							

左で「3. 参加したことがない」を選んだ方に伺います。今後の参加について、a, b どちらか 1 つに○をつけてください。

a 参加した
と思わない
b 参加した
と思わない

問 13 あなたは、どのようなことがあれば地域活動や福祉活動に参加しやすくなると思いますか(○はいくつでも)

- 活動する曜日や時間が自分の生活に合っていること
- 自分の興味や関心にあった活動があること
- 定期的でなくても参加できること
- 一人でも参加しやすい雰囲気であること
- 活動の情報が入手しやすいこと
- 参加しようと思わない(その理由を記入ください)
- その他(例:負担が少ない、誘いや声かけ など)

問 14 あなたは、近所付き合い、地域住民同士の交流や助け合いについて、どうお考えになりますか。あなたの気持ちに一番近いものを選んでください(○は 1 つだけ)

- 地域で助け合うことは大切なことであり、そのためにも普段からの交流は重要だ
- 日頃の交流がないと、いざいざときに助け合えないので、ある程度の交流はしておいたほうがよい
- 困ったことがあれば助け合うべきだとは思いますが、日頃の交流はあまりしたくない
- 地域との交流よりも、気のあった仲間やグループでの交流を大切に、困ったときもその中で助け合えばよい
- 困ったことがあれば行政やその他の団体などが支援すべきなので、地域での助け合いや日頃の交流は、あまり必要ではない

※用語については 1 ページをご参照ください

地域で生活していく上で、心配事やつながり先についてお伺いします

問 15 あなたが生活していく上で、不安に感じていることはどんなことですか(○はいくつでも)

- 介護等が必要な家族の世話に負担感があり、日常生活や仕事に支障が出ている、または出る恐れがあること
- 子育てについて頼れる人が近くにいないため、肉体的、精神的に負担感があること
- 高齢または障害により、身の回りごと(家事や買い物)が思うようにできないこと
- 収入が不安定であること
- 大規模な災害等が起きた場合の対応
- 特に不安なことはない
- その他(例:頼れる人が身近にいない など)

問 16 あなたが、現在お住まいの地域で生活していく上で、心配なことが起こったとき、誰に相談しますか(○はいくつでも)

- 家族や親せき
- 友人
- 近所の人
- 市・区役所の窓口
- 地域包括支援センター¹³⁾や社会福祉協議会¹⁴⁾
- 民生委員児童委員¹⁵⁾や福祉委員¹⁶⁾
- SNS でつながりのある人
- 交番、警察署
- かかりつけ医
- 相談しない、自分でネットなどで調べる
- その他(例:町内会、NPO など)

※用語については 1 ページをご参照ください

問 17 あなたが、現在お住まいの地域で生活していく上での課題や不安を感じていることはどんなことですか(○はいくつでも)

- 近所付き合いなど地域のつながりがないこと
- 周りが高齢者の世帯ばかりであること(今後、高齢者世帯ばかりになりそうなこと)
- 子育て世代が少なく、親同士のつながりや情報交換の場が少ないこと
- 地震や集中豪雨などの大規模災害が起こった時、どう対応したらよいかわからないこと
- 買い物や病院への交通手段がないこと(または少ないこと)
- 特に不安なことはない
- その他(例:交通安全や防犯に関すること など)

問 18 誰もが住みなれた地域で安心して生活していくために、どのような取り組みが有効だと思いますか。あなたの考えに特に近いものを1つ選んでください(○は1つだけ)

- 身近な場所に、相談できる窓口を増やす
- 保健や福祉についての情報が手に入りやすくなる
- 助けや手伝いを必要とする人の希望に応えられるように様々なサービスを用意する
- 災害が起きた時に支援を必要とする人を地域で助け合う体制をつくる
- 保健や福祉についてのボランティア活動を支援する
- 隣近所や町内会、民生委員児童委員による声かけ・見守り活動を充実させる
- その他(住民同士の交流の場を増やす、地域の福祉活動等の中心となる人を育てるなど)

問 19 あなたはご自身の家族や親族以外で、地域に気がかりな方はいますか(○は1つだけ)

1. いる _____ 問 20へお進みください
2. いない _____
3. わからない _____ 問 22へお進みください

問 20 問 19 で「1. いる」と回答した方に伺います。特に気がかりな方は、どのような方ですか。(○は1つだけ)

1. 介護で困っている方
2. 子育てで困っている方
3. 一人暮らしの高齢者
4. 障害がある等で支援が必要な方
5. 隣近所とトラブルがある方
6. 経済的に困っている方
7. その他(例:ひきこもりの方 など)

問 21 問 19 で「1. いる」と回答した方に伺います。その方に対して、何かしてありますか(しましたか)(○はいくつでも)

1. 気にかけて、見守っている(いた)
2. 相談にのったり、助けたりしている(した)
3. 民生委員児童委員などの地域の方に相談している(した)
4. 支援したいが、どうすればよいかわからない(相談先がわからないなど)
5. 特になにもしていません(しなかった)
6. かかわるつもりはない
7. その他(例:区役所等に相談する(した))

- 12 -

問 22 あなたの外出状況についてお伺いします。過去 6 か月の間の外出頻度について、もっとも近いものを1つ選んでください(○は1つだけ)

1. 仕事や学校で、週に3、4日以上外出していた
2. 人付き合いや遊びなどで、ときどき外出していた
3. ふだんは家にいるが、自分の趣味に関する用事のみだけ外出した
4. ふだんは家にいるが、近所のコンビニなどには出かけた
5. 自宅からは出ていたが、家からは出なかった
6. 自宅からほとんど出なかった

問 23 家庭や職場、学校以外に居心地よく、人とかわかることのできる場所や時間がありますか(○はいくつでも)

1. 趣味の活動(サークルや教室、スポーツジムなど)
2. 友人と過ごす時間や、近所の人たちのお茶飲みなど
3. 町内会や地域ボランティア(清掃や交通安全、防犯、公園愛護)などの地域活動
4. PTA やこども会、おやじの会、スポーツ少年団の保護者会など、学校やこども関連の活動
5. 市民センターで開催されるサロンなどの催し
6. 地域外でのボランティア活動
7. SNS やオンラインゲーム、パソコンやスマホを利用したインターネット上の場所
8. 特にない
9. その他()

問 24 普段の生活の中で、孤独や孤立を感じることはありますか(○は1つだけ)

1. よくある _____ 問 25へお進みください
2. しばしばある _____
3. たまにある _____ 問 26へお進みください
4. ほとんどない _____

- 13 -

問 25 問 24 で「1. よくある」「2. しばしばある」と回答した方に伺います。どの様な出来事において孤独や孤立を感じますか(○はいくつでも)

1. 日常的に話し相手や相談相手がいない
2. 経済的な理由で人とつながる機会をもてない
3. 家族や友人とのつながりに希薄さを感じる
4. 転職や転勤などによる環境の変化
5. 家族や親しい人等との死別
6. その他()

- 14 -

成年後見制度についてお伺いします

成年後見制度は、認知症や知的障害、精神障害などで物事を判断する能力が十分でない方の権利や財産を守るとともに、その方の意思を尊重してその人らしい生活が送れるよう支援する制度です。
平成 28 年に「成年後見制度の利用の促進に関する法律」が施行され、全国どの地域でも必要な人が成年後見制度を利用できる環境をつくり、また利用して良かったと思える制度にしていこうという取り組みが進んでいます。

問 26 成年後見制度についてご存知のことはありますか。知っていることすべてに○をつけてください(○はいくつでも)

1. 制度を利用したことがある、または相談したことがある
2. 制度を利用しようとするとき、相談できる窓口を知っている
3. 認知症や知的障害、精神障害などにより判断能力が十分でない人が利用する制度である
4. 誰を後見人とするかは裁判所が決め、親族以外の人が後見人になることもある
5. 後見人への報酬の支払いが必要となる場合がある
6. 名称は聞いたことがあるが、内容は知らない
7. 知らない
8. その他()

問 27 もし、あなたやあなたの家族が認知症などにより判断する力が衰えたとき、成年後見制度を利用したいと思えますか(○は1つだけ)

1. 利用したい _____ 問 29へお進みください
2. 現在利用している(または、過去に利用したことがある) _____
3. 利用したいとは思わない _____ 問 28へお進みください
4. わからない _____
5. その他() _____ 問 29へお進みください

- 15 -

「地域の福祉に関するアンケート調査」
調査結果報告書

令和7年12月

発行 仙台市健康福祉局地域福祉部社会課
〒980-8671
仙台市青葉区国分町三丁目 7 番 1 号
TEL 022-214-8158 FAX 022-214-8194